

5E-12

14.5-187



1200501215174

有畜農業調查事例 第二輯

畜產彙纂第三三號

農林省畜產局



始



凡 例

本編ハ有畜農家ニ於ケル畜産經營ノ實際ニ付新ニ調査シタル事例ヲ編輯シ併セテ畜産彙纂第二十五號掲載ノ事例ヲ修整採録シタルモノナリ



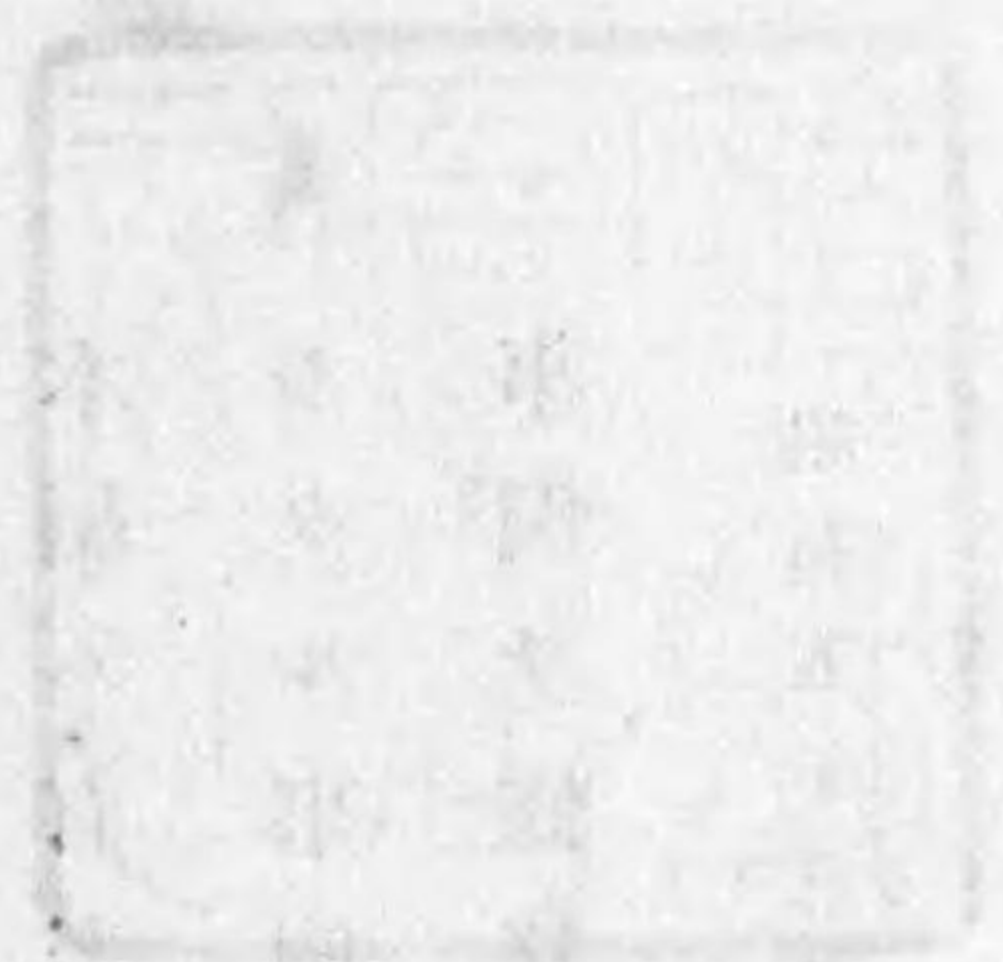
農 林 省 畜 産 局

有畜農業調查事例

145-187

目次

緒言	牛	三	例	一頁
(一) 蕃殖	牛	三	例	一頁
(二) 育成	牛	六	例	一〇
(三) 耕	牛	六	例	一七
(四) 肥育	牛	六	例	二七
(五) 乳	牛	十五	例	六
(六) 緬	羊	七	例	二六
(七) 豚		九	例	二九
(八) 鶏		十五	例	一七
(九) 蜜	蜂	四	例	二四
總括				三六



緒 言

我國ニ於テ有畜農業ノ對象トナル家畜ハ種々アリテ夫々畜産トシテ利用、農業經營ニ對スル貢獻ヲ異ニスルヲ以テ之等ノ畜産經營ノ實際ヲ明ニシ一般農家ノ參考タラシムルハ極メテ必要ナリト謂ハザルベカラズ

本調査ハ各種ノ農家ニ付畜産經營ノ各要素並收支ヲ有ノ儘ニ表示スベク試ミタルモノニシテ素ヨリ短期間ニ爲サレタルモノナレバ多樣ナル業態ニ對シ充分其ノ事例ヲ網羅シ得ザルノミナラズ適切ナル農家ノ選擇並之ガ調査ノ方法ニ付テモ遺憾ナキ能ハズト雖一般農家ガ直接又平易ニ自己ノ經營ト比較對照シテ之ガ改善ニ資スルノ實利尠カラザルヲ以テ之ガ調査ノ大要ヲ輯録スルコトトシタリ

(一) 蕃 殖 牛

中國四國九州等ノ山間部ニアリテハ地積地形氣候等ノ條件概シテ農事ニ不適當ナレドモ放牧採草ノ便益ニ富ムヲ以テ農家ハ古來牛ノ生産ヲ營ミ、本邦畜牛ノ大多數ヲ占ムル和牛ノ過半ハ之等ノ農家ニヨリテ生産セラル。

蕃殖牛例一 島根縣——(基牝一頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 島根縣能義郡井尻村横尾(安來驛ヨリ四里)種田源二郎

家 族 老二男一女一計五人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 水田一町五畝歩、畑五畝歩、計一町一反歩ヲ自作シ山林二町五反歩ヲ所有スル中經營農家ニシテ、水田ノ裏

作ニハ麥ニ反歩、紫雲英七反歩ヲ栽培シ、畑ニハ桑三畝歩ヲ植エ年原紙一枚ノ養蠶ヲ行ヒ其ノ他ハ蔬菜園ナリ——本村ハ海岸ヲ距ル四—五里ノ山岳地ニアリテ、山林原野又ハ採草地豐富ナルノミナラズ、氣候亦比較的溫和ナルヲ以テ早くヨリ産牛地トシテ名アリ、年々多數ノ優良牛ヲ生産移出シ、昭和三年本村ニ於ケル生産頭數百八十頭ニシテ價額一萬二百二十圓ナリ——本農家ハ所有山林ノ外共有山林二町五反歩アルヲ以テ採草ニ不足ナシ

常飼基礎家畜 〓 本農家ハ常ニ一頭ノ母牛ヲ飼養シ年々一頭ノ犢ヲ生産販賣ス—昭和二年ニ於ケル基礎牝牛ハ前年十月當時八歳ノ妊畜ヲ百七十圓相當ニテ自己所有ノ牛ト交換セルモノ一頭ノミニシテ同年四月牝犢一頭ヲ生産セリ

畜 舎 〓 明治四十二年ノ建築ニシテ建坪十二坪、瓦葺板壁、頗ル堅牢ナル牛舎ニシテ當時實費三百六十圓ヲ要シタリ
器 具 〓 飼料桶大小二箇(大三、小二圓計五・〇〇) 押切二箇(六・〇〇) 草刈鎌二箇(〇・五〇) プラシ金櫛二組(二・五〇) 糞撮二本(一・六〇) 砥石二箇(〇・五〇) 飼料鍋一箇(一・五〇) 計十七圓六十錢ヲ購入シ其ノ他ヲ自給ス
建築物器具修繕費 〓 自家修繕スルヲ以テ特ニ修繕費ヲ要セズ

飼料費 〓 昭和二年ニ飼養セル母牛一年分及約七箇月飼養シタル産犢ニ要シタル飼料ハ麩八石六斗七升(七斗十六貫入一俵三圓計三七・一六) 麥二石二斗五升(一升十七錢計三八・二五) 計七十五圓四十一錢ヲ購入シ稻藁六百四十五貫、乾草百二十八貫、生笹一千二百七十貫ヲ自給ス—母牛一日ノ飼料ハ麩二升、麥五合、稻藁三貫、乾草六百匁、生笹二百匁ニシテ夏期五箇月ハ粗飼料ノ全部ヲ八貫匁ノ生草ニ代ヘ、犢ハ麩六合五匁、麥二合、生草二百五十匁、稻藁三十匁ヲ平均一日量トス(年支出七五・四一)

褥草費 〓 稻藁約一千貫ヲ自給ス
消耗品費 〓 麥煮沸ノ爲燃料トシテ薪五六斗貫ヲ自給ス
種付料 〓 昭和二年ニ於テハ種付料ヲ要セズ
衛生費 〓 藥品約一圓ヲ要ス(年支出一・〇〇)
諸賦課 〓 畜産組合費年額七十錢ノ外母畜登録手数料四十錢、生産犢登録料三十錢、計一圓四十錢ヲ要ス(年支出一・四〇)

販賣費 〓 畜産組合ニ於ケル糶賣手数料トシテ販賣價額ノ四分ヲ支出ス、犢價二百九十圓ナレバ手数料十一圓六十錢ヲ要シタリ(年支出一一・六〇)

飼畜努力 〓 飼料給與、手入、掃除等一日平均二時間ヲ要ス
販賣收入 〓 昭和二年生産ノ牝犢一頭ハ極メテ優良ニシテ約七箇月育成後山口縣下ニ種畜トシテ賣却シ二百九十圓ヲ收得ス—本地方ニ於ケル犢ノ通常價額ハ生後七箇月牝百圓内外牡五六圓、種牝犢ハ高價ニシテ二三百圓ヨリ最高四百圓ニテ取引セラル(年収入二九〇・〇〇)

自家收入 〓 農耕ニ延三十日使役シタル外厩肥二千貫ヲ生産シ田畑ニ施用セリ。
收支計算表 〓

支年	種付料	消耗品費	褥草費	飼料費	建築物器具修繕費	別項	購入	販賣	自給	自足
						常飼基礎家畜 舎 器 具	改和牝一頭(入正十五年十月百七十圓相當ニテ前牛ト交換) 瓦葺十二坪牛舎一棟(明治四十二年實費三百六十圓新築) 七種(十七圓六十錢購入)		其ノ他ヲ自給ス	
				數、 麥					自家修繕 稻藁、乾草、生笹、生草ヲ自給ス 稻藁自ヲ給ス 燃料トシテ薪ヲ自給ス	

出 計	販賣收入		衛生費 諸賦課 販賣費 飼畜勞力	藥品 組合費、登錄料 販賣手数料	衛生費 諸賦課 販賣費 飼畜勞力
	現金	現物			
八九・四一	二九〇・〇〇	廿一頭	二百五十九錢		
每日二時間自家勞力					
					三十日 二千貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

蕃殖牛例二 岡山縣——(基牝三頭)

調査期日 || 昭和三年九月

調査農家 || 岡山縣阿哲郡千屋村(新見驛ヨリ六里) 上田喜市

家族 || 老一男二幼一計五人ナリ、内農業労働ニ従事スルモノ老一男一女二計三人ナリ

農牧狀況 || 水田七反畑六畝計七反六畝ノ自作小經營ニシテ外ニ採草地一町六反ヲ有シ隔年刈トシテ毎年八反宛ヲ供用ス

採草量ハ生草反四百貫乾草百五十貫ヲ當地ノ一般トス——當村ハ縣下ノ北奥ニ位シ山岳重疊シテ耕地狹キモ山野ノ放牧採草ハ彌々便宜ナレバ農家ハ概ネ畜産ヲ副業トシ多クハ之ガ生産ヲ營ム、本農家モ明治二十八年ニ斯業ヲ創始セリ

常飼基礎家畜 || 改良和種牝牛三頭ヲ常飼基礎家畜トス、悉ク自家生産ニシテ現在評價約六百圓ナリ

畜舍 || 萱葺三坪ノ牛舎二棟アリ頑丈ナル粗屋ニシテ孰レモ居室ニ接続ス、明治二十七年手間賃六十圓ヲ出費シテ納屋ヲ改造シタルモノナリ

器具 || 購入セル器具ヘ大桶一個(一八・〇〇〇) 飼桶六個(一八・〇〇〇) バケツ二個(一・六〇〇) 鍋一個(三・〇〇〇) 又鍬二個(二・〇〇〇) 草刈鎌二個(一・二〇〇) ブラシ一個(一・五〇〇) 金櫛一個(〇・七〇〇) フォーク一本(一・八〇〇) 砥石一個(〇・八〇〇) 計四十圓六十錢ニシテ——湯沸釜手押切二個(二・二〇〇〇) ハ農事ト兼用シ畜ハ自給ス

建物器具修繕費 || 牛舎ハ簡易粗造ニシテ堅固ナレバ從來修繕ノ爲ニ特ニ經費ヲ支出シタルコトナシ、器具モ粗拙堅牢ナルモノ多ク半バ自給品ナレバ修繕費トシテ特記スベキモノナシ

飼料費 || 挽割麥三俵(一俵六斗入五圓計一五・〇〇〇) 藪十俵(一俵二圓七十錢計二七・〇〇〇) 大豆粕二俵(九・〇〇〇) 米糠五俵(一俵四斗入二圓計一〇・〇〇〇) ヲ購入シ——米糠五俵、糝二石(五・〇〇〇) 稻藁九百十貫(十貫目七十七錢計七〇・〇七)

野乾草百貫(十貫目一圓計一〇・〇〇〇) 生草二千三百貫ヲ自給ス——一年ヲ通ジテ百八十餘日ハ山野ニ放牧シ冬期百五十日及ビ草地休閑ノ爲メ夏期三十日ヲ舍飼ス(年支出六一・〇〇〇)

褥草費 || 乾雜草八百貫(十貫目八十錢計八・〇〇〇) ヲ自給ス、放牧期間長キヲ以テ褥草ヲ要スルコト比較的少ナリ

消耗品費 || 飼料調理ノ爲メ燃料トシテ薪七百貫(十貫目四十三錢計三〇・一〇〇) ヲ自給ス

種付料 || 組合有種牝牛ノ種付料ハ二圓ニシテ組合外ノモノハ三圓ナリ年々二頭種付ヲ行フ(年支出四・〇〇〇)

放牧料 國有林ニ放牧ノ爲メニ借入料一頭ニ付五十錢ヲ要ス年々百八十餘日ヲ放牧ス(年支出二・五〇)
衛生費 支出セシコトナシ

諸賦課 組合員割三十錢、頭數割一頭ニ付四十錢ニシテ去ル一年間ノ支出二圓三十錢ナリ(年支出二・三〇)

飼畜勞力 舍飼期間ニハ藁切二時間、給飼及褥草交換ノ雜役一時間ヲ要スルモ朝夕農務ノ餘暇ヲ以テシテ充分ナリ、牛肥ハ二十日毎ニ搬出ス、野乾草採集ハ重要ナル行事ニシテ天候ニヨリテハ人夫ヲ雇傭シテモ遂行ヲ期ス、夏期數十日牧地休閑ノ爲メ舍飼スル場合ニハ草刈ノ爲メニ勞務稍繁忙トナル、放牧中ト雖十日毎ニ一回巡視スルノ要アリ、斯ク年中ノ勞務一定セザレドモ大要一日平均三時間ヲ以テ飼畜ヲ管理スルコトヲ得

販賣收入 普通毎年二仔ヲ得、昭和三年ニハ二歳牡牛二頭ヲ各百十圓、百五十五圓ニ賣却シ親牛ヲ八十圓ニ廢却セリ(年
收入二六五・〇〇)

自家收入 腐熟牛肥三千六百貫(十貫目三十錢計一〇八・〇〇)ヲ産ス

收支計算表

飼料 肥料 費	建 物 器 具 修 繕 費	畜産基礎		別 項	購 入	販 賣	自 給	自 足
		畜 舍	畜 具					
麥、藪、豆粕、米糠	六二・〇〇	十種(四十圓六十錢購入)					改良和種牝三頭(自家生産) 葦葺計六坪牛舍二棟(明治二十七年納屋六十圓改造) 其ノ他ヲ自給ス	
							自家修繕	
							米糠、野草、稻藁ヲ自給ス	

年 支 出	種 牧 料	放 牧 費	衛 生 費	諸 賦 課 費	販 賣 費	飼 畜 勞 力	計	販 入		年 入 益 及 自 收 入
								現 金	自 給 肥 料	
野乾草ヲ自給ス 燃料トシテ薪ヲ自給ス	二 〇〇	五 〇	二 ・五〇	四 〇〇	二 ・三〇	組 合 費、 頭 數 割	二 六五・〇〇	壯 二 頭	百九十五圓二十錢	牛 肥 三 千 六 百 貫
						六 九・八〇				

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

蕃殖牛例三 大分縣——(基牝三頭)

調査期日 昭和三年十月

調査農家 大分縣玖珠郡玖珠町塚脇(中村驛ヨリ三里半) 太田菊次

家族 老四男二女一幼十計十七人ナリ、内農業労働ニ従事スルモノ男二女一計三人ナリ

農牧状況 水田自作二町三反小作七反桑園自作三反計三町歩ノ自小作稍大經營ニシテ外ニ山林七反原野一町歩ヲ所有ス

本農家ハ明治三十六年ヨリ蕃殖牛ヲ飼養シ牛肥ノ利用牯ノ生産畜力應用ノ三點ニ亘リテ多大ノ利益ヲ收ムルモノナリ

常飼基礎家畜 改良和種牝牛三頭ヲ常飼ス、總テ自家生産ニシテ現十二歳一頭及四歳二頭、現在評價額ハ六百圓ナリ

外ニ牝犢一頭ヲ所有ス

畜舎 藁葺蔽造リ十五坪ニシテ内四坪ハ厩舎ナリ、大正五年ノ新築ニ係リ當時材料一部ヲ白給シテ坪當十五圓ヲ要セシガ現在ナラバ坪三十圓ヲ要スベシト云フ

器具 飼料桶四個(八・〇〇) 調理桶一個(七・〇〇) 藁切三個(二五・〇〇) 計四十圓ヲ購入シタリ

建物器具修繕費 建物ニハ屋根修理ノ爲メニ一年約五圓、器具修繕ハ桶ノ輪換ヲ主トシ一圓ヲ要ス(年支出六・〇〇)

飼料費 麩三石(一五・〇〇)ヲ購入シ——麥一石醬油粕及味噌百貫米糠五十俵(一俵五斗入一圓五十錢計七五・〇〇)

燕麥牧草ヲ混ジタル青草一萬五百貫稻藁千二百貫ヲ悉ク自給ス(年支出一五・〇〇)

褥草費 稻藁千二百貫ヲ自給スルノミナラズ青草粗藁ノ食殘二三千貫モ其儘褥草トナル

消耗品費 麥ノ煮用ニ燃料トシテ薪三百束ヲ自給シ細其ノ他ノ雜品一圓ヲ購入ス(年支出一・〇〇)

種付料 種付料ハ一回麥五升ヲ普通トス

諸賦課 畜産組合費年額三十錢ヲ要ス(年支出〇・三〇)

飼畜勞力 十一月ヨリ三月迄ハ一日平均三時間、四月ヨリ十月迄ハ草刈ヲ含ミテ一日五時間ナレド一般ニ餘剩勞力ヲ利用スルニ過ギズ

販賣收入 牝犢二頭ヲ賣却シテ百三十七圓ヲ收得シタリ(年收入一三七・〇〇)

自家收入 牛肥一萬二千貫(一貫目二錢計二四〇・〇〇)ヲ生ジ全部ヲ田畑ニ施用シテ金肥ノ節約ヲ計ル——成牛ハ春秋

農耕ニ供シ延日數四百六十日(一日三圓計一三八・〇〇)ニ及ブ

收支計算表

出 支 年 計	別 項	別 項	
		購 入	販 賣
建物器具修繕費	常飼基礎家畜	六・〇〇	—
飼料費	畜舎	一五・〇〇	—
褥草費	器具	—	—
消耗品費	雜品	一・〇〇	—
種付料	—	—	—
放生料	—	—	—
衛生費	—	—	—
諸賦課	畜産組合費	—	〇・三〇
販賣力	—	—	—
計	—	一一二・三〇	—

葦葺十一坪牛舎一棟(大正五年百六十五圓新築)三種(四十圓購入)

改良和種牝三頭(自家生産)材料ヲ自給ス其ノ他ヲ自給ス

多クハ自家修繕 麥醬油粕味噌米糠生草稻藁ヲ自給ス

稻藁ヲ自給ス 燃料トシテ薪ヲ自給ス

一回麥五升

毎日平均四時間自家勞力

販入	産	牝二頭	一三七・〇〇	農耕延日數	四百六十日
益及自	現金		百十四圓七十錢	肥	一萬二千貫
家及收	使役			牛	
入	自給肥料				

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

(二) 育成牛

種類 種牛トシテ牝牝ヲ育成ス
農耕採肥ヲ兼テ牝牝ヲ育成ス

牝牝ヲ購入育成シテ種牝牛ニ賣却スルコトハ頗ル有利ナレドモ熟練ヲ要スルニヨリ、古來ノ和牛生産地又ハ其ノ附近ニ於ケル經驗アル農家ニ依ツテ營マレ、多クハ當歲ノ牝ヲ仕入レニ歲ニシテ賣却ス——農耕採肥ヲ兼テ牝牝ヲ育成スルコトハ最も容易ナレバ農家一般ニ見ル事例ナルモ、目的ノ輕重ニヨリテハ耕牛飼養トノ區別判然タラズ

育成牛例一 岡山縣——種牛トシテ牝牝ヲ育成ス(二頭)

調査期日 昭和三年九月

調査農家 岡山縣阿哲郡新見町(新見驛附近)土井淺右衛門

家族 老二男一女一幼三計七人ナリ、内農業勞働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 水田五反畑三反計八反歩ノ自作小經營ナルモ外ニ山林四町歩採草地一町歩ヲ有ス、山林ハ雜木林ニシテ薪炭及ビ褥草代用ノ落葉ヲ掻キ採草地モ亦褥草ヲ採集スル程度ノモノナリ——當地ハ本縣ノ産牛地ニ接シ山岳次第ニ重疊シテ耕地狹小ナレバ當農家ノ如キモ畜牛ノ使役、採肥ニハ多クヲ期待セズ専ラ畜牛其ノモノ、利得ヲ主眼トシ先代以來育成ヲ業トシ年々一二頭ノ種牝牛ヲ育成ス

畜舍 納屋ヲ改造セル土床約二坪半ノ粗末ナル牛房ニシテ改造ノ爲メニ特ニ出費シタルコトナシ

器具 押切一個(六・〇〇) 飼桶四個(一・〇・〇〇) バクツ二個(一・六〇) 鍋二個(五・〇〇) 又鉄二個(一・六〇) 草刈鎌二個(一・二〇) ブラシ一個(二・五〇) 金櫛一個(〇・七五) 砥石一個(一・〇〇) 綱四本(一・六〇) 計三十一圓二十五錢ヲ購入シ——番ハ自給ス

建物器具修繕費 畜舍ハ殆ンド自給ニナリシモノ、器具亦簡單ナル廉價品多ケレバ特ニ定額ノ修繕費ヲ要セズ

原料家畜費 年々當歲牝二頭ヲ育成ス——甲號ハ明二歲改良和種牝牛ニシテ昨年十月郡内千屋市場ヨリ二百圓ニ購入シ

——乙號ハ當歲改良和種牝牝ニシテ同十二月同市場ヨリ百二十圓ニ購入シタルモノナリ、乙號ハ一年半飼養スルヲ以テ支出

年割額ハ三分ノ二即八十圓ニ該當スベシ(年支出二八〇・〇〇)
飼料費 || 粃六十俵(一俵二圓四十五錢計一四七・〇〇) 大豆粕八俵(一俵四圓五錢計三二・四〇) 米糠四俵(一俵一圓五十錢計六・〇〇)ヲ購入シ——大麥四俵(一俵四圓計一六・〇〇) 麥糠二石四斗(一石二圓五十錢計六・〇〇) 稻藁ヲ自給シ——春四十日間ハ放牧ヲ行フ(年支出一八五・四〇)

褥草費 || 麥藁及二三番刈ノ粗硬ナル野生草野乾草ヲ自給ス
消耗品費 || 山林アレバ所要ノ燃料ヲ不足ナク自給ス

放牧料 || 春四十日間放牧スルモ自家採草地ナレバ放牧料ヲ要セズ
諸賦課 || 頭數割四十錢、組合員割三十錢ヲ要ス(年支出〇・七〇)

飼畜勞力 || 運動調教給飼ノ爲メニ毎日凡ソ三時間ヲ要ス

販賣收入 || 甲號ハ一年ニシテ育成ヲ了シ本年十月六百五十圓ニ賣却ノ見込ニシテ、乙號ハ約一年半ニ育成ヲ了シ明年五月三百五十圓ニ賣却ノ見込ナレバ年割額ハ三分ノ二ニシテ二百圓ニ相當ス——當農家ハ代々育成ヲ業トシ鑑識技術ニ長シ本人モ既ニ十餘頭ノ經驗アレドモ曾テ失敗シタルコトナシ、斯業ニ於テ最モ戒ムベキハ掘出シモノニヨリテ奇利ヲ博セントスル僥倖心ニシテ當農家ハ夙ニ篤實堅固ナル經營ヲ以テ人ニ知ラル

自家收入 || 農耕ト採肥ニハ多分ノ期待ヲ置カズ若干ノ耕耘ハ反當五圓ヲ投ジテ請負人ニ行ハシメ育成牛ハ將來ノ種牝牛トシテ最モ懇切ニ飼育ス——牛肥ハ踏肥ニシテ一ヶ月毎ニ搬出シ約千四百貫(十貫目三十錢計四二・〇〇)ヲ生産ス地方一般ニハ牛肥ハ絶對ニ尊重シ牛肥ナケレバ農業ハ遂行シ得ズト稱ス

收支計算表

別項	畜産基礎	年支										販賣收入	及自家收入	益及自收		
		常飼基礎畜舎	器畜具	原料家畜費	建物器具修繕費	飼料費	糶草費	消耗品費	放牧料	衛生費	諸賦課				飼畜勞力	
購入	十種(三十一圓二十五錢購入)	改和牝犢二頭(三百二十圓購入)	一八五・四〇	〇・七〇	四六六・一〇											
販賣																
自給	二坪半牛房一個(納屋改造) 其ノ他ヲ自給ス	自家修繕 麥、麥糠、稻藁、野草ヲ自給ス 野草ヲ自給ス 燃料トシテ落葉ヲ自給ス 自家採草地放牧														
自足		每日三時間自家勞力														
			三百八十三圓九十錢													
																千四百貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

育成牛例二 和歌山縣——農耕探肥ヲ兼テ牝犢ヲ育成ス(一頭)

調査期日 昭和三年三月

調査農家 和歌山市秋月松尾一雄

家族 老一男一女一幼三計六人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ男一人ナリ

農牧狀況 水田八反畑一畝桑園一反二畝計九反三畝ノ自作小經營ニシテ水田ハ麥甘藍豌豆蠶豆ヲ裏作トシ米作反收ハ六俵乃至七俵ナリ——農耕探肥ノ爲ニ但馬地方ヨリ當歲ノ和牛ヲ求メ一二年間農耕探肥ニ供使シテ育成シ第二次育成地ニ賣却スルハ當地方農家古來ノ習慣ナリ

畜舎 瓦葺四坪ニシテ大正二年百二十五圓ヲ投ジ居宅ニ連續シテ新築セル清潔乾燥ナル牛舎ナリ、現在新築セバ百六十圓ヲ要スベシ

器具 手押切一個(八・〇〇) 飼槽一個(一・五〇) フォーク一本(二・〇〇) 熊手一本(一・〇〇) 籠四個(一・二〇) 計十三圓七十錢ヲ主ナル購入器具トス

原料家畜費 凡ソ隔年ニ當歲牝犢ヲ但馬地方ヨリ求メテ育成ス——現畜ハ兵庫縣産改良和種明二歲牝牛ニシテ本年二月滿一歳百三十圓ニ購入シタルモノナレド前畜ハ大正十五年一月百十圓ニ購入セリ、右ハ二年ニシテ更新スルガ故ニ此ノ年割額ハ五十五圓ニ相當ス(年支出五五・〇〇)

建物器具修繕費 牛舎ハ十數年ヲ經過セルモ構造簡單ナレバ容易ニ破損セズ特ニ修繕費ノ支出ヲ要シタルコトナシ、器

具モ亦同様ナリ

飼料費 米糠五石五斗(一石二圓五十錢計一三・七五) 鹽一呎(一・三〇)ヲ購入シ——稻藁五百五十貫大麥二石以内紫雲英ヲ自給ス——稻藁一日一貫五百匁米糠一升餘ガ常食ニシテ麥ハ農閑期ニハ給與セズ——稻藁ハ反當百三十貫ヲ生ジ紫雲英ハ一貫ヲ得ベシ(年支出一五・〇五)

褥草費 稻藁一日一貫目ヲ目安トシテ三百貫ヲ自給ス

消耗品費 飼料調理ノ爲ニ燃料ヲ要スルコト稀ナリ、要スレバ藁ヲ自給ス

衛生費 特ニ醫藥ヲ要シタルコトナシ

飼畜勞力 給飼ノ外ニ格別ノ勞力ヲ要セズ一日一時間内外ニテ足ル、五月下旬紫雲英乾草調理ノ爲ニ約五日間多忙ナリ
 販賣收入 育成シタル犢ハ牛馬商ヲ介シテ第二次育成地ニ轉賣シ同時ニ代畜ヲ求メ其ノ際新舊價格ノ差額ヲ收受ス——本農家ハ前記百十圓ニ購入シタル犢ヲ本年二月即ニケ年目ニ同ジク百十圓ヲ以テ賣却シタリ、之ニヨレバ二ケ年育成調教ノ増價皆無ニシテ頗ル奇異ナレドモ當地方ニハ一切ノ牛價ヲ牛馬商ノ評定ニ委シテ願ズ往々斯ノ如キ結果ヲ見ルコトアリ
 自家收入 農耕ハ春秋ニ亘リテ數十日、輕役ヨリ始メテ調教訓練シ次第ニ重耕ニ馴致ス、耕地小ナレバ犢ノ微力ヲ以テスルモ優ニ其ノ目的ヲ果ス——牛肥ハ甚ダ尊重セラレ毎年凡ソ一千貫ヲ産ス

收支計算表

別	項	購	入	販	賣	自	給	自	足
畜產基	常飼基礎家畜								
畜舍	瓦葺四坪牛舎一棟(大正二年百二十五圓新築)								

年	支		出		計	販賣 收入	益及 自家 收入	礎 具
	飼料費	糞草費	放牧料	諸衛生費				
昭和三年	米、糠、鹽 一五〇五					牝牛一頭(百十圓賣却) (年割)五五〇〇 (損失)十五圓五錢	現金 使役 自給肥 料	五種(十三圓七十錢購入) 改和牝犢一頭(百十圓購入)(年割)五五〇〇 其ノ他ヲ自給ス
	自家修繕 麥、稻藁、紫雲英ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス				每日一時間自家勞力			
								數十日 一千貫

(備考) 本農家ハ育成牛ノ増價ナク今期比較的多クノ損失ヲ來セリ

育成牛例三 和歌山縣——農耕採肥ヲ兼テ牝犢ヲ育成ス(一頭)

調査期日 || 昭昭三年三月

調査農家 || 和歌山縣海草郡鳴神村(和歌山市外)辻本新太郎

家族 || 男一女一幼二計四人ナリ、内農業ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田七反歩柑橋園三反歩計一町歩ノ自作小經營ニシテ米作反收ハ二石四斗ナリ

畜舍 || 瓦葺二坪半ニシテ明治三十一年手持材料ヲ以テ坪五圓當リ十二圓五十錢ニテ建築セルモノニシテ居室ニ接續シテ清潔乾燥ナル牛舎ナリ、現在新築評價ハ七十五圓ニシテ年々多少ノ修繕ヲ施セバ五十年ハ使用シ得ベシ

器具 || 飼桶三個(一個三圓五十錢計一〇・五〇) フォーク一本(二・五〇) 釜一個(三・〇〇) 計十六圓ガ主ナル購入器具ニシテ押切一個(九・五〇)ヲ初メ他ノ用具ハ農具ヲ兼用ス

原料家畜費 || 年々但馬地方ヨリ當歲牝犢ヲ仕入レテ育成ス——現畜ハ兵庫縣産改良和種明二歲牝牛ニシテ昭和三年十一月二百五十圓ニ購入シタルモノナレド前畜ハ昭和二年一月二百三十圓ニ購入セリ(年支出二三〇・〇〇)

飼料費 || 麩二石四斗(一石十三圓九十五錢計三三・四八) 大豆粕五十八貫四百匁(一貫目三十錢計一七・五四)ヲ購入シ——稈麥六石紫雲英、稻藁二百五十貫(一日七百匁當)ヲ自給ス(年支出五一・〇二)

褥草費 || 稻藁三百貫ヲ自給ス、一日一貫程度ナリ

消耗品費 || 燃料トシテ農場不用ノ雜物ヲ自給ス

飼畜勞力 || 毎日一時間内外ヲ以テ足ル

販賣收入 || 育成牛ハ牛馬商ヲ介シテ轉賣シ同時ニ代牛ヲ仕入レ新舊價格ノ差金ヲ收受ス、前畜ハ昭和三年一月三百二十圓ニ賣却シタリ(年收入三二〇〇〇)

自家收入 || 農耕運搬ニ六十日、牛肥一千貫ノ所得アリ

收支計算表 ||

出 支 年	畜産基礎		別 項
	常飼基礎畜舎	器具	
原料家畜費	改良和種牝犢一頭	三種(十六圓購入)	購 入
建物器具修繕費	穀、豆 粕		販 賣
飼料費	自家修繕	五葦二坪半牛舎一棟(明治三十一年十二圓五十錢自家建築)	自 給
糞草費	裸麥、紫雲英、稻藁ヲ自給ス	其ノ他ヲ自給ス	自 足
消耗品費	稻藁ヲ自給ス		
放牧料	燃料ヲ自給ス		
衛生費			
諸賦課			
飼畜勞力	毎日一時間自家勞力		
計	二八一〇二		

販賣收入	育成牛	牝牛一頭	三二〇〇〇
益及自家收入	現役金	三十八圓九十八錢	
使役	農耕運搬		六十日
自給肥料	牛肥		一千貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

育成牛例四 奈良縣 — 農耕採肥ヲ兼ネ牝犢ヲ育成ス(一頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 奈良縣高市郡白樞村大字大輕(岡寺驛ヨリ數町)谷口久太郎

家 族 || 男二女二幼三計六人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ男二人ナリ

農牧狀況 || 水田八反歩ノ自作小經營ニシテ畑五反歩ヲ小作セシム — 地味ハ良好ナレバ過肥ハ害アリテ乾燥ノ年ニ豐作ヲ見雨多ケレバ不作ノ傾向アリ、反當收量ハ普通三石五斗多キハ四石ニ達シ全部二毛作ニシテ裏作ニハ大麥ヲ栽培ス — 土質ハ重粘ニシテ畜力ヲ借ラザレバ耕作シ得ズ農家ハ概ネ耕牛ヲ飼養シテ育成スルモ蕃殖ハ行ハズ、當宇ハ農家八戸ニシテ七牛有リ

畜 舍 || 瓦葺五坪餘ノ畜舎ハ約十五年前ニ居宅ト共ニ新築セルモノニシテ半バ舊馬厩ニシテ半バ現牛舎ナリ — 床ハ

敵キニシテ板張トス——此程度ノ牛舎現今新築セバ凡ソ七十圓ヲ要スルモ一般農家ハ納屋ノ軒下ナドヲ利用シテ極メテ輕便簡易ニ施設スルガ普通ナリ

器具——飼桶一箇(三・〇〇) 押切一台(五・〇〇) 手入具(一・五〇) 熊手一本(一・〇〇) 計十圓五十錢ヲ購入シ其他ハ農具ヲ兼用ス

原料家畜費——改良和種明二歳牝牛一頭ヲ購入シ數年間育成ス——現牛ハ鳥取縣産ニシテ昭和二年十二月明二歳百三十圓ニ共同購入セル當地最良ノ畜牛ニシテ三四年間育成セバ約三百圓以上ニ賣却シ得ル見込ナリ——一般農家ハ五十圓乃至百圓ニ購入シ一箇年育成シテ百五十圓内外ニ賣却スレド、往時ハ數年間飼養セルモノニシテ、當農家ハ比較的餘裕アレバ力メテ良牛ヲ求メ三四年間ニ育成ヲ行フ(年割支出三七・〇〇)

建物器具修繕費——自家修繕

飼料費——米糠七石餘(一石二圓半計一七・五〇)ヲ購入シ——大麥二石餘(一石十五圓計三〇・〇〇) 稻藁野草ヲ自給ス——模範的ニ飼養スルモノハ麥六合、米糠二升ヲ一日三回年中均一ニ與フルモ、最モ粗放ニ飼養スルモノハ平時ハ單ニ米糠一升ヲ與ヘ農繁期ニ限り麥三升ヲ増飼シ、中庸ノモノハ平時ノ麥ハ少量ナルモ農繁期ニ増給ス、當農家ハ力メテ模範的方法ニ據ル——大麥ハ反當一石五斗ノ收穫アリテ價格ハ目下十二圓ナルモ貯藏シテ高値十七八圓ニ達スレバ賣却スル豫定ナリ(年支出一七・五〇)

褥草費——稻藁麥藁ヲ自給ス

消耗品費——飼料調理ノ溫湯ハ竈ノ殘火ヲ利用シ燃料其他ノ消耗品ヲ要スルコトナシ

諸賦課——畜産組合費年額一圓ヲ要ス(年支出一・〇〇)

飼畜勞力——給飼三回ト藥切ヲ合スレバ毎日約一時間ヲ要スルモ農事ノ休憩時間ニ行ヒ、夏期草刈ハ毎朝二時間ヲ費ヤス

モ農閑期ナレバ殆ンド勤勞トシテ數フルニ足ラズ

販賣收入——三四年目ニ育成増價ヲ收入スベク、昭和二年百三十圓ニ購入セル現牛ハ育成後三百圓以上ニ賣却セラル、見込ナリ(年割收入八五・七一)

自家收入——六月田植期ニ二十日間、十月秋耕ニ十日間使役シ肥料ハ悉ク田畑ニ施用ス

收支計算表——

出 支 年	畜産基礎		別 項
	畜 器 具	常飼基礎家畜 畜 舍	
原料家畜費	改和牝一頭(百三十圓購入)(年割)三七・〇〇	瓦葺五坪牛舎一棟(現在新築評價七十圓)	自 給
建物器具修繕費	米	四種(十圓五十錢購入)	自 給
飼料費	糖	其ノ他ハ農具ヲ兼用ス	自 給
褥草費	一七・五〇		自 給
消耗品費			自 給
放生費			自 給
衛生費			自 給
諸賦課			自 給
飼畜勞力			自 給
畜産組合費	一・〇〇		自 給
自家修繕			自 給
大麥、稻藁、野草ヲ自給ス			自 給
稻藁ヲ自給ス			自 給
毎日農閑時自家勞力			自 給

計	五五・五〇	計
販賣収入	牝牛一頭(三百圓賣却)(年割)	八五・七一
益金	三十圓七十一錢	
及自給		
家収入		
現役		
使役		
自給肥料		
牛		
農		
耕		
肥		
三十圓		
貫		

(備考) 本農家ハカメテ良牛ヲ購ヒ長期育成ナレバ育成増價ハ一般農家ニ比スレバ多額ナリ

育成牛例五 奈良縣——農耕採肥ヲ兼テ牝犢ヲ育成ス(一頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 奈良縣高市郡高市村立部(岡寺驛ヨリ十五町) 協田熊太郎

家族 || 老二男一女一幼四計八人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ老一男一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田二反桑園三反柑橘一町三反計一町八反歩ノ自作中經營ニシテ水田一町歩桑園一町三反歩ヲ小作セシム

——柑橘養蠶ニハ最モ力ヲ注ギ特ニ別棟ノ蠶室アリテ春秋ハ原紙四枚秋蠶三枚晩秋二枚ニシテ年々繭ノ賣上四百數十圓ナリ

——地味ハ上等ニアラズ、米作反收三石ニシテ二毛作ヲ行フ——一般農家ハ明二歳但馬牛ヲ買入レ一年ニシテ賣却シ蕃殖ヲ

行フコトナシ——牛價ハ購入七八十圓賣却百五十圓ナルヲ普通トシ、少シク美飼スレバ百六十圓ニ至ルベシ

畜舎 || 門家(モンヤ)ノ一部ヲ牛房トス——當農家ニハ本村ノ舊家ナレバ近年二千五百圓ヲ投ジテ新築セル壯大ナ

ル門家アリ

器具 || 飼桶一箇(四・五〇) 金櫛一箇(〇・三五) 大形押切一臺(七・五〇) 計十二圓三十五錢ヲ購入シ其他ハ農具ヲ兼用ス

原料家畜費 || 毎年改良和種明二歳牝牛一頭ヲ購入シテ育成ス——現牛ハ但馬牛ニシテ昭和四年八月六十二圓五十錢ニ購ヒシガ昭和五年十二月ニハ賣却ノ豫定ナリ——前牛ハ昭和三年八十圓ニ購ヒ昭和四年迄滿一年ヲ飼養シテ百五十圓ニ賣却セリ(年支出八〇・〇〇)

建物器具修繕費 || 牛房ハ永久的堅固ナル門家ノ一部ニシテ殆ンド修繕費ヲ要セズ、器具ニ於テ飼桶ノ輪換ハ三年ニ一回位ヒ必要ナレドモ竹輪ナレバ一回五十錢前後ニシテ特ニ修繕費トシテ計上スルニ足ラズ

飼料費 || 米糠十二三石(一石三圓計三七・五〇) 麥三石(一石十三圓計三九・〇〇) 鹽少々ヲ購入シ——馬鈴薯屑大豆稻藁ヲ自給ス——平時ハ米糠ヲ主トシテ麥五合ヲ與ヘ、農繁農耕期ニハ特ニ一升五合ニ増給ス(年支出七六・五〇)

褥草費 || 水田乏シク二反歩千二百把ノ稻藁ハ先ズ飼料ニ供セザルベカラズ、褥草不足ナレバ約四圓ヲ購入ス(年支出四・〇〇)

消耗品費 || 飼料調理ニ所要ノ溫湯ハ竈ノ殘火ヲ利用ス

飼畜勞力 || 牛肥ハ三日毎ニ舍外ニ搬出ス、平時ノ勞力ハ極短時ナリ

販賣收入 || 前牛ハ昭和三年八十圓ニ購入シ昭和四年マデ滿一年育成ノ後百五十圓ニ賣却シテ増價七十圓ヲ利得セリ(年収入一五〇・〇〇)

自家收入 || 自作ノ水田ハ僅ニ二反歩ナレバ耕耘ノ爲ニ大ナル利用ナク専ラ牛車ヲ用ヒテ蜜柑ノ輸送ニ使役ス——肥料ハ

桑園ニ最モ良ク柑橋ニハ著シカラザルモ牛肥ナクバ全耕地約八百圓ノ金肥ハ更ニ百五十圓乃至二百圓ヲ増加スベシ
收支計算表

別項	畜産基礎	年支		出	販賣	及益 家收自金
		支	出			
常飼基礎家畜	常飼基礎家畜	改良和種牝一頭	八〇〇〇		牝一頭	(損失) 十圓
器具	器具	三種(十二圓三十五錢購入)				
原料家畜費	原料家畜費	米糠 大麥	七六・五〇			
建物器具修繕費	建物器具修繕費	自家修繕				
飼料費	飼料費	馬鈴諸屑、大豆、稻藁ヲ自給ス				
糞草費	糞草費	稻藁ヲ自給ス				
消耗品費	消耗品費					
放牧料	放牧料					
衛生費	衛生費					
諸賦課	諸賦課					
飼畜勞力	飼畜勞力	毎日極短時自家勞力				
計	計		一六〇・五〇			
育成牛	育成牛		一五〇・五〇			
現金	現金					
使役	使役					
自給肥料	自給肥料					
運搬	運搬					
買日	買日					

(備考) 當農家ノ畜牛飼養ハ一般農家ニ比スレバ善美ニシテ飼料購入費多額ナリ

育成牛例六 島根縣——農耕採肥ヲ兼テ牝犢ヲ育成ス(一頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 島根縣簸川郡神西村大島(大社驛ヨリ一里) 森山久太郎

家族 || 老二男一女一幼一計五人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ老一男一女一計三人ナリ

農牧狀況 || 水田六反歩、畑三反歩計九反歩ヲ自作スル中經營農家ニシテ、水田ノ裏作ニハ苜蓿六反歩ヲ植エテ綠肥並飼料ニ當テ畑ハ大部分桑園ニシテ年約原紙十一枚ノ養蠶ヲ行ヒ外ニ蔬菜園一畝歩アリ

畜舎 || 瓦葺板壁土床三坪ノ牛舎ハ明治三十三年納屋ノ一部ヲ改造セルモノニシテ現在新築評價約百五十圓ナリ

器具 || 飼料桶一箇(一・五〇) 押切一箇(二・五〇) スコップ一本(一・〇〇) フォーク一本(一・〇〇) 粗末ナルブラシ金櫛一組(〇・五〇) 鼻環一箇(〇・三〇) 計六圓八十錢ヲ購入シ綱其ノ他ヲ自給ス

建物器具修繕費 || 自家修繕ニシテ特ニ支出ナシ

原料家畜費 || 原料牛ハ生後六乃至八箇月ノ牝犢ニシテ本郡又ハ隣郡ヨリ購入シ三五月ヨリ翌年二三月迄約一ケ年間育成シテ三重、山口、京都府方面ニ移出スルヲ通常トシ厩肥ノ生産ヲモ主要ナル目的トス——前原料牛ハ改良和種生後六箇月牝犢ニシテ昭和三年五月百三十三圓ニテ八東郡ヨリ購入シ約十箇月育成シテ昭和四年二月二百八十圓ニテ美濃郡ニ賣却ス——

— 現畜ハ本年三月購入シタル明二歳ノ牝犢ニシテ目下育成中ナリ(年支出一三三・〇〇)
飼料費 || 麥三石(四八・〇〇) 大豆粕三石(二五・〇〇) 麩二俵(六・〇〇) 米糠二俵(二・六〇) 計七十一圓六十錢ヲ購入シ— 稻藁百五十貫夏期三箇月用生草五百貫ヲ自給ス(年支出七一・六〇)
褥草費 || 稻藁約四百五十貫ヲ自給ス
消耗品費 || 飼料調理用燃料トシテ桑枝、豆稈等ヲ自給ス
諸賦課 || 畜産組合費年額二十錢外ニ登録料二十五錢ヲ要ス(年支出〇・四五)
飼畜勞力 || 飼料給與、家畜ノ運動、手入、掃除等一日平均二時間ヲ要ス
販賣收入 || 昭和四年二月賣却セル育成牛一頭價格二百八十圓ナリ(年收入二八〇・〇〇)
自家收入 || 厩肥千五百貫ヲ生産シ桑園其ノ他ニ施用ス

收支計算表 ||

年	畜産基礎	別	
		項	別
年	畜産基礎	常飼基礎家畜	購 入
		器 畜 舍 具	販 賣
年	畜産基礎	改良和種牝犢一頭	自 給
年	畜産基礎	原料家畜費	自 足
年	畜産基礎	建物器具修繕費	自家修繕
年	畜産基礎	飼 料 費	稻藁生草ヲ自給ス
年	畜産基礎	褥 草 費	稻藁ヲ自給ス
年	畜産基礎	六種(六圓八十錢購入)	其ノ他ヲ自給ス
年	畜産基礎	改良和種牝犢一頭	瓦葺三坪牛舎一棟(明治三十三年納屋ノ一部ヲ改造)
年	畜産基礎	一三三・〇〇	其ノ他ヲ自給ス
年	畜産基礎	七二・六〇	自家修繕
年	畜産基礎	七二・六〇	稻藁生草ヲ自給ス
年	畜産基礎	七二・六〇	稻藁ヲ自給ス

入 家 及 益 收 入	出 支	別	
		項	別
自 給 肥 料	計	飼 畜 勞 力	購 入
		諸 賦 課	販 賣
現 成 牛	畜 産 組 合 費	〇・四五	自 給
		二〇・五〇五	自 足
益 收 入	育 成 牛	二八〇・〇〇	自家修繕
		七十四圓九十五錢	稻藁生草ヲ自給ス
及 自 收 入	牝 一 頭	七十四圓九十五錢	稻藁ヲ自給ス
		一千五百貫	其ノ他ヲ自給ス

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

(三) 耕 牛

- 分類
- 牝牛ヲ用ヒ兼テ蕃殖ヲ營ム
 - 牝牛ヲ用ヒ兼テ育成ス
 - 牝牛ヲ用ヒ後ニ肥育ス
 - 牡牛ヲ用フ

農家ガ耕牛ヲ飼養スル主要ナル目的ハ畜力ノ利用ト肥料ノ自給ニ存シ、他ノ生産販賣收入ニハ重キヲ置カザル

ヲ以テ、耕牛飼養ニハ何等ノ販賣收入ナク、屢々現金收支ニ於テ缺損ヲ招クコトアレドモ、多額ノ自家收入ヲ得、毫モ當初ノ期待ニ叛ケルニ非ズ、幸ニシテ賃耕賃貸ノ機會アラバ多大ノ利益ヲ收ムルコトアリ——耕牛トシテハ主ニ和牛又ハ鮮牛ガ使用セラレ、牛中最モ價格低廉ニシテ、能ク粗放ナル飼養管理ニ堪ユルヲ以テ、苟クモ相應ノ野草又ハ稻藁サヘ有ラバ最モ僅少ナル經費ヲ以テ飼養スルコトヲ得——一般ニハ牝牛ガ使用セラル、ヲ以テ年々蕃殖ヲ行ヒ産犢ヲ賣却利得スルコトヲ得レド、使役上ノ不便ニ理由シ、又ハ將來肥育牛タルノ餘地ヲ存シ強テ蕃殖ヲ行ハザルモノモ多數ナリ、比較的若年ノ牝牛ヲ使用シ育成ヲ兼ネ成長増價ヲ利得シテ第二次飼養地ニ轉賣スル場合ハ育成業ト大差ナク、中年以後ノ牝牛ヲ使役シ最後ニ肥育シテ肉用ニ賣却スル場合ハ肥育業ト類似シ、裁然タル區別ヲ爲スコトハ頗ル困難ナリ

耕牛例一 茨城縣——牝牛ヲ用ヒ兼テ蕃殖ヲ營ム(一頭)

調査期日 || 昭和三年十月

調査農家 || 茨城縣筑波郡鹿島村古川(守谷驛ヨリ一里)山中清吉

家族 || 老一男二女一幼二計六人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男二女一計三人ナリ——當農家ノ耕地ハ相當ニ大ナレドモ畜力ヲ利用スルニヨリテ自家勞力ニモ餘剩ヲ見ル程ナリ

農牧狀況 || 水田二町一反畑三反五畝桑園一反五畝計二町六反歩ノ自作中經營ニシテ水田ハ麥紫雲英菜種ヲ裏作トシ大豆

蔬菜ヲ作り養蠶ハ春秋ヲ通ジテ約十二枚ヲ掃ク——當地ハ糯米ノ産地ニシテ谷原(ヤハラ)糯ハ東京市場ニ高名ナリ、糯米ノ價格ハ粳米ニ比シテ一俵約五圓高ナレドモ收穫ニ於テハ反當二斗位少シ——本村ニ於ケル有畜農家ハ全村四百戸ノ約半數ニ及ブ

常飼基礎家畜 || 朝鮮牛牝一頭ヲ常飼ス、現畜ハ大正十五年百四十圓ヲ投ジテ購入シタルモノニシテ當時既ニ十三歳ナレバ目下二十歳ニ近キ老年ナレドモ尙氣力ニ富ミ耕耘就中畜力原動機ノ運轉ニ熟練セルヲ以テ未ダ廢用ノ意ナシ

畜舎 || 萱葺土床三坪ノ粗屋ニシテ従前馬飼セル以來二十年ヲ經由セリ、當時材料ヲ自給シテ手間賃二十四圓ヲ投ジタルニ過ギザルモ現在新築セバ約五十圓ヲ要スベシ

器具 || 飼桶一個(二・〇〇) 鼻輪一個(〇・三〇) プラシ、金櫛各一個(一・〇〇) 計三圓三十錢ヲ主ナル購入器具トス——其ノ他押切一個(二・〇〇) 萬能(〇・三〇) 鎌(〇・五〇) フォーク(二・五〇) ハ農事ト兼用シ——綱頸木力綱引綱ハ悉ク自給ス

建物器具修繕費 || 牛舎及器具ハ簡單粗拙ニシテ自給品多ク隨ツテ特定ノ修繕費ヲ要スルコトナシ

飼料費 || 藪百五十斤(五十斤入一袋二圓三四錢計七・〇五) 鹽少々ヲ購入飼料トス、過勞ノ際ハ大豆粕少量ヲ添加スルコトアリ——他ハ大麥三石六斗(五斗入一俵六圓計四三・二〇) 稻藁二千六百十貫(一圓ニ付三十貫計七二・〇〇) 生草紫雲英各少量ヲ自給ス、稻藁ハ反當百八貫ヲ生産シ繩蓆俵蠶簇ニ三百貫ヲ用ミ殘餘ハ悉ク牛肥製造ノ材料トス——畜牛ハ耕用ノミナラズ畜力原動機ニ供用シ殊ニ當農家ハ之ガ主唱者トシテ宣傳指導ノ爲ニ寧日ナク畜牛ヲ使役スルヲ以テ飼料ハ格別多額ヲ要ス(年支出七・〇五)

褥草費 || 稻藁麥稈約三千貫ヲ自給シ不足ナレバ雜草木葉迄モ利用ス、當農家ハ耕地面積ニ應ジテ牛肥ハ六千貫ノ所産

ヲ目標トスルガ故ニカメテ多量ノ褥草ヲ投ズ

消耗品費 飼料煮用ノ燃料トシテ松葉ヲ自給ス、當村ハ山林ニ乏シク各戸燃料ヲ得ルコト容易ナラズ約三里ヲ隔ツル松山ニ入りテ採集ス

種付料 種牡牛ハ附近ニ個人有朝鮮種牡牛アリテ種付料ハ六圓ナリ一般農家ハ蕃殖ヲ行フモ當農家ハ既記ノ如ク畜牛ノ利用ニ寧日ナキヲ以テ殊更蕃殖ヲ行フコト稀ナリ(年支出六・〇〇)

衛生費 支出セルコトナシ

諸賦課 畜産組合、畜力利用組合孰レモ賦課ナシ

飼畜勞力 給飼ノ爲ニ毎日約一時間ヲ要スルモ朝夕農事ノ前後ヲ利用スルヲ以テ足ル、牛肥ハ月三回ニ舍外ニ搬出ス

販賣收入 當農家ハ特殊ノ事情ニヨリ蕃殖ヲ行フコト稀ナルモ二年前ニ牡牝ハ生後五十日ニシテ三十五圓ニ賣却シタルコトアリ、牝ナレバ優ニ五六十圓ナルベク平均四十圓ト概算スルコトヲ得、一般農家ハ蕃殖ヲ行ヒ産牝ヲ以テ唯一ノ販賣收入トス(年收入四〇・〇〇)

自家收入 畜力原動機ノ利用ヲ以テ當農家ノ特色トス——當村ニ於ケル畜力原動機ハ専ラ馬場式ガ實用セララル、本機ハ盤狀ヲナシ一人力ヲ以テ容易ニ移動シ得ベク簡易堅牢ナルヲ誇トシ脱穀器攪器共價格百五十圓ナリ、精米器ハ一個ニシテ百圓ニ値スル精巧器ナレバ本機ニ附屬セザルモ農家ノ自家精米量ハ月三俵程度ナレバ毎戸ニ備フルノ要ナク數戸共有ニシテ不便ナシ、本機ハ牛馬一頭ヲ裝置スルモノナレドモ運轉輕快ナレバ牛馬ハ半日不休ノ作業ニモ堪エ終日ノ勞働ヲ三日位繼續スルコト稀ナラズ、石油發動機二三馬力ノモノニ比スルモ其ノ功程ニ於テ毫モ遜色ナシ、本村ノ農家ハ會テ石油發動機ト畜力原動機ノ優劣ニ就テ二派ノ爭ヲ醸シタルコトアリシガ各々實地使用對照ノ結果遂ニ畜力原動機ガ制勝シタルモノニシテ單

ニ作業ノ功程ノミヲ比較スレバ脱穀作業ニハ兩機共一日七反ナレドモ攪器作業ニ於テハ油機一日五十俵、畜力機三十五俵乃至四十俵ニシテ精米作業ニ至レバ油機一時間二乃至二俵半、畜力機一俵強ノ比トナリ畜力機ハ油機ニ及バサレドモ由來輕業ナレバ結局大差ナキモノト見ルベク、石油發動機ハ脱穀器攪器共一臺約千圓ニ近ケレバ勢ヒ數戸ノ共有ヲ要シ一戸ノ負擔百圓内外ニ當レドモ之ガ運轉ニハ一日一圓ノ石油ヲ費シ而モ相當ノ技術ヲ要シ熟練セザレバ故障ヲ生ジ其ノ都度三―五圓ノ修繕費ヲ投ズルノミナラズ共有者連帶ノ難トナリ、各戸作業ノ緩急ヲ按配スルニハ最モ不便ヲ感ズ、畜力原動機ヲ毎戸ニ所有スレバ出資百五十圓ニシテ稍高價ニ當レドモ機ハ堅牢ニシテ容易ニ破損セズ個人有トシテ各戸利用上ノ便宜學ゲテ云フベカラズ、剩ヘ畜牛ハ農家ニ必要缺クベカラザル耕勸運搬採肥ノ任ヲ兼ネ一舉數得ニシテ最モ經濟的ナリトノ結論ニ歸シタルモノナリ——本農家ガ農事經營ノ爲ニ耕耘ニ利用スルコトハ春耕ト肥料運搬ニ五十日以上、秋季ハ收納ト畜力原動機ノ爲ニ五十日以上、夏季ハ運輸ヲ主トシテ十餘日、冬季ハ薪炭ノ運搬耕耘ノ爲ニ十餘日約半歲ハ無爲ニ終ルコトナシ——牛肥ハ材料サヘ投ズレバ何程ニモ生産シ得ルヲ以テ本農家ハ二町步耕地ニ對シテ反當三百貫ノ割合ニテ年々六千貫ノ牛肥ヲ得ルコトヲ目標トス——金肥ハ尙水田反當約七圓ヲ投ズルモ無畜農家ニ比スレバ優ニ三割減ニ當リ而モ收穫ニ於テハ凡ソ一俵ノ差ヲ見ルガ常ナリ

收支計算表

別	項	購	入	販	賣	自	給	自	足
畜産基礎	常飼基礎家畜	鮮牛牝一頭(大正十五年百四十圓購入)						萱葺三坪牛舎一棟(明治四十二年廐廿四圓改造)	
畜器	畜舎	四種(四圓六十錢)						大部分ヲ自給ス	

年	支	出	販	賣	收	入	及	益	自	家	入	
費	料	計	費	賃	計	計	金	現	使	自	收	
費	費	計	費	費	計	計	金	金	役	給	給	
費	費	計	費	費	計	計	金	金	料	料	料	
建物器具修繕費	七〇五	自家修繕										
飼料費	六〇〇	自家修繕 大麥、稻藁、青草、紫雲英ヲ自給ス 稻藁、麥稈ヲ自給ス 燃料トシテ松葉ヲ自給ス										
糞草費		毎日一時間自家勞力										
消耗品費												
種付料												
衛生費												
諸賦課												
飼畜勞力	一三〇五											
產憤												
賃耕												
交換手取金												
計	四〇〇〇											
販賣計												
收入計	四〇〇〇											
益及自金												
家收												
計	二六圓九十五錢											
現役金												
使役金												
自給肥料												
計	百八十日 六千貫											

(備考) 本農家八年中五十日間ハ畜力原動機ノ利用ヲ宣傳指導シ畜牛ノ使役頻繁ナレバ一般農家ニ比スレバ特ニ美飼スルヲ要シタリ

耕牛例二 岐阜縣——牝牛ヲ用ヒ兼テ育成ス(一頭)

調査期日 || 昭和三年三月

調査農家 || 岐阜縣養老郡牧田村字上野(關ヶ原驛ヨリ二十五町) 田島信二郎

家族 || 男二女一計三人ナリ、内農業勞働ニ從事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田小作一町一反三畝畑自作三反計一町四反三畝ノ自小作中經營ナリ

常飼基礎家畜 || 改良和種牝牛一頭ヲ常飼ス、現畜ハ昭和二年十月當時四歳二百圓ノ評價ヲ以テ前者ト交換シタルモノナリ

畜舎 || 古キ堆肥舎ノ一部ヲ大正十五年ニ改築セルモノニシテ坪數二坪半改築實費四圓ヲ要シタリ、今後能ク十年ノ

使用ニ堪ユベシ

器具 || 飼料桶一個(一・五〇) 蒸桶一個(〇・六〇) 計二圓十錢ヲ購入シ其ノ他ノ雜具ハ自給ス

建物器具修繕費 || 修繕費ハ一年ヲ通ジテ建物五十錢器具二圓ナリ(年支出一・五〇)

飼料費 || 大豆粕二十一貫(七・三〇) 米糠三十貫(三・〇〇) ヲ購入シ——麥一石稻藁二百十貫青草二千貫乾草五十貫ヲ自給ス(年支出一〇・三〇)

褥草費 || 笹薄等ノ乾草二百貫藁屑十貫其ノ他飼料ノ食殘物ニシテ總テ自給ス

消耗品費 || 麥ノ煮用トシテ柴百二十貫ヲ自給燃料トス

諸賦課 畜産組合費一圓六十錢ヲ要ス(年支出一・六〇)

飼畜勞力 飼料給與ノ爲メニ一日平均三十分ヲ要スルノミ、年六回肥料ヲ搬出スル際ニハ毎回五時間ヲ費ス

販賣收入 耕牛ハ二三年ニシテ更新シ其ノ際新舊ノ代金差額ヲ交換手取金トス、現畜ニ交換スルニ當リテハ前畜ノ成長

増價ニヨリテ四十圓ヲ利得セリ、一年平均十六圓内外ニ當ル(年収入一六・〇〇)

自家收入 自己ノ農業ニ使役スルコト十八日、自給肥料ハ二千貫ヲ生産ス

收支計算表

出 支 年	礎基産畜	別 項	購 入	販 賣	自 給	自 足
建物器具修繕費	常飼基礎家畜	改良和種牝一頭(昭和二年二百圓購入)			藁葺二坪半牛舎一棟(大正十五年堆肥舎四圓改造)	
飼料費	畜舎	二種(二圓二十錢購入)			大部分ヲ自給ス	
梅草費	器具				多クハ自家修繕	
消耗品費					麥、稻藁、野草ヲ自給ス	
衛生費					笹、薄、藁屑ヲ自給ス	
諸賦課					燃料トシテ柴ヲ自給ス	
飼畜勞力					毎日三十分自家勞力	
計						
			一・五〇	一〇・三〇		
					一・六〇	
						一三・四〇

入 收 賣 販	入 收 賣 販	入 收 賣 販	入 收 賣 販
益及自家收入	現使自給	役金	計
			成長増價(四十圓)
			(年割)一六・〇〇
			一六・〇〇
			二圓六十錢
			牛 農 肥 耕
			十八日
			二千貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

耕牛例三 岐阜縣 牝牛ヲ用ヒ後ニ肥育ス(一頭)

調査期日 昭和三年三月

調査農家 岐阜縣稻葉郡三里村字清(岐阜驛ヨリ廿五町) 武藤孝一

家族 男二女一幼二計五人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ男二人ナリ

農牧狀況 水田一町五反畑三畝桑園二反計一町七反三畝ノ小作中經營ナリ

常飼基礎家畜 改良和種牝牛一頭ヲ常飼スルモ二三年毎ニ半肥育シテ轉賣ス、現畜ハ大正十五年二月當時四歲二百五圓

ニテ購入セリ

畜 舍 〓 物置ノ一方ヲ葺下シテ板圍ヲ設ケタル極メテ簡單粗造ノ牛舎ニシテ約二坪大正十年材料手間悉ク自給シテ作
 器 具 〓 飼料桶一個(二・〇〇) 飼料控桶一個(一・二〇) 押切一個(三・五〇) 計六圓七十錢ヲ主ナル購入器具トス
 建物器具修繕費 〓 牛舎及器具ノ多クハ自給ニシテ桶ノ輪替ニ四十八錢ヲ支出シタルコトアレドモ一定ノ修繕費ヲ要ス
 ルコトナシ

飼料費 〓 米糠三十貫五百匁(三・六〇) 麥糠七貫(三・〇〇) ヲ購入シ——麥四十八貫青草七百五十貫藁三百三十貫ヲ自
 給ス(年支出五・六〇)

褥草費 〓 青草千五百貫麥稈二百二十貫ヲ自給ス

消耗品費 〓 麥ヲ煮ル燃料トシテ藁五十八貫ヲ自給ス

衛生費 〓 藥品代三十錢ヲ支出セリ(年支出〇・三〇)

諸賦課 〓 畜産組合費年額八十錢ヲ要ス(年支出〇・八〇)

飼畜努力 〓 飼料給與及手入ノ爲ニ毎日平均一時間半ヲ要シ肥料ハ毎月一回舎外ニ搬出ス

販賣收入 〓 賃耕ハ一人附一日四圓ニシテ五十日分二百圓ヲ收得ス——畜牛ハ大抵二三年間使役シ、通例十月ヨリ翌年一
 月迄約四ヶ月半肥育シテ賣却シ新畜ト交換ス、此ノ際新舊價格ノ差額ヲ交換手取金トシテ收受ス、現畜ハ大正十五年二百五
 圓ニ購入シ明年一月二百六十圓ニ賣却シ得ル見込ナレバ三年ニシテ五十五圓平均一年十八圓内外ノ増價收入アルノ理ナリ
 (年收入二一八・〇〇)

自家收入 〓 農耕使役ハ三十八日ニシテ自給肥料ハ三千六百貫ヲ得

收支計算表 〓

入 家 及 益 收 自 金	入 收 賣 販	出 支 年			別 項	購 入 販 賣	自 給 自 足
		飼 畜 計	衛 生 費	種 付 料			
自 使 現 給 肥 料 役 金	交 換 手 取 金 計	飼 畜 計	衛 生 費	種 付 料	種 付 料	種 付 料	種 付 料
二百四十圓三十錢	半肥育増價(五十五圓) (年割)一八・〇〇 二一八・〇〇	畜産組合費 〇・八〇	藥品費 〇・三〇	米糠、麥糠 六・六〇	改良和種牝一頭(大正十五年二百五圓購入) 物置下屋葺下シ三坪牛房一個 三種(六圓七十錢購入)	自家修繕 麥、青草、藁ヲ自給ス 青草、麥稈ヲ自給ス 燃料トシテ藁ヲ自給ス	農耕 三十八日 三千六百貫
		七・七〇				毎日一時間半自家努力	

(備考) 本農家ハ賃耕收入ガ多額ナリ。

耕牛例四 神奈川縣——牝牛ヲ用ヒ後ニ肥育ス(一頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 横濱市綱島町(縣廳ヨリ三里) 石黒忠助

家族 || 老一男二女二計五人ニシテ内農業勞働ニ従事スル者男二女二計四人ナリ

農牧狀況 || 水田一町畑八反桃園二反計二町歩ノ中經營ニシテ殆ンド全部小作ナリ——當地方ハ三浦郡西浦村高座郡有馬村ト共ニ縣下有名ナル深田地ニシテ一毛作ノ外ナク稻作反收ハ約六俵、畑ニハ蔬菜大小麥ヲ栽培ス——農家ノ飼畜ハ悉ク鮮牛ニシテ當農家ハ既ニ十年以上飼牛ス、平素耕耘及ビ糞尿汲取り主トシテ運搬ニ使役シ、勞働頻繁ナレバ二三歳乃至四歳牛ヲ購ヒ蕃殖ヲ行ハズ、五六歳ニ達スレバ肥養シテ肉用ニ賣却ス

常飼基礎家畜 || 鮮牛牝一頭ヲ常飼ス——現牛ハ現三歳昨秋二百圓ノ評價ヲ以テ交換購入セルモノニシテ一頭二百圓ハ當地方ニテ普通ナリ

畜 舍 || トタン葺片屋根丸太作り土床一坪強ノ粗屋ニシテ物置ノ下屋ヲ利用シ、全部手持材料ヲ以テ自家建築ス

器 具 || 悉ク自製品ナリ

建物器具修繕費 || 殆ンド不用ナリ

飼料費 || 麥糠三十六石五斗(一斗十五錢計五四・七五)ヲ購入シ——麥稻藁野草ヲ自給ス——麥ハ五石四斗七升ヲ要シ

勞役ノ多少ニヨリテ加減スルモ平均セバ毎日押割二三升ニ相當シ、稻藁ハ約三百貫ヲ要シ一日一貫久ヲ目安トシテ給與ス——

稻藁ハ一把約三百匁ニシテ反收約百貫、此價格四圓、乃至四圓五十錢ニシテ一般ニ牛一頭ノ食藁ハ三反歩分ト概算ス——

青草ハ農事多忙ニシテ刈取ノ暇ナク多量ニ給與シ難シ(年支出五四・七五)

褥草費 || 稻藁三百貫ヲ自給ス

消耗品費 || 無シ

種付料 || 蕃殖ヲ行ヘバ産後一年間使役上不便ヲ來スガ故ニ一般ニ蕃殖ヲ行ハズ

衛生費 || 無シ

諸賦課 || 無シ

飼畜勞力 || 農事ノ餘暇ニ飼養管理ス

販賣收入 || 二年内外ニテ新舊牛ヲ交換シ差額ヲ手取ス——前牛ハ昭和三年十月評價二百三十圓ヲ以テ賣却シ、現牛ハ同時評價二百圓ヲ以テ購入シタレバ差額ハ三十圓ニシテ年割十五圓ナリ(年收入一五・〇〇)

自家收入 || 春秋ノ耕耘並ニ横濱市内及船便ノ糞尿汲取運搬ノ爲ニ一年二百日間使役ス——市ノ糞尿ハ一日二十荷宛年ニ五百貫、船便糞尿ハ毎年二千貫ニ達シ、金肥ハ磷酸肥料最モ多ク人糞金肥ヲ合セテ肥料代ハ凡ソ二百圓ナリ——牛肥ハ一年約一千貫ヲ生産ス

收支計算表 ||

凡ソ三十圓ヲ要スベシ

器 具 || 飼槽一個(三・〇〇) 齒車付カイバ切り一個(八・五〇) 計十一圓五十錢ヲ購入シ、其他雜具ハ悉ク自製品ナリ
 建物器具修繕費 || 牛舎モ器具モ自製品ニシテ特ニ修繕費ヲ要セズ
 飼料費 || 麩四俵(百斤入一袋四圓計一六・〇〇) 麥糠三石(一斗八錢計二・四〇) 米糠四俵(六斗入一俵一圓七十錢計六・八〇)ヲ購入シ——稻藁野草麥少々ヲ自給ス——稻藁ハ反當六百乃至八百五十束ヲ産シ一反歩分四圓乃至四圓五十錢ニテ燃料芋床ナドニ賣買セラル(年支出二五・二〇)

褥草費 || 稻藁ヲ自給ス——當地方ハ薪炭原料ニ乏シク藁ハ燃料ニ供スルヲ以テ多量ニ與ヘ難シ

消耗品費 || 特ニ擧グベキモノナシ

種付料 || 耕牛ハ一般ニ蕃殖ヲ行ハズ

衛生費 || 支出セルコトナシ

諸賦課 || 畜産組合費年額二十錢ヲ要ス(年支出〇・二〇)

飼畜勞力 || 飼養管理ノ爲ニ時間ヲ割クコトナシ

販賣收入 || 一般ニハ三歳ニ購入シ五六歳ニ至リ肉用ニ賣却ス——前牛ハ百二十圓ニ購入シ昭和三年九月百八十圓ニ賣却シ、同時現牛ヲ百十圓ニ購入セルモノニシテ、三四年毎ニ五十圓内外ノ益金ヲ生ズルガ普通ナレバ年割二三十圓ニ相當ス(年收入二五・〇〇)

自家收入 || 農耕ニ供スルハ春三十五日秋十日ニシテ一日一反ヲ鋤クベシ——當農家ハ畑マデ十五六町道程アリ平時牛車ヲ使用スルコト多ク其他運搬用トシテ年ニ百日ハ使用ス——牛肥ハ凡ソ二千六百貫ヲ産シ、悉ク水田桑園芋畑ニ施用スルモ

平均二百貫ニ達セズ、隨ツテ水田ニ金肥約十圓ヲ使用セリ

收支計算表 ||

入 收 賣 販	出 支 年	畜 産 基 礎		別 項
		畜 器 具	畜 舍	
計	計	計	計	計
交換手取金	飼 畜 勞 力	飼 料 費	飼 料 費	販 賣
貨 產 積	衛 生 費	種 付 料	種 付 料	自 給
賣 積	諸 賦 課	消 耗 品 費	消 耗 品 費	自 足
販 積	計	褥 草 費	褥 草 費	
		建 物 器 具 修 繕 費	建 物 器 具 修 繕 費	
		畜 産 組 合 費	畜 産 組 合 費	
		穀、麥糠、米糠	穀、麥糠、米糠	
		自家修繕	自家修繕	
		稻藁野草麥ヲ自給ス	稻藁野草麥ヲ自給ス	
		稻藁ヲ自給ス	稻藁ヲ自給ス	
		時間ヲ要セズ	時間ヲ要セズ	
		鮮牛牝一頭(昭和三年百二十圓購入)	鮮牛牝一頭(昭和三年百二十圓購入)	
		二種(十一圓五十錢購入)	二種(十一圓五十錢購入)	
		藁葺二坪牛舎一棟(自家建築)	藁葺二坪牛舎一棟(自家建築)	
		其ノ他ヲ自給ス	其ノ他ヲ自給ス	
肥育増價(五十圓)				販 賣
(年割)二五・〇〇				
二五・〇〇				

益金 及自 家收	現 使 自 給	金 役 料	(損 失)	四十錢	農 耕 運 搬	百 日	二千六百貫
----------------	------------------	-------------	----------	-----	------------------	--------	-------

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

耕牛例六 滋賀縣——牡牛ヲ用フ(一頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 滋賀縣神崎郡伊庭村(能登川驛ヨリ三十町) 山路作次郎

家族 || 老二男一女一幼二計六人ニシテ内農業勞働ニ從事スルモノ老一男一女一計三人ナリ

農牧狀況 || 水田一町七反畑一反計一町八反歩ノ自作中經營ナリ——水田裏作ニハ大麥一反歩菜種一反五畝紫雲英一町三反ヲ栽培シ、畑作ニハ茶種、蠶豆、蔬菜、蕃茄ヲ栽植ス、松樹山林二反歩ハ自家用燃料ヲ給シ——耕牛一頭ヲ飼養スル外更ニ成鶏約七羽ヲ常飼セリ——本村ハ神崎郡ノ西端愛知川ノ南ニ位スル琵琶湖畔ノ一寒村ニシテ耕地ハ殆ンド水田、耕土深ク古來人力ニ依リ鋤ヲ以テ耕起シ今日ト雖畜力ヲ利用スルコトハ殆ンド稀ナリ、土地豊沃ニシテ肥料トシテハ湖水ノ泥土及藻ヲ採集シテ堆肥ヲ作り殊ニ舟楫ノ便備ハルヲ以テ堆肥收穫物ノ運搬ハ總テ水路ニ依リ役畜ヲ使用セズ、堆肥製造ニハ多大ノ勞力ヲ必要トシ、有畜農業ヲ營メバ容易ニ厩肥ヲ生産シ得ルニ拘ラズ古來ノ慣習ヲ墨守シテ全村殆ンド無畜農家ノミナリ

常飼基礎家畜 || 改良和種牡牛現十歳一頭ヲ常飼ス——現畜ハ丹波産ニシテ大正十四年當時五歳二百七十圓ニ購入シ——前牡牛ハ大正十三年二百五十五圓ニテ購入、一年耕作ニ使用シタル後半肥育シテ三百圓ニ販賣セルモノニシテ現畜ハ本農家ニ於ケル第二回目飼牛ナリ

畜 舍 || 瓦葺二坪ノ牛舍ハ大正十三年五十圓ヲ投ジテ藁入納屋ヲ改造シタルモノニシテ踏肥ノ爲ニ土床ハ二尺ヲ掘下

器 具 || 飼料桶一箇(一・五〇) 鍋一箇(一・五〇) 押切一箇(三・五〇) フォーク一本(一・五〇) 計八圓ヲ主ナル購入器具トス——鎌一挺(〇・七〇) 萬能一箇(一・〇〇) ハ農事ト兼用シ、毛バケ金櫛ハ牛馬商ノ寄贈品ヲ使用ス

建物器具修繕費 || 牛舍及器具ハ簡單粗拙ニシテ自給品多ク特定ノ修繕費ヲ要スルコトナシ

飼料費 || 毎年七月乃至九月三箇月間隣村ノ牛馬賃貸業者ニ預托スルヲ以テ自家飼養期間ハ九箇月ニシテ——米糠百五十五貫(十貫匁一圓五十錢計一七・八三) 大麥糠三十貫(十貫匁一圓三十錢計三・九〇) 鹽一斗(〇・八〇) 計二十二圓五十三錢ヲ主ナル購入飼料トシ——大麥二俵(四斗入一俵三圓五十錢計七・〇〇) 稻藁四百八十六貫野生草七百五十貫野乾草百二十貫其ノ他畦畔栽植ノ豆穀、蠶豆穀等百貫内外ヲ自給ス(年支出二二・五三)

褥草費 || 稻藁約千五百貫ヲ自給スル外畦畔ノ野草ヲモ利用ス

消耗品費 || 飼料調理用燃料トシテ藁九百七十貫餘及糠穀ヲ自給ス

衛生費 || 石灰九斗(一斗入一俵二十五錢計二圓二十五錢)ヲ購入ス(年支出二・二五)

諸賦課 || 畜産組合費トシテ七十五錢ヲ要ス(年支出〇・七五)

飼畜勞力 || 飼料給與及手入ノ爲毎日平均一時間ヲ要スルモ朝夕農事ノ前後ヲ利用シ牛肥ハ毎月一回搬出ス

販賣收入 || 毎年春耕後耕牛ヲ牛馬賃賃業者ニ預託シ預託料十五圓ヲ支拂フト共ニ賃貸料四十圓ヲ得差引二十五圓ノ利アリ、預託期間ハ七月ヨリ九月迄約三月間ニシテ賃賃業者ハ此等ノ耕牛ヲ借集メ畜力利用ノ繁閑早晚ヲ巧ニ按配シテ無畜農家ノ耕作ヲ請負ヒ或ハ直接預託耕牛ノ轉貸ヲ行ヒ、使役日數ニ應ジテ一定ノ賃料ヲ支拂フモノナリ(年収入二五・〇〇)

自家收入 || 農耕使役ハ春秋ヲ通ジテ三十日ニシテ——牛肥ハ約三千貫ヲ生ジ、毎月一回搬出セバ直ニ舟積シテ圃場ノ一隅ニ運び、農閑ニ際シテ泥土及藻屑ヲ混ジテ堆肥ヲ作製ス——從來購入金肥トシテ反當六圓内外ヲ要シタルモ今ハ僅ニ石灰百俵二十五圓ヲ購入スルニ止ル

收支計算表 ||

出 支 年	畜産基礎	別 項	購 入	販 賣	自 給	自 足
飼 諸 衛 種 消 褥 飼 建	器 畜 常	具 舍 畜	改和牡牛一頭(大正十四年二百七十圓購入)	四種(八圓購入)	瓦葺二坪牛舎一棟(大正十三年實費五十圓納屋改造)	其ノ他ハ自給兼用ス
飼 諸 衛 種 消 褥 飼 建	器 畜 常	具 舍 畜	米糠、麥糠、鹽	二・二五	自家修繕	大麥、稻藁、野草、豆殼ヲ自給ス
飼 諸 衛 種 消 褥 飼 建	器 畜 常	具 舍 畜	石 灰	二・二五	稻藁ヲ自給ス	燃料トシテ粗殼ヲ自給ス
飼 諸 衛 種 消 褥 飼 建	器 畜 常	具 舍 畜	畜産組合費	〇・七五	每日一時間自家勞力	

(四) 肥 育 牛

分類
牝牛肥育
閹牡牛肥育

供肥原料牛ハ主トシテ和牛稀ニ鮮牛ニシテ、數年農耕ニ供用セラレタル中年ノ牝牛ガ用ヒラル、コト多ク、就中蕃殖ノ經驗ナキモノガ賞美セラレ閹牛或ハ二歲牡牛ガ有性ノ儘肥育セラル、コトモアリ——肥育期間ハ供肥牛ノ適否肥育法ノ精粗ニヨリテ異リ短キハ三箇月程度ナレバ年四回反覆生産シ得ベク、長キハ六箇月ヲ要シ年

入 家 及 益 收 自 金	入 收 賣 販	計
自 使 現	交 貨 產	計
給 給 肥 料	換 換 換	計
役 金	手 取 金	
(損 失)		
五十三錢	二五・〇〇	二五・五三
牛 農		
肥 耕		
三十日		
三千貫		

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

二回ヲ限度トシ、中ニハ耕用育成ヲ兼テ數年間飼養シテ肥育ヲ完了スルモノアリ

肥育牛例一 三重縣——牝牛肥育(一頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 三重縣名賀郡藏持村大字藏持(藏持驛ヨリ四町) 中田定高

家族 男二女三計五人ニシテ全部農業労働ニ従事ス

農牧狀況 水田一町桑園三反計一町三反歩ノ自作中經營ニシテ地味ハ上等ナレバ平均七俵ヲ收穫シ得、藁ハ大部分飼料ト褥草ニ供シ少量ヲ蒔及蠶用ニ供ス——二毛作ニハ大麥ヲ作ルヲ以テ麥ヲ飼料ニ供シ得ルモ山間部農家ハ麥作少クシテ利用シ難シ——養蠶ハ春蠶十匁夏蠶八匁秋蠶八匁ヲ行フ——本郡ハ豫テ肥育牛ニ名アル地方ニシテ農家ハ古來畜牛ヲ愛撫シテ肥養スルコトヲ好ミ、二三歳但馬産改良和種牝牛ヲ購入シテ數年使役ノ後半肥育シテ江州方面ニ移出シ來リシガ、近クハ完全ニ肥育シテ直接東京ニ販賣スルニ至リ一層聲價ヲ高メ一時ハ郡内ノ肥育組合モ十箇ヲ算シ年々八九百頭ヲ生産セルモ、近年原料牛拂底ト共ニ價格騰貴セルヨリ若牛ノ短期肥育セラレ、モノアリテ玉石ヲ混ジ聲價モ利潤モ往時ニ比シテ漸減セルヤノ傾向アリ、恰モ昭和二年來乳牛飼養ガ獎勵セラレ今日ハ乳牛ノ新興地トシテ喧傳セラル、ト雖モ一定地域ニハ依然トシテ畜牛ノ肥育行ハレ、年々六七百頭ヲ生産シ當村ハ恰モ其中心地ナリ

畜舍 住宅ノ一部ヲ劃シテ九尺四方ノ牛房トシタルハ當地一般ノ構造ニシテ特ニ建築費ヲ要セズ——土床ニシテ一

尺五六寸ヲ掘下ゲテ踏肥ヲ作り山間部ハ更ニ深クシテ三尺位ヒナルモノアリ

器具 押切一箇(二・五〇) 飼桶一箇(二・五〇) ホーク一挺(一・五〇) 計六圓五十錢ヲ購入シ其他ハ農具ヲ兼用ス

原料家畜費 滋賀大阪和歌山ノ諸府縣ヨリ購入セル二三歳但馬産改良和種牝牛ヲ原料牛トス——肥育牛ハ豫テ蕃殖ニ供シタルモノハ成績不良ナレバ忌避シ自家ニ於テモ蕃殖ヲ行フコトナシ——近年原料牛拂底ノ爲一般ニ高價ニシテ秋冬ノ候ニハ二歳牛ニシテ二百圓内外、廉ナルモ百五十圓ヲ下ラズ——當村田中半藏ハ有數ノ農家ニシテ夙ニ牛鶏ノ家畜肥料ノミヲ以テ農業ヲ營ミ優ニ八俵ノ反收ヲ擧ゲ就中肥育牛ニ高名有リ、將來最高肥育牛ヲ生産スルノ企圖ヲ以テ大阪府泉南郡ヨリ二歳四百圓ノ優良牛ヲ購入飼養セルモ斯ノ如キハ稀ニシテ、普通二百五十圓以上ヲ最上トシ二百圓以上ヲ上トシ二百圓以下ヲ中以下トス——當農家現牛ハ昭和二年四月當時二歳二百八十圓ニテ大阪府岸和田市場ヨリ購入セルモノナリ——原料牛ハ角細クシテ脂肪懸リ顔短ニシテ背反リ良ク胴張り強ク毛數多キモノ必ズ物喰ヒ宜シク成績良好ナリト稱ス

建物器具修繕費 牛舎ハ住宅ノ一部ニテ殆ンド修繕費ヲ要スルコトナシ

飼料費 藪七袋(百斤十六貫入一袋四圓計二八・〇〇) 鹽二貫匁(一貫匁三十五錢計〇・七〇) 計二十八圓七十錢ヲ購入シ——大麥米糠稻藁ヲ自給ス——原料牛ハ二三歳ニテ購入シ二三年飼養シ充分氣候風土ニ馴レシメ、五歳前後ニ至リ一年間毎日麥一升ヲ與ヘテ徐々ニ肥育ノ素地ヲ作り爾後半年ヲ費ヤシテ肥育シ、此期間日々麥三升藪五七升ヲ給シ一日増重三百匁完成體重百八十貫乃至二百貫ニ達スルハ理想的方法ニシテ肉質最良ナルモ、一般農家ハ麥一升藪二升程度ニテ常飼シ平時モ肥育期モ大差ナク完成體重百五十貫ナルヲ普通トシ、山間部農家ハ麥ヲ自給シ得ザルヲ以テ麥五合或ハ米糠ノ外給與シ得ザルモノアリ、殊ニ近來原料牛ノ不足ト農家經濟逼迫ノ爲若牛ヲ約九十日間ニ速成肥育スルモノハ肉付脂肪共著シク劣等ナリ或ハ中府ヲ採リ若牛ヲ稍長期間ニ亘リテ肥養スルモノアリテ當農家ハ稍之ニ類ス——當農家ハ約二年間飼養シ三四箇月間ニ

本肥育ヲ了スルヲ以テ一頭ニ付大約二箇年半ヲ要シ、平時飼料ハ大麥五合米糠一升麩一二升ニシテ稻藁ハ細切シテ温湯ヲ以テ軟化シ、肥育期ニハ麥一升麩二三升ヲ一日三四回ニ給與ス(年支出二八・七〇)

褥草費 || 麥藁稻藁ヲ自給ス

消耗品費 || 飼料調理ニ要スル温湯ノ燃料ハ炊事ノ残火ヲ用フ

諸賦課 || 藏持村畜牛肥育組合ハ組合員三十名ニシテ組合費ハ徴收セズ

販賣費 || 上野町又ハ名張町市場費ハ一頭一圓ヲ要ス(年割支出〇・四〇)

飼畜努力 || 特ニ時間ヲ費スコトナシ——肥料搬出ハ月二回夏ハ三四回ニ行フ

販賣收入 || 肥育牛ノ賣却ハ十二月ヲ最良トスルガ故ニ現牛ハ昭和四年末四百圓ニ賣却スル豫定ニシテ——前牛ハ大正十四年二百六十圓ニ購入シ昭和二年同様ノ成績ヲ得タルモ偶々食慾亢進症ニ罹リ三百十圓ニ投資スルノ外ナカリキ(年割收入

一六〇・〇〇)

自家收入 || 春十日秋十五日間使役シ一日一反ヲ鋤カシム——牛肥産額ハ多大ナルモ一般ニ金肥ヲ併用シ當農家ハ反當六

七圓ヲ施用ス

收支計算表 ||

別項	購入	販賣	自給	自足
畜産基礎				
常飼基礎畜舎				
器具	三種(六圓五十錢購入)		住宅一部ヲ用フ	其ノ他ハ農具ヲ兼用ス

年	支出		計	販賣	収入
	飼料	諸費			
原料家畜費	改知牝(二百八十圓購入)(年割)一一・〇〇				
建物器具修繕費	穀				
飼料費	鹽		二八・七〇		
褥草費					
消耗品費					
衛生費					
諸賦課					
販賣費	市場費		一〇・〇〇		
飼畜努力					
計			一四一・七〇		
販賣					
収入	一頭(四百圓賣却)		(年割)一六〇・〇〇		
益及自家收入					
現役金					十八圓三十錢
使給肥料					
自家					
修繕					
大麥米糠稻藁ヲ自給ス					
麥藁稻藁ヲ自給ス					
自家修繕					
每日極少時自家努力					
牛農					
耕肥					
二十五日					
貫					

(備考) 本農家ハ原料牛高價ニシテ且ツ二箇年半ニ肥育ヲ完了スルモノニシテ飼養期間長ク育成業ニ近似シ隨テ肥育ノ現金利得ハ少額ナリ

肥育牛例一 兵庫縣——牝牛肥育(二頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 兵庫縣有馬郡本庄村上本庄(藍元驛ヨリ一里)脇坂作五郎

家族 || 老一男一女一幼二計五人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田五反歩畑二畝歩計五反二畝歩ヲ自作スル小經營農家ナルモ本地方ハ山間ナレバ山林十八町歩、刈草地一反歩ヲ所有ス——水田ノ裏作ニハ麥三反歩、紫雲英一反歩ヲ植エ年ニヨリ馬鈴薯三畝歩位ヲ栽培スルコトアリ、畑ニハ主トシテ里芋ヲ植エ他ニ自家用ノ根葉菜類ヲ栽培ス

畜舎 || 明治三十年頃在來ノ納屋ノ一部ヲ劃シテ方八尺ノ牛房ヲ設ク、左右ノ板壁ニハ金網二重張、鐵格子窓一箇宛ヲ設ケ天井ニモ方二尺ノ天窓アリテ保溫通風並明暗ノ調節ヲ圖リ、又床ハ土床ニシテ一尺五寸餘掘リ下ガ充分ニ褥草ヲ敷キ舍内ノ溫度ハ一年ヲ通ジテ凡ソ華氏七十度内外ニ保ツ——本畜舎ハ極メテ堅牢ニシテ改造費約四十圓ヲ要シタリ

器具 || 飼料桶二箇(一・〇〇) 押切二箇(九・五〇) プラシ金櫛二組(一・八〇) フォーク二本(二・〇〇) 追綱二條(二・〇〇) 鼻環二箇(〇・三〇) 計十六圓六十錢ヲ支出シ其ノ他ハ農事及家事ト兼用ス

原料家畜費 || 本地方ニ於ケル肥育原料牛ハ五歳以上ノ改良和種牝牛ヲ以テシ豫備肥育五箇月本肥育二箇月ナルヲ通例トシ但馬産牛ノ岡山、鳥取、和歌山、大阪地方ニ於テ育成セラレタルモノヲ本郡畜産組合ノ定期家畜市場ニ於テ購入スルモノナリ——本農家ハ一箇年二回肥育シ昭和三年三月末體重九十貫改良和種四歳牝牛ヲ二百圓ニ購入シ豫備期五箇月間ニ約一週

間農耕ニ供シ本肥育ハ二箇月ニシテ百六十貫ニ達シ十月末三百七十圓ニ賣却セリ——第二回目ハ同時、體重七十貫ノ三歳牝牛ヲ二百三十圓ニ購入シ、約九箇月ノ豫備肥育二箇月ノ本肥育ヲ經テ昭和四年九月中旬體重百七十貫四百十圓ニ賣却セリ——肥育二回ノ期間一箇年半ニ達シタルハ異例ニシテ普通一箇年ニテ完了ス(年割支出二八六・六七)

建物器具修繕費 || 自家修繕スルヲ以テ特ニ支出ナシ

飼料費 || 一箇年半ノ購入飼料ハ米糠四石五斗(一石三圓計一三・五〇) 麥三石(四五・〇〇) 大豆粕七貫玉二十四枚(一枚二圓二十錢計五二・八〇) 計百一十一圓三十錢ニシテ大豆粕ハ本肥育期間ニ限り一日約一貫四百五十匁ヲ給與ス——稻藁八百十貫夏季生草三百貫乾草二百七十四貫ヲ自給ス(年割支出七四・二〇)

褥草費 || 稻藁一日平均一束約一貫五百匁ヲ投與シ一箇年約五百五十貫ヲ自給ス

消耗品費 || 飼料麥煮沸ノ爲燃料ヲ要スルモ炊事ノ殘火ヲ利用シ特ニ支出ト看做スベキモノナシ

諸賦課 || 郡畜産組合費ハ目下徴收セザルモ村畜産實行組合費一箇年三圓ヲ支出ス(年支出三・〇〇)

販賣費 || 畜牛ノ販賣手数料トシテ販賣斡旋者タル村畜産實行組合ニ對シ販賣價格ノ千分ノ五ヲ納入シ組合ハ代畜ノ購入ヲ無料ニテ斡旋スルモノニシテ一箇年半二頭分二圓十五錢ノ手数料納入セリ——組合ハ京阪ノ屠肉卸賣商人ト豫メ取引期日ヲ約シ現物取引ヲ行フモノニシテ通常七八頭乃至十四五頭一時ニ賣買スルモノニシテ直接商人ト取引セバ三十圓方安値ナリ(年割支出一・四三)

飼畜勞力 || 飼料給與、家畜ノ手入、牛舎掃除等一日平均一時間ヲ要ス

販賣收入 || 第一回ノ肥育牛賣價三百七十圓ニシテ第二回四百十圓計七百八十圓ナリ(年割收入五二〇・〇〇)

自家收入 || 年約二週間家畜ヲ農耕ニ使役シタル外、厩肥約五千四百貫ヲ生産シ總ベテ水田、畑並ニ竹林ニ施用ス——本

農家ハ從來約五十圓ノ金肥ヲ購入シタルモ畜牛飼養以來金肥ヲ全廢スルニ至レリ
收支計算表

別項	畜産基礎		年支		出	販賣	及益	家及自					
	常飼基礎家畜	器具	原料家畜費	建物器具修繕費					飼料費	消耗品費	衛生費	諸賦課	販賣費
購入	六種(十六圓六十錢)		改和牝(四百三十圓購入)(年割)二八六・六七		米糠、麥、大豆粕								
販賣					實行組合費								
自給	方八尺牛房一箇(明治三十三年納屋一部實費四十圓改造) 其ノ他ヲ兼用ス				販賣手数料二頭分								
自足					三六五・三〇								
計					百五十四圓七十錢								
計					二頭(七百八十圓賣却) (年割)五二〇・〇〇								
計					三六五・三〇								
計					三〇〇								
計					(年割)一・四三								
計					每日一時間自家勞力								
計					十四日								
計					五千四百貫								

(備考) 本農家今期ノ肥育ハ特ニ一箇年半ヲ要シタリ

肥育牛例三 兵庫縣——牝牛肥育(二頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 兵庫縣多紀郡南河内村西谷(丹波大山驛ヨリ十八町) 阪下安次郎

家族 男一女一幼二計四人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノハ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 水田一町歩、畑一反歩、梅柿果樹園一反三畝計一町二反三畝ノ自小作中經營農家ニシテ外ニ山林二町七反歩ヲ所有シ生草豐富ナリ——水田ニハ稻九反五畝歩、葉根菜類五畝歩ヲ栽培シ、裏作ニハ青刈用ノ蠶豆二反五畝歩、紫雲英三畝歩ヲ栽培シ他ハ休閒ス——畑ニハ馬鈴薯三畝歩其ノ他里芋、甘藍、サフラン等ヲ植ユ——外ニ成鶏六十羽ヲ飼養シ鶏卵代ヲ以テ畜牛飼料ヲ購入ス

畜舎 在來ノ納屋ノ一部ヲ改造シタルモノニシテ六坪ヲ二牛房ニ區劃シ、床ハ混凝土外圍板張ニシテ大正十四年改造費十五圓ヲ要シタリ

器具 飼料桶二箇(三・〇〇) 押切一箇(三・五〇) 計六圓五十錢ヲ購入シ飼料桶二箇フオーク二本、ブラシ金櫛一組、追糞、鼻環等ハ賞品トシテ受領セルモノニシテ飼料鍋ハ家庭用ヲ兼用ス

原料家畜費 年二回肥育ス——第一回ハ昭和三年一月末四歳百貫ノ但馬牛ヲ百九十五圓ニ購入シ、一月ヨリ五月迄半肥

育シ其ノ間約十二日間農耕ニ使役シ六月ヨリ豫備肥育ニ移リ九月十月ヲ本肥育期トシ體重百五十八貫ニ達シタルヲ三百三十五圓ニテ賣却セリ——第二回目ハ同年十一月六歲百十貫ノ牝牛ヲ二百十圓ニ購入シ、直チニ本肥育シテ翌年一月體重百三十六貫二百六十圓ニ賣却セリ(年支出四〇五・〇〇)

建物器具修繕費 自家修繕ナレバ特ニ支出ナシ

飼料費 〓 麥七石三斗(一石八圓五十錢計六二・〇五) 米糠八石(二四・〇〇) 麥糠四石(八・〇〇) 計九十四圓五錢ヲ購入シ——稻藁二百五十五貫生草五百四十貫ヲ自給ス(年支出九四・〇五)

褥草費 〓 稻藁約一千貫ヲ自給ス

消耗品費 〓 飼料麥煮沸ノ爲燃料ヲ要スルモ雜物ヲ以テ辨ズ

諸賦課 〓 農會費年五十五錢ヲ要ス(年支出〇・五五)

販賣費 〓 一頭ニ付五十錢二頭分一圓ヲ要ス(年支出一・〇〇)

衛生費 〓 除虫菊粉、重曹等約一圓ヲ要ス(年支出一・〇〇)

飼畜勞力 〓 飼料給與、家畜ノ手入、牛舎ノ掃除等一日平均一時間ヲ要ス

販賣收入 〓 肥育牛ヲ年二頭賣却シ第一回ハ三百三十五圓第二回ハ二百六十圓計五百九十五圓ヲ收ム——販路ハ主トシテ京阪地方ニシテ肥育牛ノ取引ハ畜産組合斡旋ノ下ニ家畜市場ニ於テ行ヒ商人直接ノ取引ハ稀ナリ(年收入五九五・〇〇)

自家收入 〓 十二日間農耕ニ使役シ厩肥約三千貫ヲ生産セリ、厩肥ハ全部水田及畑ニ施用シ反當約三十圓ノ金肥ヲ節約ス

收支計表 〓

別	項	年		畜產基礎		
		出	入			
別	項	常飼基礎家畜	二種(六圓五十錢購入)	四〇五・〇〇	自給	足
		器畜具舍	改良和種牝二頭	九四・〇五		
別	項	原料家畜費	麥、米糠、麥糠	一・〇〇	自給	足
		建物器具修繕費	除蟲菊粉、重曹	〇・五五		
別	項	飼料費	農會費	五〇一・六〇	自給	足
		褥草費	計	五九五・〇〇		
別	項	衛生費	計	九十三圓四十錢	自給	足
		諸賦課費	計	九十三圓四十錢		
別	項	販賣費	計	九十三圓四十錢	自給	足
		飼畜勞力	計	九十三圓四十錢		
別	項	計	九十三圓四十錢	九十三圓四十錢	計	計

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

肥育牛例四 香川縣——牝牛肥育(二頭)

調査期日 || 昭和三年九月

調査農家 || 香川縣小豆郡四海村大字伊喜末(土庄港ヨリ約一里半) 濱中兼吉

家族 || 男二女一幼二計五人ナリ、内農業労働ニ従事スルモノ男二女一計三人ナリ

農牧狀況 || 畑一町二反桑畑一反計一町三反歩ノ自作中經營ニシテ臨海一帯ノ農村多クハ水田ヲ缺キ主要作物ハ甘藷ニシテ最モ收穫ニ富ム、甘藷ハ畑ニヨリテハ隨時收穫ノ便有リテ高價ナル走りヲ賣却スルコトヲ得バ反收八十圓ニ上ルモ一回收穫ノ場合ハ四十圓前後ニ止ル、當農家ハ甘藷ノ裏作トシテ大小麥ヲ栽培シ養蠶ハ四枚ヲ掃ク——本島ハ古クヨリ醬油ノ製造地トシテ名アリ隨ツテ東部地方ニハ醬油粕ヲ利用シテ養豚ガ行ハレ西部ニハ大豆ヲ用ヒテ牛ノ肥育ガ行ハレ四海村ハ恰モ中心地ナリ

畜舎 || 在來ノ納屋ノ一部ヲ割シテ約三坪ノ牛房ヲ設ク、二尺許リ掘リ下ゲタル土床ニシテ改造ノ爲ニ何等ノ出費ナシ

器具 || 購入シタル器具ハ飼料鍋一個(一・五〇) 飼料桶一個(四・〇〇) フォーク一個(一・五〇) プラシ金櫛(一・〇〇) 計八圓ニシテ其ノ他ハ農具ヲ兼用ス

原料家畜費 || 當村ニ於ケル肥育ハ豫備飼養共約六ヶ月ヲ費ス——或ハ稍短縮シテ年三回ニ施行スルモノアレドモ收支ノ結果ニ於テハ二回モ三回モ大差ナシ——當農家ハ毎年二回ニ肥育シ供肥原料牛ハ岡山産牛又ハ郡内ニ育成シタル牛ヨリ物色

ス、岡山牛トハ晩春田植後ニ岡山市場ニ出ヅル中年ノ牝牛ニシテ之ヲ「中上ゲ」ト唱ヘ四五歳ニシテ二百圓内外ヲ例トシ上品ナルヲ特色トシ(雜種ナキコト)、原料牛トシテ純粹ノ改良和種ト雜種ニテハ肥育能力ト販賣價格トニ大ナル優劣ヲ生ジ、當農家ハ皮膚弛緩シテ而モ肉付ヨク好ンデ粗糲ヲ健啖スルモノニ着眼シテ原料牛ヲ購入スト云フ——郡内ニ育成セル牛ハ隣村ニ於テ産牛地ヨリ當歳ニ仕入レ三歳迄育成シタルモノニシテ之亦岡山牛同系ノ和種ニシテ二百圓弱ナリ——當農家ハ夏ヨリ豫備飼養ヲ開始シ九月ノ交ヨリ本飼養ニ移リ年内ニ結了シテ正月旬々ニ賣却シ、同時ニ豫テ仕入レタル郡内育成牛ノ肥育ニ着手シ春季ニ終ルヲ以テ一段落トシ一般農家モ多クハ斯ノ如クス——現畜ハ本夏岡山市場ニ購入セルモノニシテ二百五十圓、當時百二十三貫ノ體重アリ、八月ヨリ肥育ニ着手シ目下百五十五貫毎日四百匁ノ増重アリテ年末ニハ百八十九貫ニ達スベキ見込ナリ、一般ニハ仕入當時百貫内外一日増重三百匁、仕上ゲ百四十貫程度ナルガ普通ナリ(年支出四五〇・〇〇)

建物器具修繕費 || 牛舎ハ自給ニ成リ器具モ簡單堅固ナレバ殆ンド修繕費ヲ支出スルコトナシ

飼料費 || 大豆二頭分三石餘(一石十四五圓計五〇・〇〇) 藪二頭分約五石(一石四圓計二〇・〇〇) ヲ購入シ——麥四石五斗甘藷及甘藷蔓ヲ自給ス、甘藷蔓ハ反收凡ソ三百貫有リ收穫セバ隨所樹幹ニ懸乾シテ頗ル奇觀ナリ——供肥牛ハ當初一二ヶ月ハ飢エザル程度ニ維持スルヲ豫備期トシ後三四ヶ月間ヲ本肥育期トス、飼料ハ麥大豆藪甘藷蔓ヲ用フ、麥及水浸軟化セル大豆ヲ鍋ニ煮タル後寸斷セル甘藷蔓ヲ以テ覆ヘバ甘藷蔓モ軟化ス、朝夕二回ニ給與シ肥育ノ進捗ト共ニ三四回ニ分給ス、飼料ノ配合ヲ例示スレバ初期ニハ麥二升豆一升藪二升甘藷二貫、末期ニハ麥三升豆一升藪二升甘藷蔓ノ類ニテ大豆ハ滿腹シ易ク食慾ヲ減ズルヲ以テ必要ナレドモ多クハ與ヘズ、肉質ノ爲ニハ麥ヲ可トヌルガ故ニ末期ニ入レバ寧ロ大豆ヲ減ジテ麥ヲ増加ス(年支出七〇・〇〇)

褥草費 || 水田無キヲ以テ稻藁ヲ得難シ、農家ハ閑暇アレバ出デ、海草ヲ採取シ地上ニ風乾シテ褥草ニ供シ又肥料トナ

ス、海岸ニハ幾多ノ海草ノ堆積アルヲ見ル

消耗品費 || 飼料調理ノ爲ニ燃料ヲ要スルモ農産廢物ヲ以テ辨ズ

諸賦課 || 組合費六十錢ヲ要ス(年支出〇・六〇)

販賣費 || 肥育牛ハ商人ニ居渡シスルヲ以テ販賣上經費ヲ要スルコトナシ

飼畜勞力 || 飼料給與及手入ノ外ニ牛舎ノ清掃並毎日秤量ノ爲メ組合牛衡場ニ牽牛スルノ勞アルモ云フニ足ラズ、勤勉ナル者ハ朝夕二回布片ヲ以テ牛體ヲ拂拭スルコトアレド要スルニ毎日約一時間半ノ所勞ニ過ギズ

販賣收入 || 肥育牛八年二回ニ賣却ス、前年ニハ平均三百七十圓ニ賣却シタルガ本年ハ既ニ五月三百五十五圓ニ賣却シ現畜ハ成績頗ル良好ナレバ明年一月ニハ四百六十圓ニ販賣シ得ル見込ナリ(年収入八一五・〇〇)

自家收入 || 牛肥ノ效力ハ著大ナリ牛肥アレバ金肥モ亦其ノ效力ヲ加フ、甘藷ニハ充分ノ牛肥アレバ金肥ヲ全廢スルモ可ナルベシト云フ

收支計算表 ||

年	畜産基礎		別項
	畜舎	基礎畜舎	
年	器 具	四種(八圓購入)	購入
	原料家畜費	改良和種牝二頭	四五〇・〇〇
	建物器具修繕費		自家修繕
			三坪牛房一個(納屋改造) 大部分ヲ自給ス
			自家修繕

支 出	計	販賣收入	及益自金	家及自收
飼料費				
糞草費				
消耗品費				
衛生費				
諸賦課費				
販賣費				
飼畜勞力				
組合費				
大豆				
七〇・〇〇				
〇・六〇				
五二〇・六〇				
八一五・〇〇				
二百九十四圓四十錢				
二千五百圓				

(備考) 本農家ノ肥育成績ハ一般農家ニ比スレバ優秀ナリ

肥育牛例五 兵庫縣——牝牛肥育(三頭)

調査期日 || 昭和三年三月

調査農家 || 兵庫縣加東郡瀧野村字河高(瀧野驛ヨリ二十町)丸山幸之助

家 族 || 老二男一女一幼一計五人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田一町二反畑四畝計一町二反四畝ノ自作中經營ニシテ外ニ山林八反竹林五畝ヲ所有ス、米二十六石麥十二石ヲ産シ粟粟一反二畝ヲ栽培シテ百圓ノ收入アリ——本農家ハ毎年三四回ノ肥育ヲ行ヒ農繁期ニハ肥育牛ヲモ耕耨ニ利用シテ農業勞力ノ節約ヲ計リ、牛肥ハ全部田畑ニ施用シテ金肥ノ購入ヲ省キ農業經營ヲ最モ有利ニ導キツ、アル模範農家ナリ

畜 舍 || 明治初年ニ新築セル物置ノ一部ヲ改修セルモノニシテ坪數一坪半、材料其ノ他ハ之ヲ自給セリ

器 具 || 飼料桶二箇(六・〇〇) 煮鍋一個(三・五〇) バケツ一個(〇・四〇) フォーク一本(二・八〇) 計十二圓七十錢ヲ購入シ其ノ他ハ自給ス

原料家畜費 || 普通明六歲位ノ改良和種牝牛ヲ購入シ三四ヶ月間ニ肥育スルモノニシテ昭和二年ニハ第一回一月二百三十圓ニ購入シテ五月二百八十圓ニ賣却シ、第二回五月二百五十圓ニ購入シテ九月二百九十五圓ニ賣却シ、第三回九月二百六十圓ニ購入シテ十二月三百六十圓ニ賣却シタリ(年支出七四〇・〇〇)

建物器具修繕費 || 器具ノ修繕費ハ殆ンド計上スベキモノナキモ畜舍ハ屋根修繕ノ爲ニ年一圓ヲ要スベシ(年支出一・〇〇)

飼料費 || 藪十二袋(五十斤入一袋二圓二十錢計二六・四〇) 米糠四石八斗(一石三圓計一四・四〇) 大豆粕四枚(一〇・〇〇) ヲ購入シ——麥七石藪五百五十貫乾草百八十貫青草二千四百七十五貫ヲ自給ス(年支出五〇・八〇)

褥草費 || 藪一千百貫ヲ自給スル外青草ノ食殘モ多量ニ利用セラル

消耗品費 || 飼料煮沸ノ燃料トシテ一日四貫目程度一年凡ソ一千五百貫ノ柴ヲ自給ス

衛生費 || 藥品代六十錢ヲ要ス(年支出〇・六〇)

諸賦課 || 畜産組合通常費四十錢ヲ要ス(年支出〇・四〇)

販賣費 || 市場入場料四回分八十錢、販賣手数料四圓ヲ要ス(年支出四・八〇)

飼畜勞力 || 飼料給與ニ毎日一時間半、牛肥搬出ハ月二回ニシテ毎回六時間ヲ要シ、夏期三ヶ月間ハ毎日二時間宛牽運動ト草刈ニ從事シ一年ノ延時間ハ八百七十時間ナリ

販賣收入 || 肥育牛ハ昭和二年中五月二百八十圓、九月二百九十五圓、十二月三百六十圓ニ賣却シ計九百三十五圓ノ收入ヲ見タリ(年收入九三五・〇〇)

自家收入 || 農繁期約二十日間耕耘ニ利用シ牛肥ハ三千五百貫ヲ生産ス

收支計算表

出 支 年	畜産基礎		別 項	購 入	販 賣	自 給	自 足
	器 具	常飼基礎家畜					
原料家畜費	七四〇・〇〇	—	—	—	—	—	—
建物器具修繕費	—	—	—	—	—	—	—
飼料費	—	—	—	—	—	—	—
褥草費	—	—	—	—	—	—	—
消耗品費	—	—	—	—	—	—	—
衛生費	—	—	—	—	—	—	—
諸賦課	—	—	—	—	—	—	—
販賣費	—	—	—	—	—	—	—
市場諸費	—	—	—	—	—	—	—
藥品代	—	—	—	—	—	—	—
畜産組合費	—	—	—	—	—	—	—
改良和種牝三頭	—	—	—	—	—	—	—
藪、米糠、大豆粕	—	—	—	—	—	—	—
自家修繕	—	—	—	—	—	—	—
麥藪、野草ヲ自給ス	—	—	—	—	—	—	—
藪ヲ自給ス	—	—	—	—	—	—	—
燃料トシテ柴ヲ自給ス	—	—	—	—	—	—	—

飼畜勞力計	販賣收入		益及自家收入	
	肥育牛	計	現役	自給肥料
七九七・六〇	三頭			
	九三五・〇〇		百三十七圓四十錢	
每日一時間半自家勞力			二十日	三千五百貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

肥育牛例六 滋賀縣——牝牛肥育(四頭)

調查期日 || 昭和四年九月

調查農家 || 滋賀縣神崎郡建部村大字上中(八日市驛ヨリ十町)磯部善之丞

家族 || 老一男一女一幼三計六人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノハ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田一町一反畑一畝桑園二畝計一町一反三畝ノ自作中經營ニシテ雜木竹林五畝步ヲ有ス——水稻ノ裏作ニハ大麥、菜種、紫雲英等ヲ栽培シ畑ハ自家用蔬菜園トス、養蠶ハ行ハズ桑葉ヲ販賣シテ年十五六圓ノ收入アリ——冬季農閑時ニハ藁細工ヲ行ヒ沓、蓆等ノ藁工品ヲ製造シテ七八十圓ノ粗收入アリ——畜牛肥育ノ外自家用トシテ成鶏十五羽ヲ有ス——

——神崎郡ハ蒲生、野洲、犬上諸郡ト共ニ縣下ニ於ケル肥育中ノ中心地ニシテ、就中本村ハ近ク八幡、八日市等ノ畜牛集散地ヲ控ヘ、交通至便ニシテ沃野遠ク開ケ、水田多ク畑地少キヲ以テ農家ハ副業トシテ藁細工ヲ行フ外肥育原料牛ヲ一二頭宛年三四回購入シ短期肥育ノ後販賣スルヲ常トス、原料牛ハ多ク伊香郡木之本市、愛知郡勝堂市場及附近ノ牛馬商等ヨリ求ム原料牛ノ產地ハ主ニ丹波地方ニシテ福井縣及本縣下ニ於テ四五歲迄農耕運搬ニ使役シタルモノトス

畜舎 || 母屋ノ一部ヲ割シテ二坪半ノ牛房ヲ設ク、壁下半部ハ板張トシ土床ノ深サ四尺五寸、既ニ五十年來使用ス

器具 || 飼料桶二箇(四・〇〇) 大釜一箇(一七・〇〇) バケツ一箇(〇・四〇) 手入具一組(〇・五〇) 柄杓一本(〇・二〇)

計二十四圓十錢ヲ主ナル購入器具トシ——其ノ他ハ普通農事ト兼用ス

原料家畜費 || 毎回一頭宛年四回四頭ヲ肥育販賣ス——第一回ハ昭和三年八月伊香郡木之本市場ニ於テ改良和種牝牛六歳百十三貫ノモノヲ三百圓ニ購入シ十一月月上旬百四十貫四百圓ニテ地方仲買人ニ販賣ス、第二回ハ同月木之本市ニ於テ五歳牝牛ヲ三百二十圓ニ購入シ昭和四年二月下旬三百九十圓ニテ販賣ス、第三回ハ昭和四年三月犬上郡ノ牛馬商ヨリ六歳牝牛ヲ二百八十圓ニ購入シ同五月下旬八日市牛馬商ニ三百二十圓ニテ販賣ス、第四回ハ同時同牛馬商ヨリ六歳牝牛ヲ二百六十五圓ニ購入シ八月上旬二百九十圓ニテ販賣ス——現畜ハ八月上旬八日市牛馬商ヨリ二百六十圓ニテ購入シタル改良和種六歳牝牛ニシテ秋耕後十一月中旬三百四十圓内外ヲ以テ販賣シ得ル見込ナリ——本村ニ於ケル肥育ハ豫備飼養共三箇月ヲ要シ一般ニ春秋ノ二回ハ農耕ニモ供用シ適度ノ勞役ヲ課スルガ故ニ肥育成績最モ良ク、夏季ハ肥育モ困難肉價モ廉ナルヲ以テ例年薄利ナルヲ常トス(年支出一、一六五・〇〇)

建物器具修繕費 || 牛房ハ既ニ數十年ヲ經過セルモ未ダ格別ノ修理ヲ施シタルコトナシ、器具モ簡單堅牢ナルヲ以テ自家修繕ニテ充分ナリ

飼料費 || 大麥八俵(四斗入一俵四圓四十錢計三五・二〇) 大豆一俵(四斗入六・〇〇) 大豆粕百二十貫(一貫及三十六錢計四三・二〇) 大麥糠二百五十貫(一貫及十六錢計二六・二五) 食鹽七貫及(五十斤入二圓二十錢一・九三) 計百十二圓五十八錢ヲ購入シ——大麥四斗入七俵米糠七十貫(一貫及十五錢) 藁二百貫(一貫及五錢) 茶種莢二百貫生草三百貫ヲ自給ス——肥育ノ第一期約一月間ハ藁、茶種莢、大麥糠、米糠ヲ給シ、第二期約一月間ハ其ノ前半ニ於テハ大麥一升後半ニハ二升及大豆粕一升ヲ給シ、第三期約一月間ハ藁ノ如キ粗飼料ヲ省キ大麥三升、藁、米糠等ヲ使用ス(年支出一一・五八)

褥草費 || 稻藁三百貫(一貫及三錢計九・〇〇)ヲ購入シ、千二百貫ヲ自給シ、生草ノ食殘ヲモ利用セシム(年支出九・〇〇)

消耗品費 || 飼料調理ノ爲燃料ヲ要スルモ藁、糠穀、松葉、茶種莢等ヲ利用ス

諸賦課 || 畜産組合費八十錢ヲ要ス(年支出〇・八〇)

販賣費 || 原料牛ノ購入、肥育牛ノ販賣手数料トシテ年一圓八十錢ヲ要ス(年支出一・八〇)

飼畜努力 || 飼料ノ給與及手入ノ外ニ牛舎ノ清掃牛肥ノ搬出等ヲ合シテ一日平均二時間ヲ要ス

販賣收入 || 肥育牛ハ毎回一頭宛年四回賣却ス、過去一箇年ニ於ケル販賣價格ハ第一回四百圓、第二回三百九十圓、第三回三百二十圓、第四回二百九十圓ニシテ計一千四百圓ナリ(年収入一、四〇〇・〇〇)

自家收入 || 農繁期ニハ約二十日間耕耘ニ使役ス——牛肥ハ約七千二百貫ヲ産シ年五回ニ搬出シテ全部水田及蔬菜畑ノ肥料トス——購入金肥百六十圓、内百二十圓ヲ水稻作ニ施肥ス、牛肥ナクバ更ニ百圓内外ノ金肥ヲ必要トスベシ

收支計算表

別	項	年		畜産基礎
		出	支	
常飼基礎畜	舎	改良和種牝四頭	一、一六五・〇〇	二坪半牛房一箇(母屋ノ一部ヲ區劃ス)
畜	具	大麥、大豆、大豆粕、大麥糠、食鹽	一一二・五八	自家修繕
器	具	藁	九・〇〇	大麥、米糠、藁、茶種莢、生草等ヲ自給ス
		飼料費	一、二八九・一八	稻藁ノ大半ヲ自給ス
		建物器具修繕費	〇・八〇	燃料トシテ農産廢物ヲ自給ス
		衛生費	一・八〇	每日二時間自給勞力
		諸賦課費	〇・八〇	
		販賣費	一・八〇	
		飼畜努力	一、四〇〇・〇〇	
計				
販賣收入	肥育牛	四頭	一、四〇〇・〇〇	
及自家收入	現役金		百十圓八十二錢	農耕
	自給肥料			牛肥
				二十日
				七千二百貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

(五) 乳 牛

分類 { 生乳(市乳、原料乳)ヲ販賣ス
乳牛ヲ賃貸ス

乳牛ハ牛中最モ高價ニシテ之ガ經營諸費多大ナレドモ、平時多量ノ市乳又ハ原料乳ヲ販賣シ、血統能力優秀ナルモノハ屢々高價ナル牝ヲ生産シ收入最多ナリ——他方ニハ極メテ小額ノ經費ヲ以テ頑健ナル雜種乳牛ヲ飼養シ泌乳期間中搾乳業者ニ賃貸スル農家モ有リ

乳牛例一 岐阜縣——市乳ヲ販賣ス(基牝一頭)

調査期日 || 昭和四年九月

調査農家 || 岐阜縣可兒郡池田村字町屋(多治見驛ヨリ十二町) 土岐次郎吉

家 族 || 老二男一女一幼一計五人ニシテ、内農業勞働ニ從事スルモノハ老一男一女一計三人ナリ

農牧狀況 || 水田自作四反歩、畑小作五畝歩、桑園自作二反五畝計七反歩ノ自小作經營ニシテ山林二町歩竹林三畝歩ヲ有ス——水田裏作大麥、畑ハ蔬菜主トシテ甘藍ヲ栽培シ販賣粗收入五十圓ヲ得ベク、桑葉百二十圓ヲ購入シテ收購八十貫六

百圓ノ粗收入アリ——本地方ハ岐阜縣下ニ於ケル新興ノ農家搾乳地帯ニシテ昭和二年九月可兒郡ヲ一圓トスル牛乳共同處理事等ノ創始ニヨリテ發展ノ緒ニ就ケルモノナリ

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝現七歳一頭ヲ基礎家畜トス——現畜ハ昭和二年九月岐阜市ノ搾乳業者ヨリ成牛ヲ購入シタレバ雜種ナレド頗ル高價ニシテ七百圓ヲ要シタリ、將來二頭ニ増加スルノ計畫中ニ屬ス

畜 舍 || 瓦葺、混凝土床三坪ノ牛舍ハ昭和二年八月古牛舍ヲ四十圓ニテ購入シ二十圓ヲ投ジテ移轉修復シタルモノニシテ現今新築セバ七十五圓ヲ要スベシ——同年十月從來ノ堆肥舍ニ十圓ヲ投ジテ積舍ニ改造シタルモノアリ、現今新築セバ二十圓ヲ要スベシ

器 具 || 飼料桶一箇(三・〇〇) バケツ二箇(〇・八〇) 麻繩二本(一・〇〇) 鼻環二箇(一・〇〇) 毛ブラシ一箇(〇・八〇) 金櫛一箇(〇・三五) 薬切一臺(一・〇〇) 共同搾取所備付器具ノ負擔(一・九〇) 計十八圓八十五錢ヲ以テ主ナル購入器具トシ——押切一箇(四・〇〇) 備中鋏一箇(二・〇〇) 鎌二本(〇・七〇) ヲ農事ト兼用ス(支出一八・八五)

建物器具繕修費 || 建物器具ノ修繕補給ニ年五圓ヲ要ス(年支出五・〇〇)

飼料費 || 粟九十俵 五十斤入一俵二圓十錢計一八九・〇〇) 大豆粕三十三俵(十貫入一俵三圓七十錢計一二二・二〇) 大麥糠二十四石(一升二錢五厘計六〇・〇〇) パルプ五俵(一石入一俵一圓八十錢計九・〇〇) 鹽二俵(五十斤入一俵二圓計四・〇〇) 藥五百貫(一貫六錢計三〇・〇〇) 甘藷蔓三百二十貫(一圓ニ付八十貫計四・〇〇) 計四百十八圓十錢ヲ購入シ——大麥五斗入六俵菊芋六十貫甘藍屑五十貫大根蕪菁二百貫蠶沙六百貫生草千八十貫等ヲ自給ス(年支出四一八・一〇)

褥草費 || 稻藁四百貫ヲ自給スル外生草蠶沙等ノ食殘ガ利用セラレ

消耗品費 || 燃料トシテ薪百四十四貫ヲ自給シ燈用油代一升五合(一升三十錢計〇・四五) ヲ購入ス(年支出〇・四五)

種付料 || 組合有種牝牛ノ種付料ハ一回十圓ナリ(年支出二〇〇〇)
 衛生費 || タール、石灰、其ノ他ノ衛生諸費ヲ合シテ年支出十圓トス(年支出一〇〇〇)
 諸賦課 || 畜産組合費一圓ヲ要ス(年支出一〇〇)
 飼畜勞力 || 飼料ノ給與、搾乳、並牛肥ノ搬出等ヲ合セテ平均一日三時間ヲ要ス
 販賣收入 || 生乳産額二十六石ノ内自家飲用及犢哺乳用ヲ差引キ更ニ五分ノ目減ヲ見テ販賣總量ハ二十三石七斗三升ニシテ一升二十三錢換計五百四十五圓八十六錢ナリ——産犢八年一頭、昭和三年十一月十三箇月牡犢一頭ヲ肉用トシテ百三十七圓ニ販賣ス(年収入六四五・八六)
 自家收入 || 自家用トシテ一斗、犢哺乳用トシテ一石ノ生乳ヲ消費ス——牛肥五千貫ヲ生ズ、施肥料ハ水田一反當四五百貫、桑園菜園約三反歩ニ對シ三千五百貫ヲ標準トス

收支計算表 ||

年	項 別	講 入	販 賣	自 給	自 足
年	畜産基礎	常飼基礎家畜 畜器 器具	ホ雜牝一頭(昭和二年七百圓購入) 瓦葺三坪牛舎一棟(昭和二年古牛舎六十圓購入改築) 八種(十八圓八十五錢購入)	自家修繕 大麥、菊芋、甘藷屑、大根、燕菁、蠶沙、生草ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス	
	建物器具修繕費	五・〇〇			
飼料費	大豆粕、麥糠、バルブ、	四一八・二〇			
糞草費					

七〇

入 家 及 益 收 自 金	入 收 賣 販	出 支
自 飲 現 給 料 生 肥 生 金 料 乳 金	計 産 生 犢 乳	計 飼 販 諸 衛 放 種 消 畜 賣 賦 生 牧 付 耗 勞 費 課 費 料 料 品 力 費 課 費 料 料 費
	市乳一頭二十三石七斗三升 牡 一 頭 一〇〇・〇〇 六四五・八六	燈 油 一〇〇・〇〇 藥 品 一〇〇・〇〇 畜産組合費 一〇〇 計 四四四・五五
二百一圓三十一錢		燃料トシテ薪ヲ自給ス 每日三時間自家勞力
牛 肥		
一斗 五千貫		

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

乳牛例二 三重縣——市乳ヲ販賣ス(基牝一頭)

調査期日 || 昭和四年十月

七一

調査農家 || 三重縣阿山郡西柘植村大字下拓植字物堂(モット)(新堂驛ヨリ十町)松尾廣吉

家 族 || 老一男一女一幼二計五人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田五反桑園及畑二反計七反歩ノ自作小經營ナリ——水田四反歩ハ乾田ニシテ反收八俵アリテ二毛作ヲ行ヒ附近一般ニ地味良好ニシテ少シク上作ナレバ八九俵ニ上リ十俵ヲ得ルコトモ稀有ナラズ——一年ヲ通ジテ七八枚ノ養蠶ヲ行ヒ畜産ハ昭和二年四月ヨリ創始ス——本郡ハ元肥育牛ニ名有リテ年々千頭以上ヲ生産スルモ當村一帶ハ甚シキ深田ニシテ畜力ノ利用不可能ナレバ畜牛ヲ飼養スルモノナカリシガ、乳牛ヲ飼養シテ肥料ノ源泉トシ併セテ經濟的収益ヲ擧ゲ兼テ本郡内ノ牛乳ヲ自給センガ爲ニ、昭和二年ニ至リ當村外四箇村ヲ一團トシテ昭和畜産購買販賣利用組合ヲ設立シ、二箇所ニ處理所ヲ設ケシヨリ會テ深田無牛地帯ニモ拘ハラズ着々乳牛ハ普及シテ目下八十餘頭ニ達シ純粹種ハ約三割ヲ占メ、豫期ノ如ク有畜農業ガ行ハレ、生乳ハ從來ノ搾乳業者ニヨリテ一合八錢ニ小賣セラレ郡内ノ牛乳ハ全部自給ノ域ニ達シ、二三斗ノ殘乳ハ遠ク大阪市ニ移出セラル、ニ至レリ

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝牛一頭ヲ常飼ス——現牛ハ現四歳ニシテ昭和二年四月靜岡縣下ヨリ六箇月百三十圓ニ購入セルモノニシテ目下初産、最高一斗五升ヲ搾乳シタリ——本組合員ノ購入シタル雜種乳牛價格ハ犢百三四十圓乃至百六十圓ニシテ純粹種ハ三百圓乃至五百圓ナリ

畜 舍 || 藁葺土床六坪ノ極粗屋ハ犢房物置及通路ヲ備へ、在來ノ納屋ヲ自ラ改造セルモノニシテ特ニ出費ナシ

器 具 || 搾乳罐及輸送罐各一箇(四・七五)ヲ購入シテ共同搾乳所ニ私品トシテ備付ク——其他ノ器具ハ農具ヲ兼用シ飼桶モ自製品ナリ

飼料費 || 藪三十俵(百斤入一俵四圓計二・〇〇)米糠四五俵(一俵一圓五十錢計六・七五)冬季用芋皮二俵(十五貫入

一俵三圓二十五錢計六・五〇)妊娠期用豆粕三俵(四斗入一俵四圓内外計二・〇〇)計百四十五圓二十五錢ヲ購入シ——乾草期用稻藁一日二十四把宛、青草期用河邊路傍哇畔野草、二毛作紫雲英、間作青刈燕麥五畝歩青刈玉蜀黍五畝歩早春用京水菜五畝歩、稗蠶沙ヲ自給シ、芋蔓蔬菜屑ハ近隣ヨリ無償ニテ得ラル——燕麥ハ手入良クバ優ニ二回刈取り稗ハ水田ノ雜草ナレド泌乳ニ卓效アリ(年支出一四五・二五)

褥草費 || 稻藁ヲ自給シ生草ノ食殘ハ其儘褥草トナリ肥料トシテ腐熟モ容易ナリ、當村農家ハ蓆編ミヲ副業トスル者多ケレバ藁屑藁尻ハ無償ニテ得ルコト容易ナリ

消耗品費 || 飼料ハ生食セシムルヲ以テ調理ノ爲ニ燃料ヲ要スルコトナシ

種付料 || 組合種牝牛ハ千葉縣安房郡產黑キング系ニシテ種付料十五圓ナルモ獎勵金五圓ヲ差引バ十圓ナリ(年支出一〇・〇〇)

衛生費 || 衛生費ハ組合ガ支辨シ制蹄モ搾乳所ニ於テ年二回宛施行シ臨時ニ行フ時ノミ經費ヲ要ス

諸賦課 || 畜産組合費年額一圓、處理所利用料トシテ生乳一合ニ付六厘ヲ要ス——利用料六厘ノ内三厘ハ組會經費、他ノ三厘ハ輸送費ニ充ツルモノナレバ、組合經費ノ分ハ當農家ノ販賣乳量二十石ニ付六十圓ナリ(年支出六一・〇〇)

販賣費 || 利用料ノ他ノ半額六十圓ハ輸送費ナレド、生乳ハ處理所ニ於ル現搾乳者交替ニテ往復六里上野町小賣業者迄送付スルモノニシテ其都度日當一圓二十錢ヲ收受スベク、當農家ハ毎月三四回當番ニ當リ本年ノ日當約五十圓ヲ受領シタレバ差引販賣費八十圓ニ當レリ(年支出一〇・〇〇)

飼畜勞力 || 飼養管理ハ朝夕ノ閑時ヲ利用スレド共同搾乳所ハ約四町ヲ隔テタレバ朝夕共一二時ヲ要ス

販賣收入 || 昭和三年十月初産以降滿一箇年ノ販賣乳量ハ犢飲料二石五斗ヲ差引十九石七斗一升四合(一合二錢計三九四・

二八) ナリ——小賣業者受値ハ乳價及利用料ニ自己減耗ヲ見込凡ソ二錢七八厘ニ當ルベシ——牝犢一頭ヲ百十圓ニテ當村農家ニ賣却シタルガ、牝犢ナレバ出生直後二圓二箇月十圓一箇月半十五圓乃至二十圓位ナリ(年収入五〇四・二八)
自家収入——飼牛以前田畑通ジテ百圓ノ金肥ヲ全廢ス——牛肥ハ就中桑ニ著效アリテ根刈仕立一反歩一千本内外ニテ春秋四百貫ノ收穫有ルガ普通ナレド、牛肥ヲ施用セバ優ニ五割ヲ增收シ六百貫ヲ得ルハ易々タルベク、當農家ノ淺キ經驗ニヨルモ飼畜前後ノ收穫ハ雲泥ノ相違アリテ、數年ノ後地味ノ向上ハ驚クベキモノアルベシト稱ス

收支計算表

別項	購入	販賣	自給	自足
常飼基礎家畜	ホ雜牝一頭(昭和二年百三十四圓購入)			
畜舎	二種(四圓七十五錢購入)			藁葺六坪牛舎一棟(昭和二年納屋改造) 其ノ他ハ農具ヲ兼用ス
建物器具修繕費				自家修繕
飼料費	穀、米糠、芋皮、豆粕	一四五・二五		稻藁、野草、紫雲英、青刈飼料ヲ自給ス
褥草費				稻藁ヲ自給ス
消耗品費		一〇〇〇		
種付料				
放牧料				
衛生費				
諸賦課				
販賣費				
組合費、利用料		六一〇〇		
		一〇〇〇		

飼畜勞力	販賣	生産	計	入收賣販	益及自家收入
計		市乳一頭二十石 牝一頭	二二六・二五	三九四・二八 一一〇・〇〇 五〇四・二八	二百七十八圓三錢
計					

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

乳牛例三 三重縣——市乳ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 三重縣名賀郡美濃波多村大字新田(美旗驛ヨリ數町) 平野福石

家族 男一女一小二計四人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ男一ナリ——妻ハ主トシテ養蠶ニ當リ小二ハ小學兒童ナレド父母監督ノ下ニ各一頭ノ乳牛ヲ管理ス

農牧狀況 水田一町桑園五反計一町五反歩ノ自作中經營ナリ——土地平坦ナルモ曾テハ水利ナク往昔三里ノ遠キヨリ水

路ヲ設ケテ初メテ新田ガ拓カレテ地名トナリシ程ニテ地味ハ郡内最モ不良米作反收二石平均ナリ——當農家ハ六俵ヲ收ムルモ尙ホ一町歩六十俵、一俵十一圓換六百六十圓ノ賣上ニテ二毛作ハ可能ナルモ勞力肥料代ノ採算引合ザレバ實行セズ——養蠶ハ年ニ二十三枚此收入ハ凡ソ千二百圓ニ達ス——本郡ハ元肥育牛ニ名有リシガ近年原料牛ノ拂底ト共ニ價格騰貴シテ利潤ヲ漸減セルノミナラズ、肥育牛ノ獎勵ハ却ツテ畜牛ノ増殖逆行スルコトアリ、兼テ伊賀國ハ魚介ノ產地ニ遠ク土地モ概シテ豐饒ナラズ農家ハ古來粥ヲ常食トシ多年粗食ノ結果體格頗不良ノ稱アリ、然ルニ乳牛ヲ獎勵セバ容易ニ畜牛ヲ増加シ農業ハ改善セラレ廉價ナル牛乳ノ供給ニヨリテ農民ノ健康ヲ増進スル大利アレバ、昭和二年名賀畜牛購買販賣利用組合ガ設立セラレシヨリ郡内一般ニ乳牛ノ増殖ヲ見ルニ至リシモノニテ、當村ハ恰モ其中心地ニ當リ、當農家ハ同年一月ヨリ乳牛ヲ創飼ス——組合ハ美濃波多村ニ處理所ヲ有シ郡内各地ニハ十有七箇所ノ共同搾乳所ヲ設ケ、貨物自動車ニヨリテ處理所ニ集乳ス——現在乳牛二百二十頭ノ内約一割ハ純粹種ニシテ日々六石ノ生乳ヲ産シ、約三石ハ組合自ラ一合五錢ニテ小賣直配達シ、本郡農家六千五百戸中牛乳飲用農家ハ既ニ三千五百戸ニ上リ、殘三石ハクリムトシテ大阪市内共同販賣所ニ送付ス、一斗罐ノ運賃七十五錢ニシテ五時間ヲ要スルモ近ク參宮急行電車開通セバ更ニ便宜ヲ加フベシ——組合ハ更ニ附帶事業トシテ育成所ヲ設ケ、組合員生産ノ牡犢ヲ渣乳育成シ三四十圓ニテ農家ニ賣却肥育セシムル計畫ナリ、當地方ハ肥育牛ノ產地ナレドモ自家用ニハ脂肪少キ下肉ヲ奈良縣ヨリ購入スル習慣ナレバ斯ル牛肉モ將來需用アルベキ見込ナリ

常飼基礎家畜——ホルスタイン種一頭同雜種一頭計二頭ヲ常飼基礎家畜トス——甲號純粹種ハ現十歳中畜登錄牛ニシテ靜岡縣駿東郡浮島村産當時八歳六百圓ニ購入セルモノニシテ當地方優良牛ナリ——乙號雜種ハ現五歳靜岡縣田方郡中郷村産當時三歳三百五十圓ニ購入セルモノニシテ當地方普通牛ナリ——他ニ耕作用朝鮮牛一頭有ルモ耕耘期ノ外ハ山間農家ニ無償ニテ預托ス

畜 舍——瓦葺土壁外部燒板張七坪半牛舎一棟ハ九尺四方ノ牛房二箇有リ、混凝土床ニシテ中二階ニハ乾草ヲ貯藏シ得ベク、犢房及飼料置場ハ下屋ニ設ク、最近ノ新築ニ係リ大工建三百圓ヲ要シ當地方最上等牛舎ニシテ一般ニハ葦葺粗屋ナルガ多シ——別ニ一坪ノ堆肥舎アリ、トタン葺トタン圍粘土葺キニシテ中古トタンノ購入ニ五十圓ヲ要シ——近ク煉瓦作半地下式小型サイロヲ自家造築セルモ使用ノ成績ハ未詳ナリ

器 具——飼桶二箇ハ醬油空樽ヲ改造シ(一・四〇)大根突一箇(〇・五〇)計一圓九十錢ヲ購入セルノミ——水桶ハ酒樽ヲ利用シ、押切熊手箒ハ農事ト兼用シ、搾乳用具ハ一切共同搾乳所備品ヲ使用シ直接ノ出費ナシ

建物業具修繕費——トタン屋根ハ十年ニ葺換ヲ要スルモ瓦ナレバ幾十年モ維持シテ修繕ノ要ナク、當農家ハ創業日淺ケレバ殊ニ修繕費ヲ支出セルコトナシ

飼料費——正確ナル帳簿ニヨレバ乳牛二頭牝犢一頭付購入飼料費ハ昭和二年三百六十九圓、同三年ニハ犢三頭付五百二十三圓ニシテ——飼料費ノ八割ハ麩(百斤入一袋四圓乃至四圓三十錢)ガ占メ其他粉狀豆粕(十貫匁入一俵三圓二三十錢時ニ四圓)北海道産バルブ等ヲ使用シ、鹽ハ普通食鹽ヲ用ヒ二頭分一俵(六貫四百匁入二・一六)ヲ要ス——自給飼料ハ青刈玉蜀黍一反歩大根六畝紫雲英二反歩稻藁野草ニシテ桑園間作ニクローバヲ計畫中ナリ——水田多ケレバ藁ニ不足ナク每頭一貫五百匁ヲ飼料トシ、大根ハ一反歩千四百匁ノ收穫アリ(年支出五二三・〇〇)

褥草費——稻藁ヲ自給ス

消耗品費——飼養管理ノ爲ニ燃料ヲ要スルコトナシ、搾乳ニ必要ナル消耗品ハ共同搾乳所ニ於テ辨ズ

種付料——組合有種牝牛ハ千葉縣産白キング系、小岩井産、購入豫定川西粟津牧場産ノ三頭有リ、種付料ハ組合員十五圓ナレバ二頭分三十圓ヲ要ス(年支出三〇・〇〇)

衛生費 || 削蹄ハ一回五十錢ニシテ一頭分一圓ヲ要シ組合ハ削蹄士ヲ雇傭巡回セシム(年支出二・〇〇〇)
 諸賦課 || 畜産組合費(一頭一圓計二・〇〇〇) 頭數割(一頭五十錢計一・〇〇〇) 組合員割(〇・五〇〇) 共同搾乳所費(搾乳牛一頭五圓計一〇・〇〇〇)ノ外ニ、共済施設トシテ組合員ノ飼牛死亡スレバ見舞金ヲ贈ルノ申合アリ、昭和三年ニハ五頭ノ斃死牛アリテ當農家ハ二圓五十錢ヲ醸出セリ——當村共同搾乳所ハ約十頭ノ乳牛ヲ搾乳シ薪炭其他ノ諸費年五十圓ヲ要スルニヨリ組合員一人ノ負擔費ハ凡ソ年五圓ナリ(年支出一三・五〇〇)

販賣費 || 處理所ニ遠隔ナル農家ハ貨物自動車代トシテ生乳一合ニ付二厘ヲ要スルモ當農家ハ同村ニテ其要ナシ
 飼畜勞力 || 二兒ハ小學生ナレド父母監督ノ下ニ乳牛飼養管理ノ任ニ當リ、前五時後四時ニハ搾乳所ニ索引シテ搾乳ス
 販賣收入 || 昭和二年ハ甲號四産前中期、乙號初産前中期ノ搾乳販賣量計二十七石五斗五升ニテ、乳價ハ五百匁一升概シテ三十錢時ニ三十五錢ナレバ計八百三十一圓ヲ收入シ——昭和三年ハ甲號四産後中期、五産前中期ノ搾乳販賣量十九石餘、乙號初産後中期二産前中期ノ搾乳販賣量十七石餘計三十六石八斗二升ニシテ、乳價ハ二十五錢或ハ其以下ニシテ九百二十一圓ヲ收入セリ——産牝ハ幸運ニモ二牝ヲ得、甲號牝ハ六箇月二百八十圓、乙號牝ハ同百五十圓計四百三十圓ヲ以テ郡内農家及縣立農學校ニ賣却スルヲ得タリ(年收入一、三五一・〇〇〇)
 自家收入 || 昭和二年ハ生乳三石ヲ積及自家用ニ供シ、同三年ハ二牝及自家用ニ五石ヲ用ヒタリ——基礎牝牛二頭ノ牛肥ハ耕地一町五反ニ施用シテ不足ナク、飼牛以來米桑三百五十圓ノ購入肥料代ハ百圓ニ激減セシムルコトヲ得タリ

收支計算表 ||

別	項	購入	販賣	自給	自足
畜産基礎	常飼基礎家畜 器 畜 舍 具	牝及雜牝計二頭(昭和二年九百五十圓購入) 瓦葺七坪半牛舎一棟(最近三百圓新築) 二種(一圓九十錢購入)			其ノ他ハ農具ヲ兼用ス
年支	建物器具修繕費 飼料費 糞草費 消耗品費 種付料 放牧料 衛生費 諸賦課 販賣費 飼畜勞力	糞、豆粕、バルブ、鹽 二頭 飼料 組合費、搾乳所費	五二三・〇〇 三〇〇・〇〇 二〇〇・〇〇 一三・五〇 五六八・五〇	自家修繕 青刈玉蜀黍、大根、紫雲英、野草、稻藁ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス	自家修繕 青刈玉蜀黍、大根、紫雲英、野草、稻藁ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス
販賣收入	生乳	市乳二頭三十七石 牝二頭	九二一・〇〇 四三〇・〇〇 一、三五一・〇〇		
及益 家及 收自 金	現 飲 自 料 給 給 生 肥 料 乳 料 料		七百八十二圓五十錢	飲 料 共 五 石 貫	

(備考) 本農家ハ今期牝犢ノ生産ニヨリ販賣收入多シ

八〇

乳牛例四 岐阜縣——市乳ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 || 昭和四年九月

調査農家 || 岐阜縣可兒郡池田村字町屋(多治見驛ヨリ十二町) 齋藤由藏

家族 || 男二女二計四人ニシテ全部農業勞働ニ従事ス

農牧狀況 || 水田自作二反五畝小作二反歩、畑小作五畝、桑園自作二反五畝、小作一反五畝計九反歩ノ自小作小經營ニシテ外ニ山林二反歩竹林一畝歩アリ——畑ニハ甘藷大根等ヲ栽培ス、養蠶ハ七十五貫ヲ收繭シ販賣收入五百餘圓ニ達ス——當地方ハ從來殆ンド畜産トシテ見ルベキモノ無カリシガ昭和二年九月可兒郡ヲ一圓トシテ牛乳共同處理事業ヲ創始セラレシヨリ新興乳牛地トナリ、生乳ハ全部市乳トシテ岐阜市及附近請賣業者ニ販賣ス

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝牛現七歳、現三歳ノ二頭ヲ基礎家畜トス——甲號ハ昭和二年九月岐阜市搾乳業者ヨリ當時五歳七百圓ニテ購入シタルモノニシテ、乙號ハ自家生産ナリ

畜舎 || 昭和二年七月新築セル現牛舎ハ六坪ニシテ、トタン葺、混凝土床、板壁ニシテ新築費百圓ヲ要セリ——外ニ堆肥舍藁葺四坪ノモノヲ飼料置場共ノ他ニ利用ス

器具 || 飼料桶二箇(四・五〇) 麻繩二本(二・〇〇) 鼻環三箇(一・五〇) 毛ブラン一箇(一・二〇) 金櫛一箇(〇・三〇)

バケツ二箇(〇・六〇) 糞搔一挺(〇・五〇) 及共同搾取所備品トシテ共同購入器具(一・九〇) 計十二圓五十錢ヲ主ナル購入器具トシ——外ニ鉄一箇(二・〇〇) スコップ一本(一・五〇) 押切一臺(三・〇〇) ヲ農事ト兼用ス

建物器具修繕費 || 自家修繕ニシテ別段ノ經費ヲ要セズ

飼料費 || 麩八十俵(五十斤入一俵二圓十錢計一六八・〇〇) 大豆粕十五俵(十貫入一俵三圓五十錢計五二・五〇) 甘藷澱

粉粕二袋(六斗入一袋一圓八十錢計三・六〇) 豆腐粕六百貫(一貫五錢計三〇・〇〇) 大麥糠二一五石八斗(一升三錢計七七・四

〇) 藁四百貫(一貫七錢計二八・〇〇) 甘藷蔓三百貫(一圓ニ付六十貫計五・〇〇) 鹽三俵(五十斤入一俵二圓計六・〇〇) 計三

百七十圓五十錢ヲ購入シ——菊芋五十貫(一圓ニ付三十五貫) 桑園間作青刈玉蜀黍百貫甘藷百五十貫大根三百貫生草二千二

百貫、養蠶期日四十日間蠶沙二百貫甘藷蔓百貫藁四百貫ヲ自給ス(年支出三七〇・五〇)

褥草費 || 飼料トシテ自給藁四百貫ノ内過半ハ褥草トシテ利用セラル

消耗品費 || 燈用トシテ石油一升五合(〇・四五) ヲ消費ス(年支出〇・四五)

種付料 || 種牡牛ハ組合有ニシテ年二回種付料二十圓ヲ支出ス(年支出二〇・〇〇)

衛生費 || 蠅取粉石灰其ノ他ノ藥品代治療費ニ十圓ヲ要ス(年支出一〇・〇〇)

諸賦課 || 畜産組合費二圓ヲ年支出ス(年支出二・〇〇)

飼畜勞力 || 飼料給與搾乳並牛肥搬出等ヲ合シテ一日平均三時間ヲ要スベシ

販賣收入 || 犢飲料二石五分ノ目減ヲ見テ市乳販賣高二十三石三斗二升ニシテ一升二十三錢當リ五百三十六圓四十三錢

ヲ收メ——七箇月牝犢一頭百五十圓ニテ販賣セリ(年收入六八六・四三)

自家收入 || 牛肥二頭分約八千貫ハ水田ニ三割畑及桑園ニ七割ヲ施肥ス——従前百五十圓内外ヲ購入セル金肥ハ現在ニ於

テハ百圓程度ニ減少セリ

收支計算表 Ⅱ

入收賣販	年 支 出		別 項
	計	計	
生 産 計	乳 牝	牝 一 頭	自 給 自 足
販 賣 計	市乳一頭二十三石三斗二升	五三六・四三	自 家 修 繕 菊芋、青刈玉蜀黍、甘藷、大根、生草、蠶沙、 稻藁ヲ自給ス
出 支	飼 料 費 糞 肥 費 諸 賦 課 費 衛 生 費 放 牧 料 種 付 料 消 耗 品 費 梅 草 費 飼 料 費 建 物 器 具 修 繕 費	一〇〇・〇〇 二〇〇 一〇〇・〇〇 二〇〇 燈 用 石 油 二 頭 腐 敗、大豆粕、甘藷、 粕、麥、糠、糞、甘藷、 鹽 三七〇・五〇 〇・四五	自 給 自 足
入 收 賣 販	計	四〇二・九五	自 給 自 足
及 益 金 入 收	自 給 肥 料	二百八十三圓四十八錢	自 給 自 足
	金	八千貫	

乳牛例五 岐阜縣 — 市乳ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 昭和四年九月

調査農家 岐阜縣可兒郡小泉村大字大原(小泉驛ヨリ十五町)小島源一

家 族 男三女三計六人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男三女二計五人ナリ

農牧狀況 水田五反三畝畑一反二畝桑園四反歩ノ自作中經營ニシテ外ニ山林(栗林)五反、竹林一反ヲ有ス——玄米反當收量二石四斗、水田裏作トシテ大麥、紫雲英ヲ栽培ス、畑作ニハ自家用蔬菜ノ外家畜飼料トシテ瑞典蕪菁、青刈燕麥、玉蜀黍ヲ輪栽ス——當地方ハ山間農地ナルモ先年耕地整理ノ結果耕地ヲ増加シ、殊ニ養蠶業ハ農家ノ副業トシテ古來ヨリ行ハレタリシガ、金肥ノ節約ト地力ノ維持増進上有畜農業ノ必要ヲ痛感シ、昭和二年九月可兒郡一圓ヲ組合區域トシ牛乳共同處理事業ヲ開始シ、現組合員百二十一名、現搾乳牛七十頭、現搾乳量三石二斗ニ達シ、市乳トシテ岐阜市共同販賣所ニ卸賣スル外多治見、豊岡等ノ請賣業者ニ卸賣ス——乳牛飼養地トシテハ優良野草ニ乏シキモ栽培飼料トシテ玉蜀黍、瑞典蕪菁就中黍ノ成育良好ナリ、養蠶期ニハ蠶沙ヲ利用シ生草ニ代用スルコトヲ得

(備考) 本農家ハ基礎家畜ノ一頭未ダ搾乳スルニ至ラズ利益少額ナリ

及 益 金 入 收	自 給 肥 料	二百八十三圓四十八錢	牛 肥	八千貫
-----------	---------	------------	-----	-----

常飼基礎家畜 || ホルスタイン種牝牛現八歳、同種牝牛現四歳ノ二頭ヲ基礎家畜トス——甲號ハ大正十五年九月當時五歳九百五十圓ニテ岐阜市搾乳業者ヨリ求メタルモノニシテ、乙號ハ昭和三年四月當時三歳三百六十三圓ニテ千葉縣安房郡ヨリ購入ス——外ニ現牝犢二頭ハ近ク賣却ノ豫定ニシテ將來ハ基礎牛一頭ヲ増加スルノ計畫ナリ

畜舎 || 瓦葺四坪及同三坪ノ牛舎二棟ハ大正十五年納屋ノ一部ヲ、昭和三年鶏舎ヲ改造セルモノニシテ、混凝土床トシ壁板、竹等ノ材料ヲ自給シ改造費三十五圓ヲ要セリ——尙瓦葺二坪半ノ堆肥舎ヲ改造シテ産室ニ充ツ

器具 || 購入シタルモノハ飼料桶四箇(一〇・五〇) 金櫛一箇(〇・六〇) 舶來毛ブラシ一箇(三・五〇) 繫留鎖三箇(一・二〇) フォーク二本(四・〇〇) バケツ二箇(〇・八〇) 鼻環二箇(〇・五〇) ノ外、共同搾取所備品トシテ半額宛負擔共同使用スルモノニ毛ブラシ二箇(〇・四〇) スコップ一本(〇・九〇) ショベル一挺(〇・八〇) 釜一箇(一・七〇) アリテ計二十三圓ノ支出ナリ——押切一箇(三・五〇) 自轉車一臺(五〇・〇〇) リーヤカー一臺(二〇・〇〇) ハ農事及家事ニ兼用ス

建物器具修繕費 || 建物器具ノ修繕補給ニ年十圓ヲ要ス(年支出一〇・〇〇)

飼料費 || 粃百三十袋(五十斤入一袋二圓二十錢計二八六・〇〇) 大豆粕七十二枚(七貫三百匁一枚二圓十五錢計一五四・八〇) 鹽六俵(五十斤入一俵一圓九十錢計一一・四〇) 計四百五十二圓二十錢ヲ購入シ——大麥五百五十貫(三貫匁一圓計五〇・〇〇) 青刈玉蜀黍六百貫(一圓ニ付六十貫計一〇・〇〇) 青刈燕麥三百貫(一圓ニ付六十貫計五・〇〇) 瑞典燕麥及大根千八百貫(一圓ニ付三十五貫計五一・四〇) 紫雲英千五百貫(一圓ニ付百貫計一五・〇〇) 生草四千八百貫(一圓ニ付六十貫計八〇・〇〇) 藁四百四十八貫(一把十斤七錢計一九・六〇) 蠶沙ヲ自給ス(年支出四五二・二〇)

褥草費 || 稻藁ヲ主トシ年百九十二貫ヲ自給スル外粗飼料ノ殘物ヲ利用ス

消耗品費 || 燃料トシテ自給桑枝ヲ用フルモ極少量ナリ

種付料 || 組合有種牝牛ノ種付料二頭分二十圓ヲ要ス(年支出二〇・〇〇)

衛生費 || 藥品代十圓ヲ要ス(年支出一〇・〇〇)

諸賦課 || 畜産組合費二圓家畜共濟費二十圓ヲ要ス(年支出二二・〇〇)

飼畜勞力 || 飼料ノ給與、搾乳並牛肥搬出等ヲ合シテ一日平均六時間ヲ要ス

販賣收入 || 昭和三年生乳甲號三產二十四石一斗四升、乙號初產二十石七斗計四十四石八斗四升ヲ搾取シ、内一石ヲ自家ニ消費シ更ニ七分ノ目減ヲ見販賣總量四十石七斗七升一合ニシテ乳價ハ一升二十三錢ナレバ九百三十七圓七十三錢ヲ收ム——産犢ハ平均年二頭ニシテ昭和三年ニ於テハ牝犢一頭二十九圓、牝犢一頭百圓ニテ販賣ス——昭和四年八月生ノ牝犢ハ二百圓内外、四月生ノ牝犢ハ百三十圓ニ賣却セラル、見込ナリ(年收入一、〇六六・七三)

自家收入 || 生乳一石ヲ自家用ニ供ス——牛肥ハ約七千五百貫ヲ生シ水田反當五百貫桑園反當千貫ヲ施肥ス、從前購入金肥二百五十圓内外ヲ要シタリシガ牛肥利用ノ結果現在ニ於テハ五十圓内外ノ金肥ヲ購入スルニ過ギズ

收支計算表

別	項		別
	購入	販賣	
畜産基礎	常飼基礎家畜 畜舎 器具	ホ牝雜牝計二頭(大正十五昭和三年千三百十三圓購入) 十一種(二十三圓購入)	自家修繕費 瓦葺計七坪牛舎二棟(大正十五昭和三年實費三十五圓納屋、鶏舎改造) 其ノ他ヲ自給ス
飼料費	粃、大豆粕、鹽	一〇〇・〇〇 四五二・二〇	自家修繕費 大麥、青刈飼料、根菜、紫雲英、生草、藁、蠶沙ヲ自給ス

年 支 出	種 放 衛 諸 販 計	種 付 料 費	放 牧 料 費	衛 生 費	諸 賦 課 費	販 賣 費	飼 畜 勞 力	計	入 收 販 入		益 及 自 金 收
									生 産 計	現 金 計	
		二 頭		藥 品		畜 産 組 合 費 、 共 濟 費			市 乳 二 頭 四 十 石 八 斗 九 三 七 ・ 七 三	九 三 七 ・ 七 三	
		二 〇 〇 〇		一 〇 〇 〇		二 三 〇 〇		五 〇 四 ・ 二 〇	一 二 九 ・ 〇 〇	一 、 〇 六 六 ・ 七 三	
							每 日 六 時 間 自 家 勞 力				
											稻 糞 ヲ 自 給 ス
											燃 料 ト シ テ 桑 枝 ヲ 自 給 ス
											一 石
											七 千 五 百 圓
											五 百 六 十 二 圓 五 十 三 錢

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

乳牛例六 静岡縣——市乳ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 昭和四年十二月

調査農家 静岡縣志太郡高洲村築地上(藤枝驛ヨリ數町) 杉山英逸

家族 老一男二女二少幼三計八人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ男二女二計四人ナリ

農牧狀況 水田一町一反畑三反梨園一反五畝計一町五反五畝ノ自作中經營ニシテ地味ハ中等ナレバ反當六俵ノ收穫アリ

——當村ハ近來噸ニ乳牛飼養者ヲ増加シ目下ハ農家三十一戸ノ内十七戸ヲ算シ、小家畜又ハ養鶏ヲモ數フレバ殆ンド全部ガ有畜農業ヲ營ミ、組合ハ生乳二斗ヲ静岡市及ヒ藤枝町ニ販賣シ殘乳ハ煉乳會社ニ賣却ス

常飼基礎家畜 ホルスタイン種牝牛二頭ヲ常飼ス——甲號ハ現六歲大正十五年當時一歲半本縣榛原郡ヨリ七百五十圓ニ購入セルモノニシテ當地方ニ於ル優良牛ナリ——乙號ハ甲號ノ初産犢ナリ——外ニ牡犢一頭現在ス

畜 舍 甲號新牛舍ハ瓦葺角柱混凝土床七坪ニシテ二房有リ、近年建築セルモノニシテ材料共大工建二百五十圓ヲ要シタリ——乙號舊牛舍ハ瓦葺角柱混凝土床四坪二房ニシテ物置ヲ改造セルモノナレバ、床材料トシテセメント二袋代三圓十錢ノ外特ニ支出セル金額ナシ

器 具 飼桶大二個(六・〇〇)小二個(五・〇〇)手押切(五・〇〇)バケツ二個(〇・八〇)梳拭用龜ノ子タワシ(〇・一五)計十六圓九十五錢ヲ主ナル購入器具トス——搾乳用具ハ共同處理所備品ヲ使用ス

建物器具修繕費 修繕ノ爲ニ未ダ金錢ヲ支出シタルコトナシ

飼料費 || 麩七十二俵(五十斤入一俵二圓七錢計一四九・〇四) 麥糠九十六俵(五斗入一俵九十錢計八六・四〇) 豆腐粕(四二・〇〇) 豐年撒粕五俵(十貫入一俵三圓十五錢計一五・七五) ビート、バルブ四俵(一俵二圓七十五錢計一一・〇〇) 切干甘諸用小芋二百七十八貫(一貫九錢計二五・〇〇) 食鹽四呎(百斤十六貫入一呎二圓十錢計八・四〇) 肝油石油罐半罐(六・二五) ヲ購入シ大麥八俵ノ壓碎費(一俵三十錢計二・四〇) ヲ支出ス、肝油ハ少量宛飼料ニ混ジテ與フ產前特ニ有效ナリト——自給飼料ハ大麥八俵(全粒四石碎粒ニテ六石四斗) 青刈燕麥二畝青刈玉蜀黍一畝紫雲英稻藁ナリ——稻藁ハ一坪三把、一反歩九百把、一把ノ重量約百斤ナレバ一反歩九十貫ノ所産ニシテ、墨原料トシテ一貫五錢ノ市價アリ——當地一般ニ飼養管理甚ダ懇切ニシテ濃厚飼料ハ温湯ヲ以テ堅煉リトナシ、哺乳ハ全乳ヲ用ヒ一斗迄與フルモノアリ、之ガ爲ニ乳牛ハ分娩後三箇月ヲ經ザレバ市乳ヲ生産シ得ザル有様ナリ(年支出三四六・二四)

褥草費 || 製繩工場ノ藁屑毎月五十錢宛年ニ六圓ヲ購入シテ褥草トス(年支出六・〇〇)

消耗品費 || 飼料ハ湯ヲ以テ一々堅煉リトナスモ之ガ燃料ハ竈ノ殘火ヲ利用シ、牛舎電燈料ニ六圓ヲ支出ス(年支出六・〇〇)

種付料 || 組合有種牝牛ノ種付料ハ二十圓ニシテ毎年二頭種付ヲ行フ(年支出四〇・〇〇)

衛生費 || 支出シタルコトナシ

諸賦課 || 畜産組合費ハ戸數割一圓ナリ(年支出一・〇〇)

販賣費 || 無シ

飼畜努力 || 毎日五時間ヲ要シ、飼養管理ヲ懇切ニ行フガ爲ニ農事多忙トナリ、毎年約十人(一〇・〇〇)ノ農業労働者ヲ雇傭セザルベカラズ——共同搾乳所ハ組合員十二名交替ニテ管理シ當番一日四時間宛ヲ要ス(年支出一〇・〇〇)

販賣收入 || 昭和四年甲號ハ第二産後半期搾乳販賣量九石、第三産前半期搾乳販賣量十二石五斗計二十一石五斗(一升二十一錢計四五・五〇)ニシテ——乙號ハ昭和四年十月初産ナレド全乳哺乳ノ爲ニ分娩後三ヶ月間ハ市乳ノ販賣量ナシ——市乳ハ静岡市及ビ藤枝町小賣業者ヘ卸シ値段二十四錢ナレドモ、組合積立金ヲ差引農家手取ハ二十一錢ニシテ、煉乳會社ヘ卸値段ハ十七錢ナリ——産犢ハ毎年一二頭ニシテ、基畜甲號ハ優良ナレバ昭和三年二産ノ牡犢ハ五百圓ニ、昭和四年三産ノ牝犢ハ六百五十圓ニ賣却シ、乙號初産牝犢ハ昭和五年三百圓ニ賣却セラル、見込ニシテ、之等ノ平均ハ四百八十圓ニ相當セリ(年收入九三一・五〇)

自家收入 || 牛肥ノ生産ハ七千貫ヲ下ラザルベク、耕地ニ施用シテ充分ナレバ金肥ハ反當三圓ヲ超エズ——牛馬アル農家ノ田畑ハ一年位ヒ肥料ヲ缺クモ殘效著シク、牛尿ハ甘藍ニ最モ可ナレド、梨ハ地味上半肥適セズシテ反當四圓ノ金肥ヲ用フ

收支計算表

年	別		項	購 入 販 賣		自 給 自 足	
	畜産	基礎		販 賣	購 入	自 給	自 足
年	畜産	基礎	常飼基礎家畜 畜舎 器具	ホ牝一頭(大正十五年七百五十圓購入) 瓦葺七坪牛舎一棟(近年二百五十圓新築) 五種(十六圓九十五錢購入)	ホルスタイン種牝一頭(自家生産) 瓦葺四坪牛舎一棟(物置三圓十錢改造) 其ノ他ヲ自給ス	自家修繕 大麥、青刈燕麥、青刈玉蜀黍、紫雲英、稻藁ヲ自給ス	
	消耗品費		建物器具修繕費 飼料費 褥草費 電燈料	穀、麥糠、豆腐粕、大豆粕 バルブ、芋、鹽 製繩工場藁屑	三四六・二四 六・〇〇 六・〇〇		

入及益家收自金	入收賣販	出 支				
		種付料	放牧料	衛生費	諸賦課	販賣費
現金 使役金 自給肥料	生乳 計 一頭 市乳一頭二十一石五斗 (平均)四八〇〇〇 九三一・五〇	二頭 四〇〇〇		畜産組合費 一〇〇〇	飼畜勞力 一〇〇〇 四〇九・二四	每日五時間自家勞力
五百二十二圓二十六錢						七千貫

(備考) 市乳ハ当期一頭分ナルニ拘ハラズ有利ナル結果ヲ見タルハ産牝ノ販賣收入多額ナリシニヨル

乳牛例七 兵庫縣 — 市乳ヲ販賣ス(基牝四頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 兵庫縣氷上郡新村舉田(柏原驛ヨリ二十町) 下井忠太郎

家族 老二男一女一幼五計九人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 本地方ハ山間地ナルモ美田多ク良米ヲ産シ清酒原料トシテ年々尠カラザル量ヲ灘方面ニ移出ス——本農家ハ水田自作一町一反歩小作六反歩桑園四反歩計二町一反歩ノ自小作中經營ニシテ外ニ雜木林一町八反歩ヲ所有シ内八畝歩ハ竹林ナリ——水田ノ裏作ニハ麥八反五畝紫雲英一反五畝ヲ植エ他ハ休閑シ、桑園ニハ青刈燕麥、青刈玉蜀黍ヲ間作シ年原紙九枚ノ養蠶ヲ行フ

常飼基礎家畜 ホルスタイン雜種牝四頭ヲ基礎トス——甲號ハ現七歳大正十四年六百圓ニ購入シ、乙號ハ現七歳昭和二年五百五十圓ニ購入シタルモノニシテ丙號ハ昭和元年、丁號ハ昭和二年自家生産ニシテ現在評價各四百圓及二百圓ナリ、尙昭和三年ニ於テハ牝二頭牡一頭ヲ生産シ牡ハ分娩直後價格十圓ニテ賣却シ牝ハ自家飼養シツ、アリ、分娩直後ノ牝ノ評價夫々五十圓ト看做サル

畜舎 下地杉皮人造スレート葺土壁二階建混凝土床四房十一坪餘一棟ハ昭和二年三月古家ヲ購入改築シタルモノニシテ二百圓ヲ要シ使用年限約五十年トス

器具 飼料桶四箇(四〇〇) 搾乳バケツ二箇(五〇〇) 送乳罐一箇(五〇〇) バケツ二箇(〇・六〇) 押切二箇(一四・〇〇) プラシ金櫛一組(五・〇〇) フォーク一本(二・五〇) 追綱四條(二・〇〇) 計三十八圓十錢ヲ購入シ、飼料釜ヲ家事ト兼用其ノ他ヲ自給ス

建物器具修繕費 建物修繕費年約十圓ヲ支出ス(年支出二〇〇〇)

飼料費 苜蓿三十六石(一石四圓計一四四・〇〇) 大豆粕四十五枚(一枚二圓八錢計九三・六〇) 麥糠百八十二石(一石一

圓五十錢計二七三・〇〇〇) ビートバルブ六石(一石二圓計一二・〇〇〇) 餵粕十袋(九貫入一袋五圓計五〇・〇〇〇) 豆腐粕七百五十貫(一貫及三錢計二二・五〇〇) 計五百九十五圓十錢ヲ購入シ——生草三千五百五十貫青刈紫雲英一千貫、青刈玉蜀黍五百貫、青刈燕麥一千五百貫、大根八百貫、稻藁九百貫ヲ自給セリ(年支出五九五・二〇〇)

褥草費 || 稻藁一千貫、麥稈四百貫ヲ自給スル外生草其ノ他粗飼料ノ食殘多量アリ

消耗品費 || 飼料調理用燃料トシテ薪約百貫ヲ自給ス

種付料 || 一頭十圓四頭分四十圓ヲ要ス(年支出四〇・〇〇〇)

衛生費 || 消毒劑、驅蟲劑年約二十圓ヲ要ス(年支出二〇・〇〇〇)

諸賦課 || 牛乳販賣費ノ名ヲ以テ郡畜産組合ニ對シ牛乳一升ニ付二錢、村實行組合ニ對シ五厘計一升ニ付二錢五厘ヲ支出ス、本農家ハ牛乳六十八石ヲ共同販賣シタレバ七十圓ヲ支出シタリ(年支出一七〇・〇〇〇)

飼畜勞力 || 飼料給與、搾乳、手入、牛舎掃除等一日平均三時間ヲ要ス

販賣收入 || 甲號三産ノ搾乳日數三百七十七日搾乳高二十九石六斗、乙號三産ノ搾乳日數三百三十一日搾乳高二十七石八斗丙號初産ノ搾乳日數二百十六日搾乳高十四石六斗計七十二石ヲ生産シ内四石ハ積二頭ノ哺乳ニ充テ残り六十八石ヲ販賣シ一升二十錢換一千三百三十七圓九十三錢ヲ收得シ——牡犢一頭ヲ分娩直後十圓ニテ賣却セリ(年收入一、三四七・九三)

自家收入 || 厩肥一萬六千四百二十五貫尿百十石ヲ生産シ、水田及畑ニ施用シ——農繁期ニ延五十日使役ス

收支計算表 ||

入家及益 收自金	入收賣販	出 支 年										基礎產畜	別 項	
		計	飼 畜 勞 力	販 賣 費	諸 賦 課	衛 生 費	放 牧 料	種 付 料	消 耗 品 費	褥 草 費	飼 料 費			建 物 器 具 修 繕 費
自 使 現 給 肥 役 金	產 生 積 乳	計	飼 畜 勞 力	販 賣 費	諸 賦 課	衛 生 費	放 牧 料	種 付 料	消 耗 品 費	褥 草 費	飼 料 費	建 物 器 具 修 繕 費	畜 舍 具	常 飼 基 礎 家 畜
五百二十二圓八十三錢	市乳三頭六十八石 牡 一 頭	八三五・一〇	一七〇・〇〇	二〇〇・〇〇	一七〇・〇〇	畜産組合、實行組合費	四 頭	四〇〇・〇〇	五九五・一〇	建 物 修 繕 費 穀、大豆粕、麥糠、ビート バルブ、餵粕、豆腐粕	ホルスタイン雜種牝二頭(大正十四、昭和二年 人造スレト葺十一坪餘牛舎一棟(昭和二年 三月古家二百圓購入改築) 八種(三十八圓十錢購入)	ホルスタイン雜種牝二頭(昭和元、二年自家 生産) 其ノ他ヲ自給ス	自 給 自 足	
尿牛農 耕 肥 延	一、三四七・九三 一、〇〇〇 一、三五七・九三	每日三時間自家勞力	器具自家修繕 生草、紫雲英、青刈飼料、大根稻藁ヲ自給ス 稻藁、麥稈ヲ自給ス 燃料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス	肥料トシテ薪ヲ自給ス
一萬六千四百二十五貫	百十五石													

(備考) 本農家今期ハ牝犢ノ賣却ナク收入ヲ減ジタリ

乳牛例八 富山縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝一頭)

調査期日 || 昭和三年三月

調査農家 || 富山縣婦負郡大澤野村(笹津驛ヨリ數町) 押井鶴次郎

家族 || 老一男三女二幼四計十人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ男三女二計五人ナリ

農牧狀況 || 水田三町步畑二反五畝計三町二反五畝ノ自作中經營ニシテ外ニ山林二反步ヲ有ス(當村ハ既ニ國境ノ高山地帯ニ近ク土地寒冷ニシテ農業條件不良ナレバ米作反收モ僅ニ二石程度ナリ——農耕ハ本縣ノ習慣トシテ借用馬ヲ以テ行フ

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝牛一頭ヲ常飼ス、目下之ガ牝犢ヲ育成中ニシテ將來二頭ヲ基礎乳牛トスルノ計畫ナリ——當農家ノ創業ハ極メテ最近ニシテ大正十五年十一月ホルスタイン雜種二歲牝牛ヲ二百圓ニ購入シタルヲ初トス、該牛ハ圖ラズモ稀有ノ良畜ナリシカバ三年ノ後一躍七百五十圓ニ賣却スルノ機會ヲ得五百五十圓ヲ利得シタリ、第二回ニハ縣共進會二等賞ヲ得タル牝牛ヲ八百五十圓ニ購入シタルモ大失敗ニ終リ不妊ノ爲メ二年半ニシテ四百五十圓ニ廢用シテ四百圓ノ損失ヲ蒙リタリ——現基礎乳牛ハ右第一回牝牛ノ所産ナルガ之亦優良ニシテ初産ヨリ一斗三升ノ泌乳アリ、二産三産夫々二斗近キ搾乳ヲ見タリ

畜舍 || 木造板葺八坪半ノ牛舍ハ昭和二年材料ヲ自給シ手間賃百圓ヲ出資シ新築セルモノニシテ現在新築評價ハ二百

五十圓前後ナリ

器具 || 湯釜一個(一五・〇〇) バケツ三個(二・四〇) モブラシ一個(一・五〇) 金櫛一個(〇・五〇) フォーク一本(三・〇〇) 根截器一個(一・〇〇) 計二十三圓四十錢ヲ主ナル購入器具トシ——押切一個(二・〇〇) ハ農事ト兼用シ飼桶二個ハ自給ス

飼料費 || 粃六十袋(五十斤入一袋三圓計一八〇・〇〇) 大豆粕十俵(十貫目入一俵三圓七十錢計三七・〇〇) 大根粕(バルブ)二十俵(五十斤入一俵二圓二十錢計四四・〇〇) ヲ購入シ——蕪菁六百貫芋蔓八百貫、稻葉ハ一日一貫六百匁ヲ目安トシテ四百貫ヲ自給ス(年支出二六一・〇〇)

褥草費 || 稻藁一日三貫匁ヲ目安トシテ八百貫ヲ自給ス

消耗品費 || 溫湯燃料トシテ粃殼ヲ利用ス

種付料 || 附近ニ縣種畜場アリテ種牝牛交配ニハ多大ノ便宜ヲ有ス種付料ハ四圓ナリ(年支出四・〇〇)

諸賦課 || 實行組合費五十錢ヲ要ス(年支出〇・五〇)

販賣費 || 生乳ハ鐵道ニヨリテ富山市ニ送ル、一斗罐一個ノ往復ニ七錢ヲ要ス(年支出一七・五〇)

飼畜勞力 || 飼養管理ニ費ス時間ハ平均一日二時間ナルモ朝夕ノ農閑時ヲ利用セバ足ル

販賣收入 || 生乳ハ昭和二年分二十五石ヲ販賣シ一升二十五錢ニテ六百三十七圓五十錢ヲ收メシガ當年ノ乳價ハ二十錢ナルベシト云フ——現基礎乳牛初産ノ牝犢ハ二十圓ニ賣却シ二産ノ牝犢ハ候補牛トシテ育成中ナルガ三百圓ノ呼値アリ、三産ノ牝犢ハ十圓内外ノ見込ナリ(年収入六五七・五〇)

自家收入 || 牛肥ハ約三千貫ヲ生ズルモ當村ハ土地寒冷ニシテ地味肥沃ナラズ肥料ヲ要スルコト夥シク目下田畑ヲ通ジテ

反當十圓内外ノ金肥ヲ要ス、當農家ノ經驗ニヨレバ牛一頭ニヨリ金肥ハ凡ソ七十圓方節約セラルベシト云フ
收支計算表

入收賣販	年 支 出		別 項
	畜産基礎	其他	
生 産 計	飼 料 費	飼 料 費	自 給
乳 産 計	種 付 料 費	種 付 料 費	自 給
牝 乳 牝 一 頭	放 牧 料 費	放 牧 料 費	自 給
	衛 生 費	衛 生 費	自 給
	諸 賦 課 費	諸 賦 課 費	自 給
	販 賣 費	販 賣 費	自 給
	飼 畜 勞 力	飼 畜 勞 力	自 給
	鐵 道 運 賃	鐵 道 運 賃	自 給
	實 行 組 合 費	實 行 組 合 費	自 給
	一 頭	一 頭	自 給
	敷、大豆粕、大根粕	敷、大豆粕、大根粕	自 給
	六三三・五〇	二六二・〇〇	自 給
	一七・五〇	四・〇〇	自 給
	〇・五〇	〇・五〇	自 給
	二八三・〇〇	二六二・〇〇	自 給
	六三三・五〇	二六二・〇〇	自 給
	二〇・〇〇	二六二・〇〇	自 給
	六五七・五〇	二六二・〇〇	自 給
		其ノ他ヲ自給ス	自 給
		ホルスタイン雜種牝一頭(自家生産)	自 給
		材料ヲ自給ス	自 給
		其ノ他ヲ自給ス	自 給
		自家 修繕	自 給
		燕菁、苜蓿、稻藁ヲ自給ス	自 給
		稻藁ヲ自給ス	自 給
		燃料トシテ穀殼ヲ自給ス	自 給
		毎日二時間自家勞力	自 給

益金及自家收入	現 金	三百七十四圓五十錢	牛 肥	三千貫
自家給肥料	金			

(備考) 本農家ハ候補育成ノ爲牝牝ノ販賣ナク收入ヲ減ジタリ

乳牛例九 岡山縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 || 昭和三年九月

調査農家 || 岡山縣邑久郡太伯村大字神崎(西大寺驛ヨリ二里) 尾崎金藏

家 族 || 老二男一女一計四人ニシテ、悉ク農業勞働ニ従事ス

農牧狀況 || 水田一町四反五畝畑一反五畝計一町六反歩ノ自作中經營ナリ——氣候地味共良好ナルヲ以テ農業ハ最モ集約ニ行ハレ水田ハ全部二毛作ニシテ反收八俵ヲ下ラズ、改良農具ヲ使用スルコトニヨリ自家勞力ノミヲ以テ優ニ繁盛ナル農事ヲ遂行スルコトヲ得——本郡ニハ岡山煉乳會社有ルヲ以テ農家ハ乳牛ヲ飼養シテ原料乳ヲ供給シ郡内千餘頭ノ乳牛有リ、煉乳會社ノ集乳量ハ最高日量三十五六石ニ達シタルコトアレドモ目下ハ財界不況ノ爲メ漸ク十數石ヲ取扱フニ過ギズ、製品ハ主トシテ大阪ニ捌カレ飼料ハ煉乳會社ニ於テ大量ヲ購入シ乳代ト交換シテ畜主ノ需用ニ供ス、集乳範圍遠キハ四里ニ及ビ畜主ハ貨物自動車ヲ共用シテ毎日送乳ス

常飼基礎家畜 || ホルスタイン種牝牛二頭ヲ基礎家畜トス——甲號ハ現七歳、本郡ニ於ケル中等牛ト見ルベク昭和二年正

月六歳三産ニシテ郡内長濱村ヨリ五百圓ニ購入ス但シ交換セル牝犢代百五十圓ヲ差引キ三百五十圓ノ支出ナリ——乙號ハ現五歳本郡ニ於ケル高級牛ト見ルベク大正十三年十二月當歳ニテ石川縣下ヨリ六百圓ニ購入ス但シ縣補助金百三圓ヲ差引キ四百九十七圓ノ支出ナリ——外ニ候補牛トシテ育成中ノ三歳牛及當歳牝犢一頭アリ

畜 舍——三十年來ノ納屋ヲ改造セルモノニシテ瓦葺十一坪半混凝土床産房四個ノ外土床産室二個ヲ有シ約一坪ノ物置ヲ附屬シ乾燥清潔ナル牛舎ニシテ改造費四十圓ヲ要シタリ、舎ノ前方ニハ木柵ヲ結ビ高燥ナル運動場二十五坪ヲ設備ス

器 具——飼料桶三個(七・五〇) 搾乳罐一個(一・八〇) 送乳罐一個(四・五〇) パケツ三個(〇・六〇) 灌湯器(一・〇〇) プラシ一個(一・五〇) 金櫛(一・五〇) 糞搔(一・五〇) 計十九圓九十錢ノ購入ヲ要シ——押切一個(九・五〇) フォーク一本(二・五〇) ハ農具ヲ兼用ス

飼料費——麩百八十袋(一袋五十斤入二圓二十五錢計四〇五・〇〇) 大豆粕六十枚(一枚七貫三百匁二圓三十錢計一三八・〇〇)ヲ購入シ——不合格小麥五俵(一俵六圓五十錢計三二・五〇) 稗麥十俵(五二・〇〇) 哇畔青草紫雲英三千五百貫、稻藁ヲ自給ス——紫雲英ハ反當二千五百貫ノ收穫アルモ農作ヨリ不利ナレバ凡ソ一反五畝限リ飼料ノ目的ニテ栽培ス(年支出五四三・〇〇)

褥草費——稻藁ヲ自給ス、藁ノ産額ハ反當百五十貫ニシテ全耕地ヨリ二千二百五十貫ノ收穫アレバ褥草ニ不足ヲ告グルコトナシ

消耗品費——燃料ニハ麥稈ヲ用フ

種付料——縣有種牝牛ハ一回十圓ニシテ岡山煉乳會社預托縣有輸入種牝牛ハ一回二十五圓ナリ毎年二頭種付ヲ要ス(年支出五〇・〇〇)

諸賦課——畜産組合費(二頭一圓計二・〇〇) 共濟會費(一ヶ月三頭一圓五十錢計一八・〇〇) 外ニ中央畜産會登録部費(七・〇〇)ヲ要ス(年支出二七・〇〇)

販賣費——當農家ト煉乳會社トノ距離ハ近々數町ニ過ギザレバ生乳ハ自轉車ニテ毎朝送乳スルヲ以テ經費ヲ要セズ

飼畜勞力——搾乳ヲ初トシテ乳牛ノ管理ハ比較的多忙ナルモ尙毎朝二時間毎夕一二時間ヲ費セバ足ル

販賣收入——所産ノ生乳ハ甲號三産三十六石乙號初産二十石ニシテ犢用自家用ヲ差引約五十石(一升十八錢計九〇〇・〇〇)ヲ販賣ス、煉乳會社ノ買入値段ハ當時一升十八錢ニシテ目下ハ十六錢ナリ——産犢ハ牝ナレバ六ヶ月ニテ百圓、一歳ニテ二百圓乃至二百五十圓ナルモ牝ナレバ十圓二十圓ニ過ギザルコトアリ——當農家ノ乳牛ハ比較的良好ナレバ本年牝犢ハ八十圓ニ賣却シ現牝犢ハ百圓ニ賣却シ得ル見込ナリ(年収入一、〇八〇・〇〇)

自家收入——自家食用牛乳ハ約一石(一升十八錢計一八・〇〇)ニシテ——牛肥ハ基礎乳牛二頭ヨリ五千貫(十貫目十錢計五〇・〇〇)ヲ得ベク施肥量ハ水田一反步當三百貫ヲ目標トス——當農家ノ地味ハ豊ナルモ米作ハ牛肥ノミヲ以テハ不可能ニシテ現在金肥ハ反當四圓五十錢ヲ投シ無畜ナレバ恐ラク十圓以上ヲ必要トスベシ

收支計算表

別	項	購 入	販 賣	自 給	自 足
畜産基礎	常飼基礎家畜	ホルスタイン種牝二頭(大正十三年昭和二年八百四十圓購入)			
畜産基礎	畜 舍			瓦葺十一坪半牛舎一棟(納屋四十圓改造)	
畜産基礎	器 具	八種(十九圓九十錢購入)		其ノ他ヲ自給ス	

芋及大根七百貫 稻藁二百二十貫ハ自給品ナリ(年支出三九四・六八)
 褥草費 || 稻藁二百八十貫 麥稈二百五十貫ヲ自給スルノ外 牧草其ノ他粗飼料ノ食殘ガ利用セラル
 消耗品費 || 燃料トシテ薪百貫ヲ自給シ、十燭電燒一個ノ料金年八圓六十四錢ノ外 綱其ノ他ノ雜品ノ爲ニ凡ソ二圓ヲ支出ス(年支出一〇・六四)

種付料 || 一回八圓ニシテ年二回分ヲ要ス(年支出一六・〇〇)
 衛生費 || 藥品代十圓ヲ要シタリ(年支出一〇・〇〇)
 諸賦課 || 畜産組合ノ通常支出ハ一圓二十錢ナリ(年支出一・二〇)
 飼畜勞力 || 飼料給與搾乳並牛肥搬出等ヲ合セテ一日平均三時間ヲ要スベシ
 販賣收入 || 生乳五十九石五斗ヲ生産シ此ノ價格千二百六圓七十錢ニシテ一升ノ乳價約二十錢ナルモ現在ハ十八錢ナリ總テ森永製菓會社ニ原料乳トシテ販賣ス——産犢八年ニ一、二頭ヲ得前年ハ牝犢一頭生後五ヶ月二百十圓ニ賣却セリ——此ノ外優良牛保留獎勵金十圓ヲ收受ス(年收入一、三一六・七〇)
 自家收入 || 犢ノ哺乳並自家用トシテ生乳二石ヲ消費ス——牛肥ハ五千貫ヲ生ズ

收支計算表 ||

基礎畜産	別項	購入	販賣	自給	自足
畜舎	常飼基礎畜舎	ホ牝一頭(大正十一年五百二十圓購入)		ホ牝一頭(自家生産)	
器具		瓦葺十二坪牛舎一棟(大正十五年四百二十圓新築)			
		六種(十六圓七十錢)		其ノ他ヲ自給ス	

入及益 家自金 收	入收賣販	出 支 年			
		計	計		
現 飲 自 給 料 肥 生 乳 料	計 産 生 犢 乳	飼 畜 諸 衛 放 種 消 糲 飼 建 勞 賣 賦 生 牧 付 耗 草 料 物 力 費 課 費 料 料 費 費 費 器 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 具 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 修 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 繕 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 費	飼 畜 諸 衛 放 種 消 糲 飼 建 勞 賣 賦 生 牧 付 耗 草 料 物 力 費 課 費 料 料 費 費 費 器 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 具 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 修 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 繕 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 費	原料乳二頭五十九石五斗 牝一頭 獎勵金十圓共 九百八十三圓十八錢	多クハ自家修繕 挽割麥、青草、根菜、稻藁ヲ自給ス 稻藁、麥稈ヲ自給ス 燃料トシテ薪ヲ自給ス 毎日三時間自家勞力
		一、二〇六・七〇 二一〇・〇〇 一、四一六・七〇	一、〇〇〇 一・二〇 一〇・六四 一六・〇〇 三九四・六八 四三三・五二		二石 五千五百貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

乳牛例十一 兵庫縣—原料乳ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 昭和三年三月

調査農家 兵庫縣津名郡生穂村宇雨請(生穂港ヨリ七町) 打越茂吉

家族 老二男一女一幼四計八人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 水田自作五反小作一反畑自作八畝計六反八畝ノ自小作小經營ナルモ當地ニアリテハ中規模ニ屬スル農業ニシテ外ニ山林一反乳牛運動場二畝ヲ有ス—淡路ハ古クヨリ乳牛飼養ノ盛ナル所ニシテ一日平均四十四石ノ産乳アリテ牛種ハ主トシテホルスタイン、亞デハエアシャー種ニシテ孰レモ相當ノ成績ヲ示ス—本島ハ青草多ク根菜ノ栽産多量ニシテ飼畜ニ適スルモ生乳ノ販路ニ限リアリテ充分ニ發展シ得ザルヲ遺憾トス—本農家所産ノ生乳ハ共同處理所ヲ經テ神戸ニ船送シ現在組合員二十五名乳牛四十頭一日平均一石ノ内二斗五升ハ地元ニ於テ小賣ス

常飼基礎家畜 ホルスタイン種牝一頭エアシャー種牝二頭計三頭ヲ基礎家畜トス—ホルスタイン種ハ現四歳エアシャー種母牛ハ現十歳、同仔牛ハ現四歳ニシテ孰レモ自家生産ノ優良牛ナリ

畜舎 八坪ノ牛舎ハ大正二年ノ新築ニシテ當時百七十圓ヲ投シタルモノナレド現在新築セバ恐ラク四百圓ヲ要スベシ

器具 搾乳罐四個(二二〇〇) バケツ二個(三〇〇) 飼料桶八個(一八〇〇) 葉切機二臺(一六〇〇) 押切一個(六〇〇) 計五十五圓ヲ購入シタリ

建物器具修繕費 建物器具各一年ニ十圓宛ヲ要ス(年支出二〇〇〇)

飼料費 麩千二百八十貫(三五〇〇〇) 大豆粕八十枚(一枚二圓十錢計一六八〇〇) ヲ購入シ—麥二石根菜百五十貫埋草千八百貫藁六百貫刈草二千七百貫ヲ自給ス(年支出五一八〇〇)

褥草費 藁四百八十貫ヲ自給スル外刈草埋草ノ食殘二千貫ガ利用セラル

種付料 一回十八圓ニシテ年二頭ノ種付ヲ要ス(年支出三六〇〇)

衛生費 藥品其ノ他十五圓ヲ支出セリ(年支出一五〇〇)

諸賦課 畜産組合費三十五錢ヲ要ス(年支出〇・三五)

飼畜努力 搾乳飼料給與牛肥搬出ノ爲ニ一日平均三時間ヲ要ス

販賣收入 生乳五十石(一升十七錢計八五〇〇〇) — 生後四十日ノ牡犢三頭ヲ六十圓ニ賣却セルガ牝ナレバ遙ニ高價ナルベシ(年收入九一〇〇〇)

自家收入 乳牛ヲ耕作ニ使役スルコト十日—牛肥ハ凡ソ一萬貫ヲ生産シ金肥ヲ購入スルコトナシ

收支計算表

別	項	購 入 販 賣		自 給 自 足	
		購 入	販 賣	自 給	自 足
畜産基礎	常飼基礎家畜	十一坪半牛舎一棟(大正二年百七十圓新築)	—	ホ種牝一エ種牝二頭計三頭(自家生産)	—
	畜舎	五種(五十五圓購入)	—	其ノ他ヲ自給ス	—
	器具	—	—	—	—
建物器具修繕費	—	—	二〇〇〇	—	—
飼料費	—	—	五一八〇〇	—	—
	—	—	—	麥、根菜、埋草、刈草、藁ヲ自給ス	—

年	支		出		入
	種付料	放牧料	諸賦課費	販賣力	
梅草費	二頭分				
消耗品費	三六・〇〇				
畜產組合費	一五・〇〇				
飼畜勞力		五八九・三五			
原料乳二頭五十石					
計	八五〇・〇〇				
計		六〇〇・〇〇			
計		九一〇・〇〇			
計				三〇〇・〇〇	
計				九一〇・〇〇	
計				三〇〇・〇〇	
計				九一〇・〇〇	
計				三〇〇・〇〇	
計				九一〇・〇〇	

(備考) 本農家今期ハ牝犢ノ生産ナク收入ヲ減ジタリ

牛乳例十二 兵庫縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 || 昭和三年三月
調査農家 || 兵庫縣三原郡賀集村字八幡(加集驛ヨリ八町) 鳩崎由太郎
家族 || 男二女一幼三計六人ニシテ内農業労働ニ従事スルモノ男二女一計三人ナリ
農牧狀況 || 水田自作四反小作二反畑小作一反計七反ノ自小作小經營ナルモ當地ニ於テハ中規模ニ屬スル農業ナリ、外ニ山林一町二反ヲ所有シ薪ノ生産少カラズ、米十七石麥二十石ヲ産シ葱頭百五十圓ヲ收得ス
常飼基礎家畜 || ホルスタイン種牝牛現七歲現六歲現四歲ノ三頭ヲ常飼シ外ニ明二歲牛二頭現在ス、悉ク自家生産ニシテ之ガ母畜ハ大正九年千四百五十七圓ニ購入セルモノニシテ昨年死亡ス
畜舍 || 明治十八年ニ新築セルモノヲ大正十五年ニ百圓ヲ投ジテ改修シタルモノニシテ萱葺十五坪堅牢ナル牛舎ナリ
器具 || 飼料桶五個(一個一圓八十錢計九・〇〇) 搾乳バケツ二個(五・〇〇) 搾乳罐二個(七・〇〇) 洗桶一個(〇・六〇) フォーク三本(六・六〇) 桶二個(二・〇〇) 葉切機(三・〇〇) 控綱五條(二・五〇) 繫綱五條(三・三〇) 計五十九圓ヲ購入シタル器具トシ其ノ他ノ雜具ハ自給ス
建物器具修繕費 || 建物修繕ノ爲ニ一年五圓ヲ要シ器具修繕費トシテ桶ノ輪換等ニ約二圓ヲ要スベシ(年支出七・〇〇)
飼料費 || 粳二千三百四貫(十貫目二圓五十錢計五七六・〇〇) 大豆粕九百三十六貫(二九九・〇〇) ヲ購入スレドモ——

根菜青草藁ヲ多用シ且ツ本農家ハ副業トシテ豆腐製造ヲ營ムニヨリ豆腐滓ノ產出アリテ自給飼料ハ頗ル潤澤ナリ(年支出八七五・〇〇)

褥草費 || 麥稈ヲ主要ノモノトシ一年二千三百貫ヲ自給ス

消耗品費 || 飼料煮沸ノ要ナケレバ薪炭等ノ消費ナシ

種付料 || 一回二十圓ニシテ三頭分六十圓ノ外雜費ヲ加算シテ年額七十圓ヲ要ス(年支出七〇・〇〇)

衛生費 || 藥品代十圓ヲ要シタリ(年支出一〇・〇〇)

諸賦課 || 頭數割一頭五十錢ナレバ三頭分一圓五十錢ヲ要ス(年支出一・五〇)

飼畜勞力 || 搾乳給飼ニ要スル時間ハ約三時間ナルモ運動ノ爲ニ一時間、生乳運搬ノ爲ニ三十分ヲ要シ、毎月二回牛肥整理ノ爲ニ二十時間ヲ分配スレバ一日五時間内外ニ當ルベシ

販賣收入 || 生乳ハ三頭分七十五石ニシテ七割ヲ小賣業者ニ三割ヲ藤井煉乳會社ニ賣却ス——煉乳會社乳價ハ一升十五錢

内外ナルモ小賣業者卸シハ二十二三錢ナレバ平均乳價一升二十錢計一千五百圓ノ賣上トナル——前年ノ產犢ハ牝一牝二計三

頭ニシテ牝ハ生後五ヶ月ニシテ百五十圓ニ賣却シタリ(年收入一、六五〇・〇〇)

自家收入 || 牝犢二頭ハ候補牛トシテ育成中ニシテ——農繁期ニハ乳牛ヲモ耕耘ニ利用シ六月田植前ニ延十五日、十一月

耕起ニ延二十日約三十五日ヲ使用ス——本農家ノ經驗ニコレバ產後ノ最高泌乳期ニ非ラザル限リ健康及能力上何等惡影響ヲ

見ルコトナシト云フ——牛肥ハ成畜每頭三千貫、仔畜ヲ加ヘテ計一萬貫ヲ生ズベシ

收支計算表 ||

入家及益 收自金	入收賣販	出 支 年							礎基產畜	別				
		計	飼畜勞力	販賣費	諸賦課	衛生費	放牧料	種付料			消耗品費	褥草費	飼料費	建物器具修繕費
自使現 給肥役金	產生 計 犢乳	市乳及原料乳三頭七十五石 一、五〇〇・〇〇	頭數	藥劑	三頭	數、豆粕	七・〇〇	八七五・〇〇	九種(五十九圓購入)	常飼基礎家畜 器 畜 舍 具	常飼基礎家畜 器 畜 舍 具	蒼葺十五坪牛舎一棟(大正十五年古牛舎百圓改造) 九種(五十九圓購入)	ホルスタイン種牝三頭(自家生産) 其ノ他ヲ自給ス	自給 自足
六八八十六圓五十錢	一、六五〇・〇〇	九六三・五〇	一、五〇〇	一〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇	九六三・五〇
牛農 肥耕	三十五日 一萬貫	每日五時間自家勞力	根菜、青草、藁、豆腐滓ヲ自給ス	藥ヲ自給ス										

(備考) 本農家ハ候補牛育成ノ爲メ今期牝犢ノ販賣ナキモ産乳ノ七割ヲ小賣業者ニ販賣スルノ便宜アルハ一般農家ニ比シテ頗ル有利ナリ

乳牛例十三 石川縣——原料乳ヲ販賣ス(牝牦三頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 石川縣石川郡崎浦村字笠舞(金澤驛ヨリ約一里)笠間佐吉

家族 || 老二男一女一幼二計六人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田自作二反小作五反、畑自作一反三畝小作二反五畝計一町一反八畝歩ノ自小作中經營ニシテ——水田裏作ニハ茶種一反歩青刈燕麥三畝十歩ヲ耕種シテ家畜ノ飼料ニ充テ——畑ハ胡瓜、茄子、葱等ノ蔬菜栽培ニヨリテ土地ヲ間斷ナク利用シ反當六十圓ノ粗收入ヲ擧ゲ自給牛肥及都市ノ下肥ヲ利用ス——本農家ハ既ニ三十年來乳牛ヲ飼養シ當初ハ單ニ牝牛ノ販賣ノミニ止マリシガ大正元年北陸製乳株式會社ノ創設ト共ニ搾乳ヲ開始シ既ニ十四五年ノ經驗ヲ有ス

常飼基礎家畜 || ホルスタイン種牦牛現六歲現三歲及同雜種牦牛現七歲ノ三頭ヲ基礎家畜トス——甲號ハ大正十三年ノ自家生産ニシテ現在評價五百圓、乙號ハ昭和三年一月三百八十圓ヲ以テ購入シ、丙號ハ昭和二年六月四百五十圓ニ購入セルモノナリ——右ノ外候補牛二頭ノ内ホルスタイン種現三歲ハ昭和四年八月三百圓ニ購入シ、ホルスタイン種現二歲ハ昭和三年五月生後一月三百五十圓ニテ購入セルモノニシテ現在評價九百圓ナリ

畜 舍 || 藁葺、混凝土床、六室十坪ノ牛舍ハ先ヅ古納屋ヲ八十圓ニ購入シ四十圓ヲ以テ改造シ後ニ四十五圓ヲ投ジテ軒下二坪ヲ増築シ更ニ四十圓を出費シテ混凝土床トシタルモノニシテ改造増築費計二百五圓ヲ要シタルモノナリ

器 具 || 飼料桶六個(一〇・〇〇) 送乳罐四個(一三・八〇) 搾乳用バケツ一個(一・〇〇) 使用バケツ三個(一個四十五錢計一・三五) 洗濯掃除用ブラシ一個(一・三〇) 毛ブラシ一個(二・五〇) 金櫛一個(〇・七〇) 押切一個(一・五〇) 糞搔一挺(一・〇〇) 計三十三圓十五錢ヲ購入シ——外ニ自製灌腸器一個及古釜一個アリ

建物器具修繕費 || 建物ノ修繕並器具ノ補給修理ニ年約十五圓ヲ要ス

飼料費 || 藁百二十袋(五十斤入一袋)二圓七十錢計三二四・〇〇) 豆腐粕四十五石(一石二圓計九〇・〇〇) 餵粕九百六十貫(十貫目二圓計一九二・〇〇) ビートパルプ三十俵(十貫目入一俵)二圓三十錢計六九・〇〇) 澱粉粕三十六俵(十貫目入一俵)二圓五十錢計九〇・〇〇) 乾草千五百貫(十貫目七十錢計一〇五・〇〇) 生草八千貫(十貫目十八錢計一四五・八〇) 鹽三俵(一俵二圓三十錢計六・九〇) 計千二十二圓七十錢ヲ購入シ——茶種青刈一反歩九百貫青刈燕麥三畝歩百五十貫ヲ自給ス(年支出一、〇二二・七〇)

褥草費 || 稻藁五百貫(十貫目三十五錢計一七・五〇) ヲ購入シ——一千五十貫ヲ自給ス(年支出一七・五〇)

消耗品費 || 飼料調理用燃料トシテ薪三百六十貫(一貫目五錢計一八・〇〇) 電燈代五圓四十錢ヲ要ス(年支出二三・四〇)

種付料 || 純粹種牦ニ對シテ三十圓雜種牦ニ對シテ二十圓ニシテ三頭分年八十圓ヲ要ス(年支出八〇・〇〇)

衛生費 || 獸醫謝禮年一圓削蹄料三頭分三圓ヲ要ス(年支出四・〇〇)

諸賦課 || 畜産組合費三圓五十錢縣登錄費一頭分二圓ヲ要ス(年支出五・五〇)

販賣費 || 生乳ハ毎日一回宛煉乳會社ニ運搬スルモノ二三町ノ距離ニシテ別ニ販賣費ヲ要セス

飼畜勞力 || 飼養管理ノ一切ハ一男一女ニテ分業的ニ行ヒ各一日三時間延一人六時間ヲ要スベシ

販賣收入 || 原料乳八十二石(一升十八錢計一、四七六・〇〇)ヲ販賣シ——昭和三年ハ牝犢一頭生後四十日二十五圓、牝犢一頭生後八十日百八十圓、牝犢一頭百三十圓ニテ販賣ス——今年ハ牝犢一頭十八圓ニ賣却シ牝犢一頭二百圓ニ賣却ノ見込ニシテ年内生産豫定ノ牝三頭アリ(年收入三三五・〇〇)

自家收入 || 牛肥年産額約一萬七千貫——牛肥ノ外約六十圓購入金肥及六千貫ノ人糞尿ヲ使用ス

收支計算表 ||

出	支	年	畜産基礎	別															
販賣費	諸賦課	衛生費	放牧料	種付料	消耗品費	糞草費	飼料費	建物器具修繕費	畜舎	常飼基礎畜舎	基礎畜舎	別							
一、八一一・〇〇	六、四四二・九〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	八、〇〇〇	二、三・四〇	一、七・五〇	一、〇二二・七〇	一、五・〇〇	九種(三十三圓十五錢購入)	ホ牝雜牝計二頭(昭和三年八百三十圓購入) 蘆葦十坪牛舎一棟(古納屋二百五圓購入改造)	ホ牝一頭(大正十三年自家生産) 其ノ他ヲ自給ス	購	入	販	賣	自	給	自	足
一、八一一・〇〇	六、四四二・九〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	八、〇〇〇	二、三・四〇	一、七・五〇	一、〇二二・七〇	一、五・〇〇	九種(三十三圓十五錢購入)	ホ牝雜牝計二頭(昭和三年八百三十圓購入) 蘆葦十坪牛舎一棟(古納屋二百五圓購入改造)	ホ牝一頭(大正十三年自家生産) 其ノ他ヲ自給ス	購	入	販	賣	自	給	自	足

入	收	賣	販	畜	勞
自家及益金收入	現給肥料	産計	生計	畜舎	勞力
六、四四二・九〇	一、八一一・〇〇	一、四七六・〇〇	三、三三三・〇〇	一、一六八・一〇	每日六時間自家勞力
六、四四二・九〇	一、八一一・〇〇	一、四七六・〇〇	三、三三三・〇〇	一、一六八・一〇	每日六時間自家勞力

(備考) 本農家ハ基礎牝牛増頭ノ爲候補牛育成中ナレバ多額ノ購入飼料ヲ要シタリ

乳牛例十四 石川縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 || 昭和四年十月

調査農家 || 石川縣石川郡二塚村字市川(西金澤驛ヨリ約一里)河村初二

家族 || 老一男二女一幼四計八人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ老一男二女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田自作一町三反小作四反歩計一町七反歩ノ自小作中經營ナリ——水田裏作ニハ瑞典蕪菁又ハ青刈菜種二反歩ヲ栽培シテ家畜飼料ニ充テ——乳牛ノ外昨年ヨリ養鶏ヲモ創始シ現在成鶏三十六羽ヲ有ス——本村ハ犀川ヲ距テテ金澤市

ト對峙シ、米丸、押野村ト共ニ新興ノ乳牛地帯ニシテ從來農家ハ單ニ妊牛販賣ヲ行ヒシガ、大正元年北陸製乳會社ノ設立ト共ニ搾乳ヲ開始スルモノ相次デ起リ農家トシテハ稍多數ノ乳牛ヲ繫養ス——耕耘ニハ古來ノ習慣トシテ富山福井ノ縣境ヨリ借馬ヲ用ヒ小農家ニアリテハ二三戸共同シテ賃借シ、一季ノ耕作ニ百圓内外ノ賃借料ヲ支拂フヲ普通トスレバ縣當局ハ役畜トシテ鮮牛ノ飼養ヲ獎勵シツツアリ

常飼基礎家畜——ホルスタイン種牝三頭ヲ常飼基礎家畜トス——甲號ハ現六歲自家生産ニシテ現在評價八百圓、泌乳成績極メテ良好ニシテ昭和二年三十石同三年四十石昭和四年見込四十五石——乙號ハ現四歲ニシテ大正十五年六月四個月千二百圓ニテ村内搾乳業者ヨリ購入シ——丙號ハ現四歲昭和二年五月郡内戸板村某ヨリ八個月六百圓ニテ購入シタルモノナリ——右ノ外自家生産明二歲牝牛二頭、當歲牝犢二頭現在ス

畜 舍——甲號牛舍ハ瓦葺混凝土床六區產室共十八坪大正三年古納屋ヲ改造セルモノニシテ當時改造費四百圓ヲ投ジタルガ當今新築セバ優ニ九百圓ヲ要スベク——乙號牛舍ハ瓦葺混凝土床二十一坪ニシテ大正十二年ノ新築ニカカリ、當時新築費ニ一千圓ヲ投ズ——外ニ三畝十歩ノ運動場ハ甲號牛舍ニ附屬シ大正十一年木柵材料代ニ三十圓ヲ投ジタリ

器 具——搾乳罐五個(一個一圓二十錢計六・〇〇) バケツ三個(一個五十錢計一・五〇) 飼料桶七個(一個四計二八・〇〇) 計三十五圓五十錢ヲ主ナル購入器具トシ——自轉車一臺、リーヤカー一臺ハ飼料及生乳ノ運搬其ノ他一般農事ト家事トニ兼用ス

建物器具修繕費——多クハ自家修繕ニシテ特ニ經費ヲ要セス

飼料費——藪四百貫(五十斤入一袋二圓八十錢計一四〇・〇〇) 豆腐粕八百八十貫(一貫匁八錢計七〇・四〇) 餉粕四千貫(十貫匁四十錢計一六〇・〇〇) 藁二千六百貫(一貫匁一錢五厘計三九・〇〇) 乾草二千貫(十貫匁五十錢計五〇・〇〇) 計四百五十九圓四十錢計一六〇・〇〇

十九圓四十錢ヲ購入シ——瑞典蕪菁千四百貫藁三千貫生草七千八百貫ヲ自給ス(年支出四五九・四〇)

褥草費——飼料トシテ給與スル稻藁五千六百貫ノ約半量ハ褥草トシテ利用セラル

消耗品費——飼料煮沸ノ要ナケレバ燃料ノ必要ナシ

種付料——種牝牛ハ川西栗津牧場産ニシテ料金三十圓宛、基礎牛三頭分九十圓ヲ要ス(年支出九〇・〇〇)

衛生費——藥品代二十圓ヲ要ス(年支出二〇・〇〇)

諸賦課——中央畜産會登錄部員費七圓、同血統登錄料金三頭分十五圓畜産組合費四圓七十錢計二十六圓七十錢ヲ支出ス(年支出二六・七〇)

飼畜勞力——飼料ノ給與搾乳牛肥ノ搬出等ヲ合シテ一日平均六時間ヲ要シ、外ニ一日四十貫内外ノ生草刈取ノ爲ニ夏期六箇月間毎日三時間ヲ要スベシ

販賣收入——昭和三年ニ於ケル生乳ハ三頭計百石ニシテ一升乳價十八錢計千八百圓ヲ以テ北陸製乳會社ニ原料乳トシテ販賣セリ——本農家ノ基礎牛ハ優良ナレバ産犢ハ一般ニ高價ニシテ昭和四年ニ於テ生後十五箇月牝犢一頭ヲ五百圓ニ、生後二年七箇月牝牛一頭ヲ千五百圓ニテ賣却シ、昭和三年八百圓ニシテ平均一千五百五十圓ニ上レリ(年收入一、一五〇・〇〇)

自家收入——生乳七斗二升ヲ自家消費ス——牛肥ハ一年ノ產量約二萬三千貫、全部水田ニ施肥シ——購入金肥ハ僅ニ苗代用トシテ鍊メ粕代十二圓ヲ費ヤスニ過ギズ

收支計算表

別項	購入	販賣	自給	自足	畜産基礎		年支											販賣収入		及自家收益	
					畜	産	飼料費	建物器具修繕費	糞草費	種付料	放牧料	衛生費	諸賦課	販賣費	飼畜勞力	計	計	現金	飲料	自家給肥	
常飼基礎家畜	ホ牝二頭(大正十五年昭和二年一千八百圓購入) 瓦葺計三十九坪牛舎二棟(大正三年古納屋四百圓改造大正十二年千圓新築) 三種(三十五圓五十錢購入)		ホ牝一頭(大正十三年自家生産)		其ノ他ヲ自給ス	燕膏、藁、生草ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス	四九九・四〇	九〇・〇〇	三頭	藥品	畜産組合費、登録費	二六・七〇	二〇・〇〇	五九六・一〇	一、八〇〇・〇〇	一、一五〇・〇〇	二、九五〇・〇〇	二千三百五十三圓九十錢	七斗二升	二萬三千貫	
器具																					

(備考) 本農家ハ優良乳牛ヲ繁殖シ且ツ産乳高價ナリシ爲メ多額ノ益金ヲ得タリ

乳牛例十五 静岡縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝四頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 静岡縣田方郡函南村丹那(熱海驛大場驛ヨリ二里) 石川音吉

家族 || 男一女一幼三計五人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田二反畑一町餘計一町二反歩餘ノ自作中經營ナリ——丹那盆地ハ農家百五十戸ニ對シテ水田ハ七十町歩ニ過ギズ、然モ多年家畜肥料ノ潤澤ナリシ結果土地肥沃ニシテ反當優ニ九俵十俵ノ收穫アレバ水田ハ極メテ貴重セラル——畑畑乏シキ農家ハ畜産ニ主力ヲ注ギ、當農家ハ山畑一町歩ヲ悉ク飼料作物ノ栽培ニ供シ、年々根菜ト禾穀類ヲ輪作シ兼テ周圍ハ野草ニ豊富ナリ——當農家ハ當村屈指ノ乳牛飼養家ニシテ斯業ニハ多年ノ經驗ヲ有ス

常飼基礎家畜 || ホルスタイン種牝牛三四頭ヲ常飼ス——甲號ハ現四歲田方郡錦田村産ニシテ犢價四百十圓ニ購入シ、乙號丙號丁號ハ孰レモ自家生産ナリ——外ニ耕馬一頭ヲ所有ス

畜舎 || 藁葺角柱、板及ビ混凝土床十七坪半、頑丈ナル牛舎ニシテ四房ニ區劃ス——大部分ハ中古牛舎ヲ三百圓ニ購入シ手間賃五十圓ヲ投シ再築セルモノニシテ、約三分一ハ昭和三年ノ増築ニ係リ大工建百五圓ヲ費シタリ

器具 || 飼桶大二箇(一箇二圓八九十錢計五・七〇) 小二箇(一箇一圓七八十錢計三・五〇) 齒車付草切器(七・五〇) 軍

隊廢品金櫛毛ブラシ(〇・五〇) 搾乳罐大一箇(一・二〇) 濾過器一箇(〇・八〇) 送り罐一箇(一斗五升入五・〇〇) 擔糞罐一箇(一斗入三・八〇) 洗ヒバケツ一箇(〇・二五) 計二十八圓二十五錢ヲ要購入器具トス

建物業具修繕費 || 藁葺屋根モ隨時小修繕ヲ施セバ三十年以上維持シ得ベク、飼桶モ金筐ナレバ殆ンド永久的ニシテ修繕費ヲ支出スルコトナシ

飼料費 || 昭和三年越五十四俵(百斤十六貫入一俵四圓三十錢計三三・二〇) 豐年撒粕六十呎(十貫入一呎三圓六十錢計二一・〇〇〇) 赤鹽三呎(百斤十六貫入一呎二圓十五錢計六・四五) 計四百四十八圓六十五錢ヲ購入シ—— 犢哺乳ノ爲ニハ伊豆畜産會社經營丹那クリム工場ヨリ一升四錢ニテ渣乳ヲ購入ス—— 自給飼料ハ十二乃至三月用野乾草五百五十貫、五乃至九月用野生草三千貫、青刈燕麥一反歩ハ瘠地ノ爲ニ收穫少ク五百貫、藁及リープハ泌乳ニ良ク一反歩六百貫、十、十一用芋蔓三反歩千二百貫、冬期五箇月用甘藷三反歩千三百五十貫、早春用湖南燕薈ハ霜害ヲ受ケズ收量モ多ク一反歩千四百貫秋蔞長燕五畝歩四百貫、ザードウイツケンハ適作ニシテ八尺ニ生長シ五畝歩四百貫等ニシテ冬期野乾草以外ノ粗飼料ハ一日約十九貫入ヲ要ス(年支出四四八・六五)

褥草費 || 野乾草木葉ヲ自給スルモ褥草ハ不足ヲ告グ、大小麥若干ヲ栽培スルハ麥稈ヲ利用センガ爲ナリ

消耗品費 || 一年ニ綱三十錢電燈一箇代七圓二十錢ヲ要ス(年支出七・五〇)

種付料 || 森永煉乳會社直輸入種付牛ハ一回十圓二回五圓ニシテ、其他ノ民有種牝牛ハ料金十圓ヲ普通トス—— 毎年種付料三頭分ヲ要ス(年支出三〇・〇〇)

衛生費 || 削蹄ハ房州ヨリ巡回出張スル削蹄士ニ依頼シ一頭ニ付五十錢宛年二回施行シ、四頭分四圓ヲ要ス(年支出四・〇〇)

諸賦課 || 畜産組合費ハ乳量割一升ニ付二厘ナリ(年支出一・一九八)

飼畜努力 || 乳牛三四頭ヲ飼養セバ飼養管理ノ爲ニ大要一日ヲ費ス

販賣收入 || 當農家ハ山腹ニ在リテ共同搾乳所ニ遠ケレバ生乳ハ全部丹那クリム工場ニ原料乳トシテ販賣ス—— 昭和三年ハ初産乳牛二頭ナレバ極メテ不利ナル條件ノ下ニ六十四石八斗七升五合(一升十八錢計一、一六七・七五)ヲ賣却シ、一日ノ搾乳平均ハ一斗八升ニ當レリ—— 生産犢價ハ普通ニ雜種牝七八十圓牡犢八圓ニシテ、當農家ハ會テ牝犢五百圓牡犢千二百圓ニ賣却シタルコトアルモ、昭和三年牝犢二頭ハ候補牛トシテ育成中ナレバ犢收入ナシ(年收入一、一六七・七五)

自家收入 || 肥料ハ極多量ニシテ自家耕地ニ過剩ナリ—— 近隣農家ハ褥草ヲ提供シテ肥料生産ヲ依頼シ來ルニヨリ褥草ノ缺乏ガ補ハレテ兩得ナリ

收支計算表

年	畜産基礎	別項	購入	販賣	自給	自足
種	畜舍	常飼基礎畜舍	ホ牝一頭(大正十五年四百十圓購入) 藁葺十七坪半牛舎一棟(中古牛舎四百五十五圓購入増築) 九種(二十八圓二十五錢購入)	ホルスタイン種牝三頭(自家生産)	自家修繕	
種	飼料費	飼料費	穀、豆粕、鹽	四四八・六五	野草、青刈飼料、根菜等自給ス	
種	消耗品費	網電燈料	三頭	七・五〇	野草木葉ヲ自給ス	
種	付料			三〇・〇〇		

益及自 家收	販賣収入		支出	
	現 計	生 計	計	放 牧
自給肥料	六 百 六 十 四 圓 六 十 二 錢		飼 畜 勞 力	放 牧 料
		原 料 乳 二 頭 六 十 五 石	諸 賦 課 費	衛 生 費
		一、一六七・七五	畜 產 組 合 費	制 蹄 費
		一、二六七・七五		四・〇〇
			五〇三・一三	一・二・九八
			每 日 自 家 勞 力	
牛				
肥				
買				

(備考) 當農家今期積ノ賣却ナク、乳牛モ初産二頭ニシテ極メテ不利ナリシ場合ナリ

乳牛例十六 岩手縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 岩手縣下閉伊郡岩泉町天額(アマビタヒ)(沼宮内驛ヨリ二十二里)前角地初次郎

家族 || 男三女二小四計九人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男一女二小一計四人ナリ

農牧狀況 || 岩泉町ハ岩手縣ノ正東太平洋岸ニ近キ山間地ニシテ、氣溫低ク耕地少ク一般ニ農耕ニ適セザルモ、廣大ナル牧野アリ水清キヲ以テ極メテ産牛ノ業ニ適シ早クヨリ乳牛ノ蕃殖育成地トシテ名アリ、現在乳牛頭數約七百頭ヲ算シ、一日三十五石ノ産乳能力アルモ交通不便ニシテ且近ク牛乳ノ消費地ヲ有セザレバ利用ノ途殆ンド無ク、從來僅ニ村民ノ飲用ニ供セラレタルノミナレド、最近計畫中ナル明治製乳會社ノ分工場設立ヲ見バ、當地方酪農業ノ發達ニ一新紀元ヲ劃スルコト疑ナシ——本農家ハ畑一町五反歩ヲ自作スル中經營ニシテ麥五反五畝歩、稗五反五畝歩、其ノ他葉根菜類、桑、苹果等約四反歩ヲ栽培シ、麥ハ反當二石稗ハ三石ノ收穫アリテ、麥ノ後作ニハ大豆五反五畝歩ヲ植ユ——養蠶ハ年原紙九枚ヲ掃立テ繭代三百五十圓ヲ手取シ、本業ハ畜産ト共ニ當地方ニ於ケル唯一ノ副業ナリ——外ニ採草地四町歩、放牧地三町歩、雜木林八町歩ナリ

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝三頭ヲ常飼ス——各現八歳四歳三歳ニシテ悉ク自家生産ナリ

畜舍 || 萱葺九坪一棟ノ牛舍ハ明治初年ニ建築シタルモノニシテ當時建築費三十圓ヲ要シタルト云フモ、現在ナラバ實費坪約三十圓ヲ要スベク現在評價二百七十圓ナリ——舍飼期間ニハ畜牛ハ一房ニ雜居セシム——將來搾乳ヲ主トスルニ至ラバ夏期ノ放牧ヲ行ハズ、共同牛舍並搾乳所ヲ建設スル豫定ナリ

器具 || 四斗焚飼料大釜一箇(三五・〇〇) プラシ金櫛一組(二・〇〇) 水運搬用木桶二箇(實費三・〇〇) 飼料運搬桶一箇(一・五〇) 熊手一箇(〇・五〇) 押切一箇(四・〇〇) 牧草裁切機一臺(一〇・〇〇) 計五十六圓ヲ購入シ——丸太挾拔飼料桶三箇ヲ自給シ、其ノ他ヲ農事ト兼用ス

建物器具修繕費 || 自家修繕ナレバ特ニ支出ナシ

飼料費 || 飼料ハ大部分自給スルモノニシテ其ノ主要ナルモノハ乾草ナリ——乾草ハ通常十月ノ候秋、葛、萱類ヲ山野

ニテ刈取り其ノ儘立乾シ十二月頃農閑ヲ得テ自宅ニ運搬貯藏スルモノナリ、粗飼料トシテハ此ノ外稗稈、麥稈、豆稈等アリ大部分切り込ミテ與ヘ——濃厚飼料ハ大豆、根菜ハ蕪菁等ノ自給品ニシテ釜ニテ煮沸シテ與フ——年中大半ハ放牧シ舍飼約五箇月間ニシテ所要飼料ハ萩乾草約五百貫、雜乾草千五百貫ハ蕪草トシテ給與シ其ノ一部ヲ採食スルモノニシテ稗稈九百九十貫、麥稈六百貫、豆稈三百貫、大根葉五十貫、蕪菁百五十貫、大豆二石、味噌一日六百匁宛九十貫ニシテ——購入飼料ハ食鹽二俵(四・四〇)ノミナリ(年支出四・四〇)

褥草費 || 雜乾草約千五百貫ヲ自給ス

消耗品費 || 燃料トシテ舍飼五箇月間薪五百七十五貫ヲ自給ス

種付料 || 一頭ニ付七圓五十錢三頭分計二十二圓五十錢ヲ要ス——種付ハ放牧中牝四十頭ニ對シ牡一頭ノ割ニテ自由交尾セシム(年支出二・五〇)

放牧料 || 放牧料ハ一頭二町歩ニ付七圓五十錢ニシテ三頭分計二十二圓五十錢ヲ要ス——放牧ハ五月中旬ヨリ開始シ、先ヅ近在ノ自家放牧地ニ放チ、六月一日ヨリ十月中旬迄四月半ハ遠隔地ニ委託放牧ス、其ノ後尙四週間再ビ自家放牧地ニ放牧シ十一月中旬ヨリ舍飼ス(年支出二・五〇)

諸賦課 || 郡畜産組合費トシテ販賣畜ノ價額ノ二分一圓七十六錢ヲ支出シタル外、牛頭税三頭分三圓六十錢ヲ支出ス(年支出五・三六)

販賣費 || 特ニ販賣費トシテノ支出ナシ

飼畜勞力 || 草刈、乾草運搬並舍飼期間飼料給與ノ爲一日平均五時間ヲ要ス

販賣收入 || 昭和三年ハ牡牝二頭ヲ生産シ約七月間飼養ノ後各四十八圓四十圓ニテ隣郡ニ賣却シ計八十八圓ヲ收入セリ

(年收入八八・〇〇)

自家收入 || 生乳ハ哺乳ノ外一日約二升計約六斗ヲ搾乳シテ自家用ニ供ス——厩肥ハ舍飼五月間ニ約七千貫ヲ得、全部田畑ニ施用ス

收支計算表

別	項	購	入	販	賣	自	給	自	足	年											
										支									出		
畜	常飼基礎家畜		葦葦九坪牛舎一棟(明治初年三十圓新築)					ホルスタイン雜種牝三頭(自家生産)													
畜	器		七種(五十六圓購入)					其ノ他ヲ自給又ハ農事ト兼用ス													
畜	建物器具修繕費							自家修繕													
畜	飼料費		食鹽		四・四〇			乾草、稗稈、麥稈、豆稈、大豆、蕪菁葉根、菜類ヲ自給ス													
畜	褥草費							雜乾草ヲ自給ス													
畜	消耗品費							燃料シテ薪ヲ自給ス													
畜	種付料		三頭		二二・五〇																
畜	放牧料		三頭		二二・五〇																
畜	諸賦課		組合費、牛頭税		五・三六																
畜	販賣費																				
畜	飼畜勞力																				
畜	計				五四・七六			五月間一日五時間自家勞力													
乳																					

入收賣		産計	
益及自家收入	現飲料生乳金	八八・〇〇	八八・〇〇
自給肥料		八八・〇〇	
		三十三圓二十四錢	
		牛肥	六斗七千貫

(備考) 當地方ハ未ダ生乳販賣ノ便ナク所得ハ少額ナリ

乳牛例十七 岩手縣——原料乳ヲ販賣ス(基牝四頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 岩手縣下閉伊郡岩泉町大字岩泉(沼宮内驛ヨリ二十三里)三田地長吉

家族 || 老一男一女二小幼六計十人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノハ老一男一女二計四人ナリ

農牧狀況 || 當地方ハ山間峽ノ地ニシテ水田ナク、本農家ハ畑一町五反歩ノ自作中經營農家ニシテ——麥八反稗七反ヲ栽培シ、麥ノ後作ニ大豆七反二畝粟四畝ヲ植エ、大根葉菜類ヲ間作シ外ニ人蔘、牛蒡等ヲ計約一反歩位栽培ス——畑ノ畦畔ニハ老桑樹アリテ年原紙十二枚ノ養蠶ヲ行ヒ四百二十圓ノ收入ヲ擧グ——別ニ山林二十町歩、放牧地三町歩、採草地五町歩ヲ有ス

常飼基礎家畜 || ホルスタイン雜種牝四頭ヲ基礎トス——甲號ハ現七歳ナレド昨年秋百圓ニテ購入シ本年秋妊娠ノママ東京ノ商人ニ百三十五圓ニテ賣却シタレバ目下ハ不在中ナリ、乙號ハ現六歳昭和元年明三歳二百五十圓ニテ購入シタルモノ、丙號ハ現三歳ニシテ自家生産、丁號ハ乙號ノ自家生産牝ナリ——外ニ他ヨリ預託中ノ牝牛一頭在リ

畜舍 || 杉葺十二坪ノ牛舎一棟ハ大正元年ノ新築ニシテ實費百九十二圓ヲ要シタリ

器具 || 飼料桶五箇(一箇實費一圓四十錢計七・〇〇) 飼料大釜一箇(三五・〇〇) プラシ金櫛二組(計四・六〇) バケツ四箇(一箇五十錢計二・〇〇) 飼料運搬桶一箇(一・四〇) 熊手一本(〇・七〇) 押切二臺(五・〇〇) 飼料調理桶一箇(實費一〇・〇〇) 計六十五圓七十錢ヲ購入セリ

建物器具修繕費 || 自家修繕ナルヲ以テ特ニ支出ナシ

飼料費 || 五月ヨリ十一月迄約七月間放牧シ、十二月ヨリ四月迄約五月間舍飼ス——右舍飼期間ノ飼料ハ、粗飼料トシテ萩乾草四百貫、雜乾草二千五百貫ハ褥草トシテ給與シ其ノ一部ヲ採食スルモノニシテ稗稈一千三百貫、麥稈六百貫、豆稈六百貫、葉根菜類百三十貫ヲ自給シ——濃厚飼料ハ煮沸シテ與フルモノニシテ大豆三石、大麥三石、麥糠及稗糠五斗八十俵味噌一日九百匁宛百三十五貫、稗枇五斗八六俵ヲ自給シ——米糠四俵(一俵二圓五十錢計一〇・〇〇) 食鹽四俵(一俵二圓二十四錢計八・九六) 計十八圓九十六錢ヲ購入ス(年支出一八・九六)

褥草費 || 雜乾草年二千五百貫ヲ褥草兼食用トシテ自給ス

消耗品費 || 飼料煮沸用燃料トシテ薪約六百貫ヲ自給ス

種付料 || 種付ハ夏期放牧中牝四十頭ニ對シ牝一頭ノ割合ニテ自由交尾セシメ、牝一頭ニ付十圓ノ交尾料ヲ支拂フモノニシテ、本農家ハ計四頭四十圓ヲ要シタリ(年支出四〇・〇〇)

放牧料 || 毎年五月乃至十一月約七箇月間自家放牧及委託放牧ヲ行ヒ委託放牧六箇月ノ賃料一頭ニ付十圓ニシテ計四十圓ヲ支出ス(年支出四〇・〇〇)

衛生費 || 會テ其ノ支出ナシ

諸賦課 || 組合市場ニテ販賣セル犢價格二十三圓ノ二分四十六錢ヲ畜産組合費トシテ支出シタル外、牛頭稅四頭分四圓八十錢ヲ要ス(年支出五・二六)

販賣費 || 直接販賣畜ニ關スル雜費約五圓ヲ要ス(年支出五・〇〇)

飼畜勞力 || 刈草、乾草運搬並舍飼ノ爲約六月間ニ一日平均七時間ヲ要ス

販賣收入 || 基礎牛甲號ノ轉賣利益三十五圓、近ク賣却セラルベキ乙號ノ明二歲牝犢評價八十五圓、丙號ノ當歲壯犢ノ賣價二十三圓、預託牛ノ舍飼料金二十圓計百六十三圓ヲ收入ヨリ(年收入一六三・〇〇)

自家收入 || 殆ント搾乳ヲナサズ自家收入トシテハ厩肥約一萬二千貫ヲ得、全部耕地ニ施用ス

收支計算表 ||

年	基礎畜産	別項	購入	販賣	自給	自足
飼料費	米	雜牝二頭(昭和元年三年三百五十圓購入) 板算十二坪牛舍一棟(大正元年百九十二圓新築) 八種(六十五圓七十錢購入)	一八・九六		自家修繕 乾草、稗、麥、豆、葉根菜、大豆、大麥、麥糖、稗、稗糶ヲ自給ス 雜乾草ヲ自給ス	
糶草費						
建物器具修繕費						
常飼基礎畜舎						
種付料						
放牧料						
衛生費						
諸賦課						
販賣費						
飼畜勞力						
計						
雜費						
組合費、牛頭稅						
四頭						
四〇〇〇						
四〇〇〇						
五・二六						
五・〇〇						
一〇九・二二						
三三・〇〇						
一〇八・〇〇						
二〇・〇〇						
一六三・〇〇						
五十三圓七十八錢						
牛						
肥						
一萬二千貫						

燃料トシテ薪ヲ自給ス

六箇月間毎日七時間自家勞力

入收賣販	出支
現預計	種付料
自給肥料	放牧料
益及自家收入	衛生費
	諸賦課
	販賣費
	飼畜勞力
	計
	雜費
	組合費、牛頭稅
	四頭
	四〇〇〇
	四〇〇〇
	五・二六
	五・〇〇
	一〇九・二二
	三三・〇〇
	一〇八・〇〇
	二〇・〇〇
	一六三・〇〇
	五十三圓七十八錢
	牛
	肥
	一萬二千貫

(備考) 當地方ハ未ダ生乳販賣ノ便ナク所得ハ少額ナリ

(六) 緬 羊

緬羊ノ飼料ハ大體牛馬ニ同ジキモ其ノ利用範圍更ニ廣ク、而モ攝取量ハ遙ニ少ナレバ資力ト飼料ニ乏シク
大家畜飼養ノ餘地ナキ農家ニ適シ又ハ大家畜ニ代用シ或ハ大家畜ト併セテ飼養スルノ便益アリ——緬羊ハ
本邦一般ノ農家ニハ比較的新規ノ家畜ナレバ當初ハ之方飼養ヲ躊躇スル者アレドモ、飼養管理ノ實際ニ於
テ他ノ家畜ニ比シ格別難易アルニ非ラズ、既ニ北海道ヲ初メ東北九州ノ各地ニ於テ效果ヲ收ムル農家尠少
ナラズ——羊毛ノ販路ニハ何等ノ顧慮ナク陸軍省千住製絨所ハ何時ニテモ羊毛ノ買上ニ應ジ、飼養並生産
物販賣上ニハ農林省ニ於テ種々ノ特典ヲ設ク

緬羊例一 岩手縣——(蕃畜二頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 岩手縣上閉伊郡宮守村大字下宮守(宮守驛ヨリ約一里)伊藤敬三

家族 || 男三女二小幼五計十人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノハ男二女二計四人ナリ

農牧狀況 || 水田八反畑二町計二町八反町ヲ自作スル當地方ニ於ケル中經營農家ナリ——水田ハ濕田ナルヲ以テ裏作ヲナ

サズ、畑ハ大麥一町歩小麥二反歩粟、稗類八反歩ヲ主ナルモノトシ、間作又ハ裏作トシテ煙草一反歩葉根菜類一反歩其ノ他
豆菽類ヲ栽培ス、尙畦畔ニ喬木仕立ノ桑樹ヲ多數栽植シテ年原紙四枚ノ養蠶ヲ行ヒ蠶沙及葉根菜屑ハ緬羊ノ飼料トシテ利用
ス——外ニ山林四町五反九畝歩、採草地一町二反七畝歩ヲ所有ス——畜産ハ緬羊ノ外馬一頭ヲモ飼養ス

常飼基礎家畜 || メリノ種牝牡各一頭計二頭ヲ常飼シ外ニ二歳仔羊一頭現在ス——牝ハ現三歳ニシテ昭和二年十月當時當
歲二十三圓ニテ縣種畜場ヨリ購入シ、牡モ現三歳ニシテ昭和二年九月農林省ヨリ貸付セラレタルモノニシテ、現在評價牝三
十五圓牡五十圓ナリ

畜 舍 || 厩舎ノ一部ヲ改造セルモノニシテ坪數三坪、大正十四年改造實費十圓ヲ要シタリ

器 具 || 飼料桶三箇ハ自製シ給水器三箇ハ廢物ヲ利用シ、草刈鎌一箇(〇・八〇)ヲ購入、押切一臺ヲ馬ト兼用ス

建物器具修繕費 || 自家修繕ナレバ特ニ支出ナシ

飼料費 || 飼料ハ全部自給ニシテ購入スルモノハ食鹽年約二升(〇・二〇)ノミナリ——五月乃至九月約五月間ハ青草ヲ
與ヘ三頭分一日約二十貫計三千貫ヲ要シ、濃厚飼料ハ米糠一日約一升計約二石五斗ヲ與ヘ、六七月ノ候ニハ蠶沙一日約一貫
欠ヲ補給ス——十月乃至四月約七月間ハ大豆稈、粟稈、稗稈、乾草ヲ五・二・二・一ノ割ニテ混合一日平均十貫計約二千貫ヲ給
與シ、外ニ枇一俵、燕麥一俵、南瓜十貫、馬鈴薯屑五貫ヲ適宜補給ス(年支出〇・二〇)

褥草費 || 青草、乾草等ノ食殘ヲ其ノ儘褥草トシ、稻藁三百六十貫補給ス

種付料 || 牡羊ヲ飼養スルガ故ニ種付料ヲ要セズ

衛生費 || 支出ナシ

諸賦課 || 組合費トシテ羊毛賣上代ノ五分一圓七錢及仔羊販賣價額ノ一割四圓計五圓七錢ヲ支出セリ(年支出五・〇七)

販賣費 || 羊毛送料三頭分一圓八錢ヲ組合ニ徵收セラル、出荷少量ナレバ運賃高率トナル

飼畜勞力 || 飼料給與等一日平均約三十分ヲ要ス

販賣收入 || 三頭分洗毛十四封度二六ヲ生産シ四等品トシテ販賣手取二十一圓三十九錢ヲ得タル外、農林省産毛獎勵金一
封度ニ付五十錢計七圓十三錢ヲ收入ス、昨年三月生産ノ牝仔一頭ハ極メテ優良ナリシカハ本年十月四十圓ヲ以テ農林省ノ買
上ヲ受ケタリ(年收入六八・五二)

自家收入 || 羊肥一千貫ヲ生産ス

收支計算表 ||

出 支 年	畜産基礎		別 項
	畜 舍	畜 具	
常飼基礎畜	メリノ種牝一牡一計二頭(昭和二年牝貸下牝 二十三圓購入)	一種(八十錢購入)	購入
建物器具修繕費	〇・二〇	自家修繕	自給
飼料費	自家、藁、秕、燕麥、南瓜、馬鈴薯屑、蠶 沙、米糠ヲ自給ス	自家交配ス	自給
種付料	自家交配ス		自給
衛生費			自給
諸賦課			自給
販賣費	毛、仔販賣歩合金		自給
運賃	一・〇八		自給

入 收 賣 販	飼 畜 勞 力	益及自家收入	
		現 金	自 給 肥 料
羊 計	計	六十二圓十七錢	羊 肥
仔 羊	三頭分十四封度獎勵金共		
毛 羊	二八・五二		
	四〇・〇〇		
	六八・五二		
	六・三五		
	每日三十分自家勞力		
		一千貫	

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

緬羊例二 岩手縣 (基畜三頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 岩手縣上閉伊郡宮守村大字下宮守(宮守驛ヨリ一里)小田島保一

家 族 || 老一男二女二小一計六人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノハ老一男二女二計五人ナリ

農收狀況 || 水田五反六畝畑二町五反ヲ自作スル當地方ニ於ケル中經營農家ナリ | 水田ハ濕田ノ爲裏作セズ、畑ニハ大
小麥一町二反、稗一反、粟一町歩ヲ植ユ、大豆一町歩煙草二反一畝葉根菜類五畝歩ヲ間作又ハ後作シ | 外ニ山林一町歩、
原野一町一反八畝ヲ所有ス

常飼基礎家畜 || メリノ種牝一牝二計三頭ヲ常飼ス——牝一頭ハ大正十五年十月當歲十八圓ニテ縣種畜場ヨリ購入、他ノ一頭ハ昭和三年三月右母畜ノ自家生産仔ニシテ——牝ハ瀧川種羊場ヨリ當歲廢牝羊ヲ七圓ニテ購入肉羊トシテ飼養スルモノナリ

畜 舍 || 厩舎ノ一部ヲ利用シテ三坪ノ羊室トナシタルモノニシテ特ニ費用ヲ要セズ
器 具 || 自製飼桶四個(一個實費十錢計〇・四〇) 草刈鎌一個(〇・八〇) 自製草架二個(一個實費十錢計〇・二〇) 計一圓四十錢ヲ購入シ給水器四個ハ廢物ヲ利用ス

建物器具修繕費 || 自家修繕スルヲ以テ特ニ支出ナシ

飼料費 || 五月乃至九月ノ五月間ハ一日十六貫計二千四百貫ノ青草ヲ與ヘ十月乃至四月ノ七月間ハ大豆稈、粟稈、稗稈、萩葛其ノ他ノ雜乾草ノ切込ミ一日四貫五百匁計九百五十貫ヲ與ヘ——冬期三月間ハ一日約三四合計三斗ノ麩(一・八〇)大根類八貫ヲ補給シ、食鹽八年二升(〇・二〇)ヲ要スルノミ(年支出二・〇〇)

褥草費 || 飼料食殘多數ノ外稻藁年百八十貫ヲ自給ス

種付料 || 一頭分麥五升(一升十錢)ヲ支出ス

衛生費 || 曾テ支出ナシ

諸賦課 || 組合費トシテ羊毛販賣價額ノ五分九十一錢及仔羊販賣價額ノ一割三圓三十錢計四圓二十一錢ヲ支出ス(年支出四・二一)

販賣費 || 羊毛三頭分送料一圓八錢、肉畜一頭販賣ノ爲箱代運賃二圓九十二錢ヲ要シタリ(年支出三・〇〇)

飼畜勞力 || 飼養管理ノ爲ニ一日平均三十分ヲ要スベシ

販賣收入 || 洗毛三頭分十一封度六六ヲ生産シ三四等品トシテ十八圓二十錢ノ外、農林省獎勵金一封度ニ付五十錢計五圓八十三錢ヲ收入セリ——本秋三十三圓ニ賣却セル肉用牝仔ハ昨秋縣種畜場ヨリ八圓ニ購入セル當歲廢牝羊ニシテ差引二十五圓ヲ利得セルモノナリ(年収入四九・〇三)

自家收入 || 羊肥約一千二百貫ヲ生産ス

收支計算表 ||

出 支 年	畜 産 基 礎		別 項
	器 畜	器 畜	
計	飼 畜 勞 力	常飼基礎家畜	自 足
支	建 物 器 具 修 繕 費	メリノ種牝一肉用牝一計二頭(大正十五、昭和四年二十五圓購入)	自 給
支	飼 料 費	三種(一圓四十錢購入)	自 給
支	種 付 料 費		自 給
支	衛 生 費		自 給
支	諸 賦 課 費		自 給
支	販 賣 費		自 給
支	飼 畜 勞 力		自 給
計			
出	毛、仔販賣歩合金		
出	送料箱代		
計			

入收賣販	肉 羊		計
	計	毛	
三頭分十二封度獎勵金共			
二四・〇三			
二五・〇〇			
四九・〇三			
三十九圓八十二錢			
羊			
肥			
一千二百貫			

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

緬羊例三 岩手縣——(基畜三頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 岩手縣岩手郡御堂村大字子抱(沼宮内驛ヨリ約三十町)久保林之助

家族 || 老一男一女二小幼四計八人ニシテ、内農業勞働ニ從事スルモノ男一女二計三人ナリ

農牧狀況 || 畑一町歩ヲ自作シ水田二反歩ヲ小作スル當地方ニ於ケル中經營農家ナリ——當地ハ山間ノ傾斜地ニシテ水田少ク農耕上頗ル不利ニシテ水田ハ裏作ヲナス畑ハ稗四反歩、粟一反歩、大豆四反歩、麥五畝歩、其ノ他葉根菜、豆菽ヲ栽培ス——畦畔ニハ喬木仕立ノ桑樹ヲ植エ原紙四枚ノ養蠶ヲ行フ——外ニ山林二町歩ヲ有スルモ採草ノ余地少ク僻遠ノ爲放牧ニモ適セズ——飼羊ハ本年四月ヨリ創始ス

常飼基礎家畜 || メリノ種牝三頭ヲ常飼シ——甲號現二歳價格三十五圓ニテ、乙號丙號ハ現三歳各四十二圓ニテ宮城縣登米郡ヨリ共同購入シタルモノナリ——基畜購入ニ際シテハ郡農會獎勵金一頭二圓村農會獎勵金一頭六十錢ヲ受領ス

畜 舍 || 萱葺、土壁、丸太組三坪半ノ極メテ簡單ナル羊舍一棟ハ材料ノ大部分ヲ自給シ實費五圓ヲ以テ昭和四年五月新築シタルモノナリ

器 具 || 木材抉抜キ飼桶二個(實費一・〇〇) 給水器二個(實費一・〇〇) 押切一臺(五・〇〇) 計七圓ヲ購入シ——剪毛鉞一挺(三・〇〇) ハ組合ニテ共同購入シタリ

建物器具修繕費 || 自家修繕スルヲ以テ特ニ支出ナシ

飼料費 || 夏期五月ヨリ九月迄五月間ハ青草一日約五貫計七百五十貫ヲ自給シ、濃厚飼料トシテ稗一日二升計三石大豆二斗ヲ補給シ——冬期七月間ノ飼料ハ稗、粟、豆、稗ノ切込ミ一日約三貫五百匁計七百三十五貫、其ノ他米糠、稗糠、粟糠及豆腐等計二石餘(四斗入五俵)ヲ補給ス——外ニ一年ヲ通ジテ葉根菜類二十貫ヲ自給シ、鹽一俵(二斗入一俵二・二〇)ヲ購入ス(年支出二・二〇)

褥草費 || 粗飼料ノ食殘多量アレバ特ニ褥草ヲ與ヘス

種付料 || 一頭一回種付ヲ行ヒタルモ種牡羊ハ農林省貸下ニシテ種付料ヲ要セズ

衛生費 || 木タール一封度代六十錢(年支出〇・六〇)

諸賦課 || 昭和四年五月御堂村緬羊飼養組合設立ノ際基本金二圓ハ出資シ、年支出トシテハ羊毛賣上代ノ六分一圓三錢ヲ徵收セラル(年支出一・〇三)

飼畜勞力 || 飼料給與等一日平均三十分ヲ要ス

販賣收入 || 洗毛三頭分九封度半ヲ生産シ、販賣手取十七圓十四錢農林省獎勵金四圓七十五錢計二十一圓八十九錢ヲ取得
 ス外ニ自家生産牝羊一頭ノ評價二十五圓ト看做サル(年收入四六・八九)
 自家收入 || 羊肥八年約一千貫ヲ生産スルモノト推定セラル
 收支計算表 ||

別項	畜産基礎		年支		販賣收入	自給	自足
	畜舎	基礎	支	出			
常飼基礎家畜	メリノ種牝三頭(昭和四年百十九圓購入)						
器具	三種(七圓購入)						
建物器具修繕費							自家修繕
飼料費							野草、藁稈、大豆、稗、糠、葉根菜ヲ自給ス
種付料							飼料食殘ヲ利用ス
衛生費							
諸賦課							
飼畜勞力							毎日三十分自家勞力
計							
羊							
仔							
計							
牝一頭							
三頭分九封度半獎勵金共							
木タール							
羊毛販賣歩合金							
計							
三・八三							
一・〇三							
〇・六〇							
二・二〇							
二一・八九							
二五・〇〇							
四六・八九							

益及自家收入	現給肥料	四十三圓六錢	羊肥	一千貫
(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ				

緬羊例四 宮城縣 (基畜四頭)

調査期日 || 昭和三年十一月
 調査農家 || 宮城縣登米郡淺水村川面(水越驛ヨリ九町) 渡邊留吉
 家族 || 男二女一幼五計八人ニシテ、内農業勞働ニ從事スルモノ男二女一計三人ナリ
 農牧狀況 || 水田三反五畝畑自作六反五畝小作五反計一町五反歩ノ自小作中經營ニシテ外ニ採草原野五畝ヲ所有ス——作物ハ稻大麥小麥大豆白菜ヲ主トシ、副業トシテ春秋八枚ノ養蠶ヲ行ヒ蠶沙並農産廢物ヲ利用シテ緬羊ヲ飼育ス
 常飼基礎家畜 || メリノ種牝四頭ヲ常飼ス——現畜ハ現三歳乃至八歳ニシテ三歳羊ハ農林省委託緬羊、八歳羊ハ大正十年當歲四十五圓ニ購入シタルモノニシテ他ハ悉ク自家生産ナリ、各頭平均三十五圓ニ評價セラルベク現在總評價百四十圓ナリ
 畜舎 || 大正十年物置ノ一部ヲ改造シテ羊室トス四坪半ニシテ改築實費二圓ヲ要シタリ
 器具 || 飼料桶一個小皿一ツハ廢物ヲ利用シ僅カニ草刈鎌二個(二・〇〇)ヲ購入シタルノミ

建物器具修繕費 || 羊室修繕費年一圓ニシテ器具ハ修繕費ヲ要セズ(年支出一・〇〇)
飼料費 || 麥糠四俵(六斗入一俵三十錢計一・二〇) 鹽二貫(四分ノ一俵〇・六〇)ヲ購入シ——原紙八枚分生蠶沙四百貫
 大豆稈八反歩三百六十貫麥稈三反歩三百貫、糝八斗馬鈴薯屑十貫白菜屑八十貫青草千六百二十貫ヲ自給ス(年支出一・八〇)
褥草費 || 稻藁三百五十貫麥稈三百貫ヲ自給シ外ニ蠶沙麥稈青草ノ食殘アリ
種付料 || 一回ノ種付料一圓ニシテ四頭分四圓ヲ要シ種付ノ爲ニハ牡羊所有者ニ一ヶ月間委託スル爲四頭分保管料六圓
 ヲモ支出シタリ(年支出一〇・〇〇)
諸賦課 || 羊毛販賣歩合金ハ五分ニシテ一圓五十錢、仔畜販賣歩合金ハ八分ニシテ三圓七十六錢ヲ組合費トシテ支出セ
 リ(年支出四・九一)

飼畜勞力 || 飼料及褥草ノ給與肥料搬出ノ爲ニ一日平均一時間半ヲ要ス
販賣收入 || 羊毛産額ハ四頭分洗毛十一封度半ニシテ此ノ價額二十三圓、農林省獎勵金五圓八十錢共二十八圓八十錢ヲ取
 得シ——仔畜牝二頭五ヶ月四十七圓ニテ近隣ニ賣却セリ(年收入七五・八〇)
自家收入 || 羊肥ハ一千貫ヲ生産シ悉ク田畑ニ施用ス

收支計算表 ||

別	項	購入	販賣	自給	自足
畜産	常飼基礎家畜	メリノ種牝二頭(農林省委托、大正十年四十 五圓購入)			メリノ種牝二頭(自家生産)
畜産	器具	一種(二圓購入)			四坪半羊室一個(大正十年物置一部二圓改造) 其ノ他ヲ自給ス

年	支出		収入	
	計	別	計	別
建物器具修繕費	一・〇〇			
飼料費	一・八〇			
種付料	一〇・〇〇			
衛生費	四・九一			
諸賦課	一七・七一			
飼畜勞力				毎日一時間半自家勞力
合計				
羊毛			二八・八〇	
仔羊			四七・〇〇	
計			七五・八〇	
及自家				
益金				
現給				
肥料				
合計			五十八圓九錢	
自家				
收入				
合計				一千貫

(備考) 本農家ハ飼料費輕少ナルモ羊毛仔羊ノ生産ニ於テ少額ナリシ爲メニ稍薄利ナル結果ヲ見タリ

緬羊例五 福島縣——(基畜六頭)

調査期日 || 昭和三年十一月

調査農家 || 福島縣伊達郡福田村秋山(飯野驛ヨリ一里二十町) 黒澤倉藏

家族 || 老二男一女三幼三計九人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男一女三計四人ナリ

農牧狀況 || 水田三反桑園一町二反畑三反計一町八反歩ノ自作中經營ニシテ外ニ山林二反原野三反歩ヲ有ス——畑ニハ麥大豆甘藷ヲ栽培シ養蠶ハ春秋十八枚、随ツテ蠶沙豆稈芋蔓ノ廢物ヲ多産シ山林及原野ハ採草地トシテ貴重ナリ——本農家ハ

大正十一年ヨリ綿羊ヲ飼育シ當地方ニ於ケル斯業先覺者ニシテ農桑ト畜産トノ聯絡ヲ合理ナラシメ毎年多大ノ利益ヲ收ム

常飼基礎家畜 || メリノ種牝一頭牝五頭ヲ基礎家畜トス——牝ハ組合有ニシテ血統良正ナレバ現在評價五十圓、牝ハ全部自家生産ニシテ年齢三四歳現在評價百三十圓ナリ

畜舍 || 大正十四年物置ノ一部ヲ區劃シテ簡單ナル羊室ヲ設ク、七坪ニシテ材料ヲ自給シ手間賃五圓ヲ要シタリ、今後三十年ノ使用ニ堪ユ

器具 || 飼料桶二個ハ廢桶ヲ、鹽皿二個ハ廢皿ヲ利用シ、剪毛鋏ハ組合ニテ共用スレバ特ニ器具トシテ購入シタルモノナシ

建物業具修繕費 || 羊室屋根ノ葺替ノ爲ニ年額一圓五十錢ヲ要スルモ器具ハ悉ク自給品ニシテ修繕費ヲ要セズ(年支出一・五〇)

飼料費 || 麥糠六十俵(七斗入一俵五十錢計三〇〇〇) 大豆粕一枚(七貫目一枚二・二五) 鹽一俵(二・三〇)ヲ購入シ——蠶沙生九百貫大豆稈二反歩八十貫、甘藷蔓四畝歩百二十貫、乾桑五十貫、青草千八百貫、乾草百貫、麥五斗ヲ自給ス(年支出三四・五五)

褥草費 || 蠶沙豆稈青草ノ食殘ノ外麥稈二反歩三百貫、古藁三百七十五貫ヲ自給ス

種付料 || 一頭ニ付七十五錢五頭分三圓七十五錢ヲ要ス(年支出三・七五)

衛生費 || 驅蟲劑等八十錢ヲ要シタリ(年支出〇・八〇)

諸賦課 || 戸數割一圓頭數割三圓七十五錢、仔畜販賣歩合金八百五十二圓五十錢ノ一割ニシテ十五圓二十五錢、羊毛販賣歩合金八五十六圓ノ三分強一圓八十錢、計二十一圓八十錢ノ外ニ、血統能力登錄料二頭分一圓五錢ヲ組合費トシテ支出セリ(年支出二二・八五)

飼畜勞力 || 飼料ノ給與肥料ノ搬出ニ一日平均三時間半ヲ要ス

販賣收入 || 羊毛ハ洗毛二十八封度價額五十六圓獎勵金十四圓共七十圓ノ收入アリ——仔畜ハ異例ニモ八頭ヲ産シ生後五箇月ニシテ百五十二圓五十錢ニ賣却シ——種付ノ爲メ通常十五日間牝羊ヲ保管スルヲ以テ之ガ料金二十一頭分十五圓七十五錢ヲモ收得セリ(年収入二三八・二五)

自家收入 || 羊肥一千五百貫ヲ産シ田畑桑園ニ施用シテ年々百數十圓ノ金肥ヲ節約ス

收支計算表 ||

年	別		項	購		販		賣	
	畜	基礎		入	販	自	給	自	足
飼料費	畜	基礎	飼料	麥糠、豆粕、鹽	三四・五五	蠶沙、豆稈、芋蔓、乾桑、青草、乾草、麥ヲ自給ス	一・五〇	一	一
建物業具修繕費	畜	基礎	器具	メリノ種牝一頭(組合有)	一	メリノ種牝五頭(自家生産) 七坪半羊室一個(大正十四年物置五圓改造) 悉ク自給ス	一	一	一

緬羊例六 福島縣 (基畜七頭)

調査期日 昭和三年十一月

家及益 人自金 收	入 收 賣 販				出		支 費
	種付牝羊 計	仔羊 頭	羊毛 計	種付牝羊 頭	飼畜 力	諸賦課 費	
現 金	六頭分二十八封度獎勵金共	七〇〇〇	一五二・五〇			藥 劑、頭數割、毛仔 販賣歩合金、登録料	三・七五 〇・八〇 二二・八五
自給 肥料	二十一頭分	一五・七五	二三八・二五			戸數割、頭數割、毛仔 販賣歩合金、登録料	六三・四五
益及自 入金	百七十四圓八十錢						
支 出					羊		一千五百貫
					肥		

(備考) 本農家ハ仔羊ノ生産異例ニ多數ナリシ爲ニ特別有利ナル結果ヲ見タリ、本農家ハ該地方ニ於テモ一般農家ニ比シ四割方有利ナル經營ト稱セラレ

調査農家 福島縣安達郡木幡村竹中 (飯野驛ヨリ一里半) 紺野守喜

家族 老二男二女二幼六計十二人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男二女二計四人ナリ

農牧狀況 水田三反桑園一町五反畑五反計二町三反歩ノ自作中經營ナルモ山林三十七町歩草地二町歩ヲ有シ當地方ニ於テハ大農家ニ屬ス——耕種ハ稻麥ノ外大豆甘藷ヲ栽培シ大規模ノ養蠶ヲ行ヒ春秋約三十五枚ヲ飼育スルヲ以テ多量ノ蠶沙ヲ生ジ、外ニ大豆稗甘藷蔓落桑ノ農産廢物夥シキヨリ緬羊飼育ノ有利ナルヲ知り大正十四年之ヲ創始ス、本農家ハ山林草地モ廣ケレバ青草亦豊富ニシテ飼料ニ不足ヲ告グルコトナシ

常飼基礎家畜 メリノ種牝五頭牡二頭ヲ基礎家畜トス——牝ハ三四歳スベテ自家生産ニシテ優良ナレバ現在評價ハ百七十五圓、牡ハ農林省貸下ニシテ現在評價九十圓ナリ

畜舎 大正十四年ニ新築セル藁葺ノ簡粗ナル羊舎ハ十坪ニシテ材料ハ全部自給シ手間賃約六圓ヲ要シタリ使用年限ハ凡ソ二十年ナリトス

器具 飼料桶二個ハ廢桶ヲ自給シ鹽皿二個モ自給シ剪毛鋏ハ五圓ナレド組合ニテ共同購入シタレバ器具ノ爲ニ出費セルコトナシ

建物器具修繕費 羊舎ハ屋根ノ葺換ニ年一圓ヲ要スルモ器具ハ悉ク自給スルモノナレバ修繕費ヲ要セズ (年支出 一・〇〇)

飼料費 蠶沙廢桑多數ノ外農産廢物及青草亦多量ナレバ飼料ニ不足ヲ告グルコトナク購入飼料トシテハ僅ニ鹽一俵 (二・二〇) ノミナリ——其ノ他ハ一日三十貫宛夏期五ヶ月間青草三千五百貫蠶沙三十五枚分二千貫甘藷蔓五畝分百五十貫一日五貫宛秋冬七ヶ月分乾草千六十貫大豆稗三反歩分百二十貫落桑廢桑六十貫麥糠十二俵ヲ自給ス (年支出 二・二〇)

家 族 || 老一男三女一幼五計十人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男三女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田一町歩畑二町桑園一町歩計四町歩ノ自作大經營ナルモ當地方ニ於テハ中農家ニシテ外ニ草刈地トシテ原野五畝歩ヲ有ス——本農家ハ稻麥ノ外大豆五反歩白菜一反歩馬鈴薯一反歩ヲ栽培シ、春秋合セテ十枚ノ蠶蠶ヲ行ヒ蠶沙豆稈農産廢物等綿羊飼料トシテ利用シ得ベキモノヲ多産ス——綿羊ハ大正五年ヨリ飼育シ當地方ニ於ケル先驅ノ功勞者ニシテ毎

年百二三十圓ノ利ヲ博シ一方ニ略同額ノ金肥ヲ節約シツ、アルモノナリ
常飼基礎家畜 || メリノ種牡一牝七計八頭ヲ基礎家畜トス——現畜ハ現二歳乃至七歳ニシテ牝四頭ハ農林省委託、牡一頭ハ農林省貸下ナルモ他ハ全部自家生産ニシテ自給綿羊三頭ノ現在評價ハ約百五圓ナリ

畜 舍 || 大正十三年藁葺ノ簡單ナル小屋ヲ新築ス、六坪ニシテ木材ヲ購入シ其ノ他ノ材料ヲ自給シテ實費八十七圓ヲ要シタリ

器 具 || 飼料桶三個水入五個ハ各廢物ヲ應用シ、剪毛鉋ハ一個五圓剪毛機ハ一臺四十圓ナルモ組合ニテ購入シ共同使用スルヲ以テ出費ナク、僅ニフォーク一本二圓五十錢ヲ支出シタルニ過ギズ

建物器具修繕費 || 羊舎修繕ハ屋根ノ葺替ニ年額四圓ヲ要スルモ器具ハ悉ク自給品ニシテ修繕費ヲ要セズ(年支出四・〇〇)

飼料費 || 麥糠五十俵(六斗入一俵三十錢計一五・〇〇) 大豆稈九十貫(三・〇〇) 鹽一俵(二・一〇)ヲ購入シ——大麥五斗蠶種十枚分乾蠶沙百四十四貫白菜屑一反歩分五百貫大豆稈四百六十貫馬鈴薯屑一反歩分五百貫大根三百貫乾草六十貫ヲ自給ス——當地ハ北上川ノ堤塘草ヲ容易ニ利用シ得ルノ便アリ且又白菜ノ生産地ナレバ之ガ多量ノ上皮屑ヲ生シテ飼料ニ應用シ得ベク、之等ハ當地方ニ於ケル綿羊ノ普及ニ與ツテカアル事項ナリ(年支出二〇・一〇)

褥草費 || 青草蠶沙ノ食殘ノ外稻藁一千三百貫麥稈五百貫ヲ自給ス

種付料 || 牡羊アレバ種付料ヲ支出スルコトナシ

衛生費 || 健胃劑驅蟲劑ニ藥品四圓ヲ支出ス(年支出四・〇〇)

諸賦課 || 羊毛販賣歩合金ハ五分ニシテ三圓二十錢及仔羊販賣歩合金ハ八分ニシテ五圓三十錢ヲ組合費トシテ支出セリ(年支出八・五〇)

飼畜勞力 || 飼料給與肥料搬出ノ爲一日平均三時間ヲ要ス

販賣收入 || 羊毛ハ八頭分洗毛二十六封度半ヲ生産シ此ノ價格五十圓三十五錢ニシテ農林省獎勵金一封度ニ付五十錢即十三圓二十五錢ヲ加ヘテ六十三圓六十錢ヲ收得ス——仔畜ハ四頭ヲ産シ五ヶ月ニシテ六十六圓ニ賣却セリ——種付料ハ一頭七十錢ニシテ三十頭分二十一圓ノ收入アリ——農林省委託飼養ノ牝羊四頭ニ對シ補助金二十圓ガ交付セラル(年収入一七〇・六〇)

自家收入 || 羊肥三千五百貫ヲ生ジ田畑桑園ニ施用シテ年々百二三十圓ノ金肥ガ節約セラル

收支計算表 ||

別	項	購 入	販 賣	自 給	自 足
畜 産 基 礎	常飼基礎家畜	メリノ種牡一牝四計五頭(農林省貸下及委託)	藁葺六坪半羊舎一棟(大正十三年八十七圓新築)	メリノ種牝三頭(自家生産)	材料ノ一部ヲ自給ス
器 具	飼料桶 剪毛鉋	一種(二圓五十錢購入)		其ノ他ヲ自給ス	

年	支 出		販 賣 收 入		及益 家及自 收自金
	計	諸 費	計	種 仔	
建 物 器 具 修 繕 費	飼 料 費	種 草 費	種 付 料	種 仔 料	自 給 肥 料
四〇〇	二〇・一〇	藥 品 毛 仔 販 賣 步 合 金	二 六 三 六 〇	二 六 三 六 〇	百 三 十 四 圓
二〇・一〇	四〇〇	八・五〇	六 六 〇 〇	六 六 〇 〇	羊
二〇・一〇	八・五〇	三六・六〇	二 一 〇 〇	二 一 〇 〇	肥
大 麥 、 蠶 沙 、 白 菜 屑 、 豆 、 馬 鈴 薯 屑 、 大 根	乾 桑 、 乾 草 ヲ 自 給 ス	自 家 交 配	一 七 〇 ・ 六 〇	一 七 〇 ・ 六 〇	三 千 五 百 圓
藥 程 ヲ 自 給 ス	自 家 交 配	每 日 三 時 間 自 家 勞 力	三 十 頭 分	三 十 頭 分	
藥 品	毛 仔 販 賣 步 合 金		二 十 六 封 度 半 獎 勵 金 共	二 十 六 封 度 半 獎 勵 金 共	
三六・六〇	四〇〇	八・五〇	六三・六〇	六三・六〇	
三六・六〇	四〇〇	八・五〇	六三・六〇	六三・六〇	
三六・六〇	四〇〇	八・五〇	六三・六〇	六三・六〇	

(備考) 本農家ハ各般ノ販賣收入ノ比較的多大ナリシ爲極メテ有利ナル結果ヲ見タリ

(七) 豚

分類 蕃殖ヲ行ヒ仔豚(種豚、肉豚)ヲ販賣ス
仔豚ヲ購入シ肉豚ヲ販賣ス

豚價ハ比較的廉ニシテ飼養管理簡單ナル小家畜ナレバ規模ノ大小ヲ自由ニ伸縮シ得ルノ便アリテ大小農家孰レニモ適セザルコトナシ、故ニ資力乏シキ農家、園藝蔬菜ヲ主作シテ粗糲ノ副産ナキ農家等ニモ容易ニ實行セラル—採肥ヲ主トスル農家ハ仔豚ヲ離乳後直ニ賣却シ、販賣收入ニ重キヲ置クモノハ肉豚ニ育成シテ販賣ス

養豚例一 神奈川縣—蕃殖ヲ行ヒ仔豚ヲ販賣ス(基牝一頭)

調査期日 昭和四年十二月

調査農家 神奈川縣中郡比々多村白根(伊勢原驛ヨリ十八町)小永井勝治郎

家 族 老二男一女一幼四計八人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ老一男一女一計三人ナリ

農牧狀況 水田六反桑畑五反計一町一反歩ノ自作中經營ニシテ反當七俵ノ收穫アリ全部二毛作ヲ行フ—本村總戸數五

百四十九戸農家四百五十一戸ニシテ内養豚戸數ハ二百五十戸ニシテ過半數ヲ占メ總豚數ハ約三百頭ナリ——當農家ハ三十年來養豚ヲ行フ

常飼基礎家畜——ヨークシャー種牝一頭ヲ常飼シ現豚ハ自家生産ナリ——家族多ク田畑相當ノ農家ハ一家ノ廢物ニテ容易ニ養豚ヲ行ヒ肥料ヲ得頗ル有益ナルモ二頭以上ハ多額ノ購入飼料ヲ要シ不經濟トノ理由ニテ當農家ハ一戸一頭ヲ必要且適度トスルノミナラズ蕃殖モ毎年二回宛行フハ母豚ノ健康ト多産上不利ナルヲ以テ二年三回ノ程度ニ止メ三四腹ノ後ニ廢用ス

畜 舍——トタン葺丸太作り板床二坪ノ豚舍ハ物置ノ下屋ヲ利用セル極粗屋ニシテ自家建築ニ係ル、目下改築ノ設計中ニシテ新豚舍ハ床ヲ混凝土トナシ二三十圓ヲ要スル見込ナリ

器 具——飼槽ハ手持ノ石鉢ヲ用フ購入セバ七十錢ヲ要スベシ其他購入ノ器具ナシ

建物器具修繕費——自家修繕

飼料費——醬油粕ヲ主食料トスルモ自家産醬油粕ハ一頭分ニ足ラズ、麩米糠麥糠大豆粕共二三十圓ヲ購入シ——自家産醬油粕甘藷甘藷屑甘藷麥稻糞大根葉厨房殘物殘飯ヲ自給ス(年支出二五〇〇)

褥草費——稻藁一反歩分並ニ養蠶マブシ及製俵藁屑ヲ自給ス

消耗品費——無シ

種付料——種牡豚ハ組合ニ二頭アリテ種付料ハ五頭以上生産セバ仔豚一頭、四頭ノ時七分、三頭ナレバ五分、以下無料ニシテ直接金錢ノ支拂ナシ

衛生費——分娩前安産ノ爲ニ實母散三袋(〇・五〇)ヲ與フ——豫防注射豚舍消毒ハ組合ニテ施行ス——曾テ傳染病ノ爲ニ損害ヲ蒙リシコトナシ

諸賦課——比々多村養豚組合費年額十五錢ヲ要ス(年支出〇・一五)

販賣費——居渡シ又ハ組合ニテ共同販賣ス特ニ經費ヲ要セス

飼畜勞力——日々ノ飼養管理ヲ初メ豚肥切返シハ腐熟迄七回位ヒ行フモ農業ノ餘暇ニ行ヒ特ニ時間ヲ割クコトナシ

販賣收入——蕃殖ハ二年三回ノ程度ニテ年平均十四頭位生産シ、種付料一頭ヲ減ジテ十三頭ヲ賣却ス、一頭七圓計九十一圓ナリ——育成シテ肉豚ニ賣却セバ高價ナルモ勞費ヲ要スルガ故ニ離乳次第ニ賣却ス——母豚ハ四腹ニテ三歳トナリ優良種ハ五十貫以上ニ達スルモ、肉用トシテハ二等品ナレバ十二文、凡ソ六十圓ニシテ年割二十圓ニ當ル(年収入一一一〇〇)

自家收入——豚糞ハ竈灰ヲ混ジテ乾燥シ粉狀ヲ呈シタルモノ三百貫ヲ得

收支計算表

支 年	畜産基礎		別 項	購 入	販 賣	自 給	自 足
	器 具	畜 舍					
衛生費	種付料	飼料費	建物器具修繕費				
	藥 品	醬油粕、麩、米麥糠、豆粕					
	〇・五〇	二五・〇〇					
			自家修繕				
			醬油粕、甘藷、甘藷麥、糞、厨房殘物ヲ自給ス				
			稻藁ヲ自給ス				
			仔豚一頭				

益及自家 收入	販賣収入		出	
	仔豚計	廢豚計	諸賦課 販賣費 飼畜勞力	組合費
現金	九一・〇〇	一一一・〇〇	〇・一五	二五・六五
自給肥料	(年割)二〇・〇〇	八十五圓三十五錢	居渡シ 毎日農事餘暇自家勞力	
合計	一一一・〇〇	八十五圓三十五錢		
猪肥(乾糞)		三百貫		

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養豚例二 神奈川縣——蕃殖ヲ行ヒ仔豚ヲ販賣ス(基牝二頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 神奈川縣中郡岡崎村西海地(サイカチ)(伊勢原驛ヨリ一里)海老澤鑛三

家族 || 老一男二女二幼六計十一人ニシテ内農業勞働ニ従事スルモノ男二女二計四人ナリ

農牧狀況 || 水田一町桑園三反畑五反計一町八反歩ノ自作中經營ニシテ田畑一町五六反ヲ小作セシム、水田ハ濕田ニシテ

一毛作ヲ行ハズ、地味中等ニシテ水田反當六七俵、桑園反當四百五十貫ノ收穫アリ——養蠶ハ秋蠶ノミ三十貫——養豚ハ父祖ノ代ヨリ營ミ既ニ數十年ノ經歷ヲ有ス

常飼基礎家畜 || ヨークシャー種牝豚成中二頭ヲ常飼シ毎年一頭ヲシテ蕃殖セシメ二腹ニテ賣却シ新陳代謝ヲ迅速ニスルヲ方針トス——現豚ハ孰モ自家生産ナレド之ガ母豚ハ離乳時十三圓ニ購入セルモノニシテ當時ニアリテハ地方有數ナル良豚ナリキ

畜舎 || 麥藁葺兩屋根丸柱混凝土床二坪強清潔堅固ナル豚舎ニシテ二房ニ區劃ス——大正十三年殆ンド全部自家建築ニシテ屋根職手間賃四圓セメント二袋三圓ヲ投ジタルノミナリ

器具 || 器具ハ悉ク手製ナリ

建物器具修繕費 || 豚舎ハ比較的新築ニシテ當分修繕費ヲ要セス、向後モ隨時自家小修繕ニヨリ永年使用シ得ベシ

飼料費 || 年々産仔ノ多少ニヨリテ増減アルモ昭和三年ハ頗ル順調ニシテ、麩四俵(一俵四圓二十錢計一六・八〇)豆粕七袋(十貫匁入一俵四圓計二八・〇〇)精米所米糠十俵(六斗入一俵一圓六十錢計一六・〇〇)醬油粕二十貫(一貫匁八錢計一・六〇)ヲ購入ス——平素ハ高價ナル飼料ヲ節約シ妊娠後ハ比較的美飼シ、産後ニ限リ飼料ヲ煮ルコトアレド平時ハ生食セシム——芋屑米麥糞其他農産廢物及ビ厨房殘物ヲ自給ス(年支出六二・四〇)

褥草費 || 稻藁ヲ自給ス

消耗品費 || 飼料調理ニ温湯ヲ要スルコトアレド竈ノ殘火ヲ利用スレバ特ニ出費ナシ

種付料 || 附近ノ專業養豚家ニ民有種豚アリ、種付料ハ仔豚一頭ニシテ直接金錢ノ支出ナシ

衛生費 || 平時支出ナシ——豚コレラ流行シタルコトアルモ當農家ニハ被害ナシ

諸賦課 畜産組合費年額十銭ノ規定ナレド組合ニハ競馬收入屠場收入アレバ實際ニ徴收セズ
販賣費 居渡シ

飼畜勞力 一日三回ノ飼付ハ大ナル勞務ニアラズ、平素ハ女子ノ擔當ニ委ス
販賣收入 昭和三年ハ成績順調ニシテ仔豚二十頭、種付料一頭候補種豚一頭ヲ差引十八頭(一頭五圓計九〇・〇〇)ヲ賣却セリ——離乳仔豚ハ約二貫六七百匁ニシテ大正十一年四圓、十二年六圓、十三年五圓、十四年四圓、昭和二年七圓、三年五圓ニシテ大要五七圓程度ナリ——母豚ハ二腹ニシテ賣却スルヲ以テ毎年約一頭宛處分シ得、一歳半ノモノハ體重三十二三貫ニ達シ十文ヲ普通トシ(三三・五〇)時ニ十二、三文ニ達スルコトアリ(年收入一二二・五〇)

自家收入 成中二頭ニテ二千百十六貫ノ豚肥ヲ生ジ成豚ハ其七割ヲ占ムベシ——濕田ニ豚肥ヲ施用セバ葉銹病ヲ誘發スル傾向アレバ全部桑園ニノミ使用ス

收支計算表

年	基礎畜産		別
	器畜	常飼基礎家畜	
年	建物器具修繕費 飼料費 梅草費	器具 畜舎	別 項 購 入 販 賣 自 給 自 足
	穀、豆粕、米糠、醬油粕		
	六二・四〇		
	自家修繕 農産廢物厨房殘物ヲ自給ス 稻藁ヲ自給ス	ヨークシャー種牝二頭(自家生産) 藁葺二坪豚舎一棟(大正十三年自家建築) 悉ク自給ス	

及益家 收自金	入收賣販	出 支				
		計	飼畜勞力	販賣費	諸賦課	種衛生費
現金 自給肥料	仔豚 廢豚 計	仔豚 廢豚 計	飼畜勞力	販賣費	諸賦課	種衛生費
六十圓十錢	一十八頭 三二・五〇 一二二・五〇	九〇・〇〇 三二・五〇 一二二・五〇	六二・四〇			
豚			居渡シ 農事餘暇自家勞力			仔豚一頭
						二千百十六貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養豚例三 茨城縣——蕃殖ヲ行ヒ仔豚ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 昭和三年十一月
調査農家 茨城縣那珂郡前渡村(阿字浦驛ヨリ八町) 大内專三

家族 || 男二女二計四人ノ外ニ傭人男一女一有リテ悉ク農業労働ニ従事ス

農牧狀況 || 水田八反畑二町九反桑園四反計四町一反歩ノ自作大經營ニシテ外ニ松林四十町歩ヲ所有ス——地理上水利ニ乏シク水田ハ約一里ノ遠隔地ニ在ルガ故ニ已ムヲ得ズ一毛作トシ、畑作物ハ大小麥甘藷西瓜陸稻ニシテ甘藷及西瓜ノ作付多キハ本郡ノ特色ナリ、甘藷ハ冬閑期ニ悉ク切干芋ニ製シ郡内産額十數萬圓ヲ擧ゲテ本縣以北地方ニ移出ス、當農家モ畑ノ過半ハ芋畑ニシテ普通反收五百貫アリ——切干芋製造ノ爲ニ屑芋芋皮芋尻ヲ多産シ他ニ利用セザレバ四斗樽一杯三十錢ニ過ギザル廢物ナレバ之ヲ利用スル爲ニ養豚ハ必要ニシテ且ツ容易ニ行ハル、甘藷ハ土地ヲ荒シ西瓜ハ肥料ヲ喰フコト夥シク反當金肥三十圓ニモ當ルベキ作物ナレバ豚肥ハ甚ダ貴重ナリ

常飼基礎家畜 || ヨークシャー種牝三頭ヲ當飼ス、悉ク自家生産ニシテ年々約三十頭ノ仔豚ヲ生産ス、良牝ハ二三年間飼養ス

畜舎 || 藁葺ニシテ土床二坪ノ豚舎一棟及ビ同ジク下屋利用ノ豚房三坪餘アリ、全部材料自給手製ニ成レル粗屋ナリ
器具 || 飼槽ハ自給シ調理管理ノ諸具モ亦同様或ハ農具ヲ兼用ス

飼料費 || 米糠十俵(一俵一圓計一〇・〇〇) 醬油粕十二俵(一俵三圓計三六・〇〇) 大豆粕(九・四〇) ヲ購入ス——屑芋芋皮芋尻ハ格別多量ニ産シ優ニ半年分ノ飼料トナリ、夏期ニハ不良西瓜及ビ西瓜皮夥シク生ジ、其ノ他農産廢物ヲ利用シテ飼料ニ不足ヲ告グルコトナシ(年支出五五・四〇)

褥草費 || 水陸稻藁麥稈ヲ自給ス

種付料 || 近隣ニ養豚家アリテ種付料ハ一回二圓五十錢各頭年二回宛ニシテ六回分種付ス(年支出一五・〇〇)
衛生費 || 嘗テ其ノ支出ナシ

飼畜努力 || 朝夕ノ農閑時ヲ利用シテ給飼褥草ノ交換肥料ノ搬出等ヲ行フモ大約一日一時間以内ノ勞務ニ過ギズ

販賣收入 || 仔豚ノ販賣スベキモノ年々約三十頭ヲ得ルモ販賣收入ノ多キヲ求メズ悉ク生後四十日ニシテ賣却ス、仔豚ハ滿一歳ニテ通常二十五貫位ナルニ當農家ノ分ハ子安系ナレバ三十貫ニ達ストテ地方ニ好評アリ一頭七圓前後ノ價格ヲ有ス——親豚モ毎年一頭宛更新廢却シ前年ハ好景氣ニシテ十七掛ノコトアリシガ十二掛ガ普通ナレバ生體重四十貫ニテ四十八圓ナリ(年收入二五八・〇〇)

自家收入 || 豚肥ハ材料サヘアレバ何程ニテモ多産スルコトヲ得、當農家ハ縣獎勵ニ基キ納屋ヲ廢シテ堆肥舎ヲ設ケ毎年凡ソ三千貫ノ豚肥ヲ製ス——當農家ノ耕地ハ砂質土ナレバ豚肥ヲ切要シ之ニヨリテ芋ハ著シク大形ナレドモ質ニ於テ緻密ヲ缺ク嫌アレドモ豚肥ト金肥ト併用スレバ金肥ノ效果亦加ハリ初メテ大形質密ノ甘藷ヲ多産スルコトヲ得

收支計算表 ||

年	基礎畜産		別	項	購	入	販	賣	自	給	自	足
	畜	産										
	常飼基礎家畜	器具	畜舎	器具					ヨークシャー種牝三頭(自家生産)	藁葺計五坪豚舎二棟(自家建築)	悉ク自給ス	
	建物器具修繕費	飼料費	糞草費	消耗品費					自家修繕	芋、西瓜ノ廢物多量自給ス	藁葺ヲ自給ス	
												五五・四〇

支	出		種付料	六回分	一五・〇〇
	計	飼畜勞力			
種付料					
衛生費					
諸賦課					
販賣費					
飼畜勞力	七〇・四〇	毎日一間自家勞力			
仔豚	三十頭				
廢豚	一頭				
計	二五八・〇〇				
販賣	四八・〇〇				
收入	百八十七圓六十錢				
益及自家收入					三千貫
現給肥料					

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養豚例四 大分縣——蕃殖ヲ行ヒ仔豚ヲ販賣ス(基牝十頭)

調査期日 || 昭和三年十月

調査農家 || 大分縣西國東郡吳崎村(高田驛ヨリ一里) 森若宗十
家 族 || 男一女一幼五計七人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 || 水田自作五反二畝小作八畝畑自作二反小作一町桑園自作六反五畝計二町四反五畝歩ノ自小作中經營ニシテ外ニ山林三反歩ヲ所有ス

常飼基礎家畜 || ヨークシャー種及雜種牝二牝十計十二頭ヲ基礎家畜トス、大部分自家生産ナルモ牝牝各一頭ノミ純粹種ヲ生後五ヶ月計四十五圓ニ購入シタルモノナリ

畜 舍 || 大正十二年厩舎ヲ改築セル二十坪一棟ハ改築費百圓ヲ要シ、昭和三年三月新築セル四十坪一棟ハ二百圓ヲ投ジタリ、他ニ肥溜六個ノ築造費ハ三十六圓ヲ費セリ

器 具 || 飼料桶五十個(一個八十錢計四〇・〇〇) バケツ四個(一個六十錢計二・四〇) 手桶二個(三・五〇) フォーク二本(四・八〇) スコップ二挺(一・八〇) 計五十二圓五十錢ヲ主ナル購入器具トス

建物器具修繕費 || 建物修繕ノ爲メニ年額三十圓ヲ要シ器具修繕ニ十二圓ヲ要ス(年支出四二・〇〇)

飼料費 || 醬油粕七千三百貫(五四七・五〇) 米糠七十俵(四十石ニ當ル、四二〇・〇〇) ビール粕二千五百二十貫(一六八・〇〇)ヲ購入シ——床芋四百五十貫古親里芋四百五十貫ヲ自給シ料理店殘飯千二百貫ヲ無代ニテ入手シ得ルノ便宜アリ

(年支出一、一三五・五〇)

褥草費 || 藁二千七百五十貫ヲ購入ス(年支出七六・〇〇)

衛生費 || 藥品代十圓ヲ要シタリ(年支出一〇・〇〇)

販賣費 || 仔豚販賣ニ手数料五圓ヲ要ス(年支出五・〇〇)

飼畜勞力 || 鮮人一名ヲ常備シ食料持給料百八十五圓ヲ給シテ養豚一切ヲ管理セシム(年支出一八五・〇〇)

販賣收入 || 仔豚ハ純粹ナレバ二十圓雜種ナレバ五圓五十錢ヲ平均價格トス——純粹二十八頭雜種七十二頭ノ生産中九十

七頭ヲ販賣シテ總額六百七十九圓——親豚五頭ヲ廢却シテ百六十圓——種付料一回三圓ニシテ八百十圓ヲ收得セリ(年収入一、六四九・〇〇)

自家收入——豚肥一萬四千貫水肥四萬二千八百五十貫ヲ生産シ悉ク田畑ニ施用スレバ金肥購入ノ要ナシ、經驗ニヨレバ桑園ハ大豆粕ヲ用フルヨリ豚肥ノ方遙ニ有效ナリトイフ

收支計算表

別項		購入	販賣	自給	自足
常飼基礎家畜	ヨ種牡一牝一計二頭(四十五圓購入)			ヨ種牡一牝九頭計十頭(自家生産)	
畜舎	四十坪豚舎一棟(昭和三年二百圓新築)			二十坪豚舎一棟(大正十二年既百圓改築)	
器具	五種(五十二圓五十錢購入)			其ノ他ヲ自給ス	
建物器具修繕費		四二・〇〇			
飼料費	醬油粕、米糠、ビール粕	一、一三五・五〇		芋、殘飯ヲ自給ス	
褥草費		七六・〇〇			
消耗品費		一〇〇・〇〇		自家交配	
種付料					
衛生費					
諸賦課費					
販賣費					
飼畜勞力	手數料	五〇〇			
	備人給料	一八五・〇〇			
計		一、四五三・五〇			

入及益 家收自金	販賣收入		種付料	種仔	廢計	現金	自給肥料	豚肥
	種仔	豚						
		九十七頭	八一〇・〇〇					
		五頭	六七九・〇〇					
			一六〇・〇〇					
			一、六四九・〇〇					
			百九十五圓五十錢					
			五萬六千八百五十貫					

(備考) 本農家ハ多數ノ仔豚ヲ生産スルモ飼料費多額ナレバ種付料ノ收入多キニ拘ラズ利益ハ少額ナリ

養豚例五 石川縣——蕃殖ヲ行ヒ肉豚ヲ販賣ス(基牝一頭)

調查期日——昭和四年十月

調查農家——石川縣能美郡根上村(ネアガリ) 宇福島(寺井驛ヨリ八町) 秋常清作

家族——老一男二女三計六人ニシテ、内女二人ハ附近ノ機織工場ニ通勤シ農業勞働ニ従事スルモノハ老一男二女一計四人ナリ

農牧狀況——水田自作四反九畝小作二反一畝畑自作二反小作三畝步桑園六畝計九反九畝ノ自小作中經營ニシテ——玄米反當收量二石四斗裏作トシテ紫雲英五反歩ヲ栽培ス、畑夏作ハ甘藷一反歩、西瓜、冬作ハ大麥及大根其ノ他ノ蔬菜ナリ——本地方ハ甚シキ砂質地ニシテ土地改良上厩肥ノ必要ヲ痛感セラレ大正十年來成鷄三百五十羽ヲ飼養シ、大正十二年ヨリ更ニ養

豚ヲモ創始ス

常飼基礎家畜 || ヨークシャー種牝一頭ヲ基礎家畜トシ、三四回蕃殖セバ廢豚トス

畜 舍 || 昭和三年六月ノ新築ニカ、リ建坪十三坪、トタン葺混泥土床ニシテ周圍板圍トシ十室ニ劃シ、外ニ、糞壺一

アリテ全經費二百六十圓ヲ投ズ

器 具 || 飼料箱十箇材料(六・〇〇) バケツ二箇(一箇五十錢計一・〇〇) 糞搔一本(一・〇〇) 熊手一本(〇・五〇) 計八

圓五十錢ヲ購入シ——飼料貯藏溜二、其ノ他ヲ自給ス

建物器具修繕費 || 多ク自家修繕ニヨルヲ以テ別段ノ經費ヲ要セズ

飼料費 || 醬油粕二千貫(十貫匁四十五錢計九〇・〇〇) 米糠百三十四貫(十貫匁一圓五十錢計二〇・一〇) 麩二百斤(五

十斤入一袋二圓計八・〇〇) 計百十八圓十錢ヲ購入シ——甘藷三十貫(一貫匁十五錢内外) 甘藷蔓二百貫西瓜皮等ヲ自給飼料

トス(年支出一一八・一〇)

褥草費 || 藁百貫野草五十貫ヲ自給ス

種付料 || 組合有種牡豚ハ一回二圓ニシテ二回分四圓ヲ要ス(年支出四・〇〇)

飼畜努力 || 朝夕ノ農閑時ヲ利用シ、給飼褥草ノ取換ヘ豚肥ノ搬出掃除刈草等ヲ合シテ一日平均約二時間ヲ要ス

衛生費 || 藥品代トシテ五十錢内外ヲ要ス(年支出〇・五〇)

諸賦課 || 組合員割五十錢(年支出〇・五〇)

販賣費 || 共同販賣ヲ行フ場合ニハ販賣價額ノ百分ノ一半ヲ手数料トシテ組合ニ納ム、年約三圓五十錢内外トス(年支

出三・五〇)

販賣收入 || 仔豚五頭生後四十日二貫匁内外ノモノ一頭六圓ニシテ計三十圓ノ收入アリ——肉豚六頭一頭平均二十七八貫

ノモノ三十圓内外ニシテ百八十圓ノ販賣收入アリ(年収入二二〇・〇〇)

自家收入 || 豚肥ハ糞尿ヲ合シテ年四千五百貫、悉ク桑園及畑地ニ施用ス、鶏糞ハ主トシテ水田ニ施肥ス、金肥ノ購入ハ

年四十圓内外ニシテ従前ニ比シ百圓内外ヲ節スルヲ得タリ

收支計算表 ||

出 支 年	畜産基礎	別 項	
		常飼基礎家畜	器 具
飼料費	醬油粕、米糠、藪	トタン葺十三坪豚舎一棟(昭和三年二百六十圓新築)	自給 修繕
褥草費		四種(八圓五十錢購入)	甘藷、甘藷蔓、西瓜皮ヲ自給ス
種付料			藥、野草ヲ自給ス
衛生費			
諸賦課	二回分		
販賣費	組合費		
飼畜努力			毎日二時間自家努力
計			

益及自家 收入	販賣收入		
	仔豚	肉豚	廢豚
現金	三〇〇〇	一八〇〇〇	二二〇〇〇
肥料			
合計	六頭	五頭	八十三圓四十錢
自給			四五百貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養豚例六 三重縣——蕃殖ヲ行ヒ肉豚ヲ販賣ス(基牝一頭)

調査期日 昭和四年十月

調査農家 三重縣阿山郡西柘植村大字御代(ミダイ)(新堂驛ヨリ七町) 中森友藏

家族 老二男一女一幼二計六人ニシテ、内農業労働ニ従事スルモノ男一女一計二人ナリ

農牧狀況 水田自作一町弱小作二反弱桑園兼菜園二反弱計一町四反弱ノ自小作中經營ニシテ、地味ハ不良反當六七俵ニ止リ、養蠶ハ行ハズ桑葉ヲ賣却ス——肥料源トシテ五年來養豚ヲ營ミ、好況時代ニハ成仔二十餘頭ヲ飼養シタルコトアリシガ近年ハ飼料高騰豚價下落ノ爲聊カ規模ヲ縮少シ採肥五千貫ヲ目標トシテ成仔十四五頭ヲ常在セシム

常飼基礎家畜 ヨーکشヤ一種牝一牝一計二頭ヲ常飼シ現畜ハ種畜場産ニシテ各十圓ナリ——成豚ハ約三年間飼養シ、

年々仔豚十五六頭ヲ生産セバ牝豚ハ去勢シテ全部八箇月乃至十二箇月育成シテ二十二三貫ニ仕上ゲ肉豚ニ賣却スルヲ以テ、年中十四五頭ノ成中豚ガ常在ス

畜舎 杉皮葺混凝土床長形六坪ノ粗舎一棟ハ大正十五年ノ新築ナレド全部自家建築ニシテ杉皮、セメント、樺ノ材料約二十圓ヲ購入セルノミナリ

器具 二個(〇・九〇) 石油空罐六箇(〇・六〇) セメント空樽十本(〇・八〇) 肥料杓子三本(一・〇五) 計三圓二十五錢ヲ購入シ其ノ他ヲ自給ス

建物器具修繕費 豚舎修理ノ釘木材バケツノ破損修理等年々二圓五十錢ヲ要スベシ(年支出二・五〇)

飼料費 多數養豚ノ際ニハ主トシテ病院ノ殘飯ヲ一貫及七八錢ニ購入シタルモ現在ハ醬油粕(一貫及五錢) 米糠(一斗二十八錢) ヲ飼料トシ、年々高値ニシテ當今ハ一箇年約三百圓ヲ要スベシ、一頭平均二十圓ニ當リ——麥馬鈴諸殘菜ヲ自給ス——麥ノ間作ニ菜種水菜ヲ作レバ成豚二頭ノ飼料トシテハ充分ナリ(年支出三〇〇・〇〇)

褥草費 席編ミヲ副業トスルガ故ニ藁屑藁尻ヲ多量ニ生ジ褥草トシテ不足ナシ——蓆ハ一枚二十三圓四錢ナリ

消耗品費 飼料ハ主トシテ生食セシメ馬鈴諸ハ煮沸スルモ炊事ノ殘火ヲ利用スルヲ以テ燃料ヲ要スルコトナシ

種付料 自家交配

諸賦課 養豚組合費トシテ賣上價格ノ百分ノ二ニ相當スル七圓五十錢ヲ支出ス(年支出七・五〇)

販賣費 居渡シ

飼畜勞力 一日三回給餌ノ爲約一時間、肥料搬出ノ當日ノミ稍長時間ヲ要ス

販賣收入 母豚ハ每産次七八頭一年二回ニ凡ソ十五頭ノ仔豚ヲ生産シ、仔豚ニテ賣却セバ一頭五圓乃至十圓、一箇年飼

養シテ二十三貫ノ肉豚トシテ賣却セバ生後百匁十一錢位ナレバ一頭約二十五圓計三百七十五圓トナリ、東京着値ハ百匁十六錢五厘一頭四十圓近キモノトナルベシ——母豚ハ概シテ三年間飼養シ、廢豚價格ハ五十圓ナレバ年割十七圓ニ當ル（年收 入三九二・〇〇）

自家收入——豚肥ハ成豚一頭一日ニ二貫五百匁ヲ生ズベク計約五千貫ヲ生産シ、桑園ニハ反當四百貫ヲ理想トシテ施用ス——從來肥料代ハ百數十圓ヲ要シタルモ養豚以後金肥ヲ殆ンド全廢シ、骨粉木灰約三十六貫ヲ購フニ過ギザレド反當收穫ハ五斗四升ノ増加ヲ見タリ

收支計算表

支年	畜産基礎	別項	購入	販賣	自給	自足
建物器具修繕費	器具	常飼基礎家畜	ヨークシャト種牡一牝一計二頭（二十圓購入）		杉皮葺六坪豚舎一棟（大正十五年二十圓自家建築）	其ノ他ヲ自給ス
飼料費	糞油粕、米糠			二・五〇	麥、馬鈴薯、殘菜ヲ自給ス	
糞草費				三〇〇・〇〇	稻藁ヲ自給ス	
消耗品費					自家交配	
衛生費					居渡シ	
諸賦課費				七・五〇		
販賣費						
養豚組合費						

出計	飼畜勞力	販賣收入	收入計	益及自家收入
計	三・一〇〇	十五頭 （年割）一七・〇〇 三九二・〇〇	八十二圓	五千貫
仔豚				
肉豚				
廢豚				
現金				
自給肥料				

（備考） 當農家養豚ハ探肥ヲ主眼トス

養豚例七 富山縣——蕃殖ヲ行ヒ肉豚ヲ販賣ス（基牝三頭）

調査期日——昭和三年三月

調査農家——富山縣射水郡橋下條村字下條新（小杉驛ヨリ十八町）土居喜一郎

家族——老二男二女三幼五計十二人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ老一男二女二計五人ナリ

農牧狀況——畑小作四反山畑自作五反計九反歩ノ自小作小經營ナリ——耕地小ニシテ一家ノ糊口多ケレバ農業經營ニハ最モ周到ナル考慮ヲ廻ラシ土地ノ利用ヲ集約ナラシムル要アリ、之ガ爲ニ畑五反歩ハ元來水田ナリシガ米作ヲ全廢シテ畑トナ

シ、葡萄桑茶落葱獨活百合甘藷里芋等菜果嗜好品ヲ栽植シテ間斷ナク土地ヲ利用シ精農ヲ以テ地方ニ知ラレタル農家ナリ、
常飼基礎家畜 || ヨークシャー種牡一牝三計四頭ヲ常飼シ孰モ自家生産ナリ、種畜ハ長クモ三年ニテ更新シ自家生産ノ仔
 豚ヲ以テ補充ス

畜 舍 || 瓦葺二十坪ノ豚舍ハ大正九年ノ新築ニシテ材料ヲ購入シ自己ノ手間ヲ以テ實費三百圓ニテ建築セルモノナリ
器 具 || 押切一個(一・三〇) フォーク一個(一・五〇) スコップ一挺(一・〇〇) バケツ二個(二・〇〇) 計五圓八十錢ガ
 主ナル購入器具ニシテ飼料桶其ノ他ノ用具ハ悉ク自給ス

建物器具修繕費 || 豚舍ハ年々五圓内外ノ手入ヲ行ヘバ今後二三十年ノ使用ニ堪ユベク器具ハ簡單ナル物品ニシテ多ク
 自給品ナレバ特ニ修繕費ヲ要スルコトナシ(年支出五・〇〇)

飼料費 || 醬油粕千五百二十五貫(一貫目三錢五厘計五五・七五) 米糠四百八十貫(一貫目十錢計四八・〇〇) 麩二俵(一
 俵三圓計六・〇〇) ガ購入飼料ノ主ナルモノニシテ麩ハ仔豚ノ爲ニ使用セラル、モノナリ || 其ノ他ハ農産廢物厨房殘物ノ一
 切ヲ利用ス(年支出一〇九・七五)

褥草費 || 稻藁ヲ用フルモ當農家ハ水田ナキ爲メ千百三十六貫(一貫目四錢四五・六〇) ヲ購入セザルベカラズ(年支出
 四五・六〇)

消耗品費 || 燃料ヲ要スルモ縁家ニ大工職アレバ木挽屑落枝等ヲ自給シ得テ出費ナシ
諸賦課 || 頭數割一圓二十錢ヲ要ス(年支出一・二〇)

飼畜勞力 || 當農家ハ農牧共集約ニ經營シ精農ヲ以テ聞エタル程ナレバ養豚ノ如キモ成功ノ秘訣ハ勞力ヲ惜マズ手數ヲ厭
 ハズ可成頻繁ニ給飼スルニ在リトナシ、一人六時間ノ勞働ニテハ間ニ合ハヌ程ナリ

販賣收入 || 仔豚ハ年約四十頭ヲ得ベク牡豚ハ去勢ス || 仔豚トシテ賣却スルモノ約十頭ニシテ各五圓、二十貫以上ニ育
 成シテ販賣スルモノ約三十頭ニシテ各三十圓ナリ、豚價ハ生體十貫目十四五圓ナルヲ普通トス || 親豚モ毎年約一頭ヲ廢却
 シ生體十貫目ノ價格二圓安ニ當リ凡ソ五十圓ナルヲ通例トス(年收入一、〇〇〇・〇〇)
自家收入 || 豚肥五千貫ヲ産ス

收支計算表 ||

出 支 年	畜産基礎		別 項
	器 畜	常飼基礎家畜	
建物器具修繕費	五葺二坪豚舍一棟(大正九年三百圓新築)	四種(五圓八十錢購入)	自給
飼料費	醬油粕、米糠、麩	多クハ自家修繕農産廢物ヲ自給ス	自給
褥草費	稻 藁	木挽屑ヲ自給ス	自家交配
消耗品費			
種付料			
衛生費			
諸賦課	頭數割		
販賣費			
飼畜勞力			毎日六時間自家勞力
計	一六一・五五	一・二〇	

益及自家收入	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢	豚肥	五千貫
販賣	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢	豚	五千貫
賣肉	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢	肥	五千貫
仔豚	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
計	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
廢豚	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
一頭	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
三十頭	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
九十頭	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
五〇〇〇	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
九〇〇〇〇	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
五〇〇〇〇	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		
一、〇〇〇〇〇	現自給肥料	八百三十八圓四十五錢		

(備考) 本農家ハ養豚ニ多時ヲ投ジ年々多數ノ肉豚ヲ生産スルガ故ニ販賣收入極メテ多シ

養豚例八 靜岡縣——蕃殖ヲ行ヒ種豚ヲ販賣ス(基牝三頭)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 靜岡縣濱名郡赤佐村根堅(岩水寺驛ヨリ數町) 袴田友一郎

家族 || 老二男一女一幼四計八人ニシテ、内農業勞働ニ從スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田六反畑六反計一町二反歩ノ自作中經營ニシテ地味ハ中以下ナレバ反當收米ハ四五俵程度ナリ——養蠶ハ夏蠶極少々行ヒ、桑ハナルベク生葉ニテ賣却ス——當農家ハ養豚ニハ大正八年以降約十年ノ經驗ヲ有シ、赤佐村北部養豚組合ニ所屬ス、濱名郡ハ古クヨリパークシヤ一種多ク現今ハ之ヲ濱名種ト稱シ他種ヲ交ヘズ、近年臺灣總督府ヨリ改良原種トシテ購買セラル、モノ年々三四百頭ニ及ブ

常飼基礎家畜 || パークシヤ一種牝成中三頭ヲ常飼ス——甲號ハ現四歳英國直輸入豚ノ産仔ニシテ離乳時五十圓ヲ以テ畜産組合ヨリ購入シ、乙號、丙號ハ自家生産ナリ——三牝ヲ一時ニ蕃殖セバ飼料ニ窮シ管理ニ忙殺セラレ農事ヲ疎ニスル虞アルヲ以テ力メテ副業ノ範圍ヲ守リ、毎年一頭ガ蕃殖豚ナルヤウニ調節ス

畜舍 || 甲號新豚舍ハ杉皮葺角柱混凝土床約七坪ニシテ大小三房ニ區劃シ、乙號舊舍豚ハ住宅ノ下屋ヲ利用セル葦葺角柱混凝土床約三坪ニシテ四房ニ區劃ス、當農家ハ仔ヲ育成スル要アレバ比較的豚舍大ナリ——甲號豚舍ハ近年新築シ材料大工費共約百圓ヲ投ジタルモ本年ナラバ殆ンド半額ニテ建築シ得ベク、杉皮葺モ其儘ニテ五年ハ維持セラレ年々多少宛損所ヲ修理セバカナリ永久的使用ニ堪ユ、乙號豚舍ハ全ク自家建築ナルモ混凝土原料トシテセメント三袋(四・五〇)ヲ要シタリ

器具 || 飼槽ハ混凝土ニテ自製ス——購入ヲ要スル格別ノ器具ナシ

建物器具修繕費 || 自家修繕

飼料費 || 主飼料ハ赤穂産醬油粕ニシテ成豚一頭ニ付毎月凡ソ二俵、成中三頭ヲ常飼セバ仔豚共年々約五十俵(十二貫入一俵一圓十錢内外計五五・〇〇)ノ購入ヲ要シ、成豚一頭ニ付大體二十圓以上ノ概算ナリ——自給飼料ハ芋屑大麥農産殘物ニシテ麥ハ産後ニ煮沸シテ與フ

褥草費 || 稻藁ヲ自給ス

消耗品費 || 燃料ハ山近ク赤佐村共有林アリテ薪炭ニ不足セズ

種付料 || 組合種豚ノ種付料ハ四圓五圓十圓ナリ、後者ハ英國直輸入系統ニシテ近親ナレバ交配シ得ズ、中位ノ種豚ヲ用ヒ年二回分十圓ヲ要ス(年支出二〇・〇〇)

衛生費 || 組合ニテ年一回豚舍、器物消毒ノ爲メ石灰水ヲ撒布ス、直接經費ヲ要セズ——附近ニハ豚丹毒ノ流行ヲ見シ

コトアルモ當農家ニハ被害ナシ

諸賦課 濱名郡組合費ハ戸數割ニテ年額二十五錢ヲ要ス、實行組合ハ共同購入ノ手數料乃至郡ノ補助金ヲ財源トシテ組合費ヲ徴收セズ(年支出〇・二五)

販賣費 仔豚ヲ販賣スルニハ一頭毎ニ郡組合ノ検査證料五錢ヲ要シ昭和四年十七頭分八十五錢ナリ(年支出〇・八五)

飼畜勞力 一日四回宛農務餘暇ニ給飼ス

販賣收入 甲號種豚ハ昭和三年一回蕃殖十三頭ヲ産ミ昭和四年春第四産六頭、秋第五産十一頭、計十七頭ヲ生産セリ

——離乳仔豚ハ普通七圓ニテ肉豚トシテ農家ニ販路有リ、臺灣總督府種豚ノ豫選ニ合格セバ仲間賣十五圓ニシテ、三四箇月育成セバ二十五圓ニテ總督府ニ賣却シ得ベク頗ル有利ナリ——當農家ハ右種豚ヲ昭和二年六頭、昭和三年三頭賣却シ、本年ハ五頭(二頭二十五圓計二二五・〇〇)及離乳仔豚十二頭(一頭七圓計八四・〇〇)ヲ賣却セリ——母豚ハ比較的永年飼養シ廢豚價値ハ餘リ考慮セズ(年収入二〇九・〇〇)

自家收入 成豚一頭ノ肥料産額ハ一般ニ年四百貫ト稱スルモ當農家ノ經驗ニヨレバ優ニ其以上ニシテ全産額ハ千五百貫ナルベシト云フ——金肥ハ水田反當米一俵代ヲ施用ス

收支計算表

別	項	購入	販賣	自給	自足
畜産基礎	常飼基礎家畜	バークシャー種牝一頭(昭和元年五十圓購入)		バークシャー種牝二頭(自家生産)	
器具	舎	杉皮葺七坪豚舎一棟(近年百圓新築)		藁葺三坪豚舎一棟(自家建築)	
				悉ク自給ス	

年	支			出			入	及益	家自	入收
	飼料費	糞草費	消耗品費	種付料	衛生費	諸賦課				
計	五五・〇〇		一〇〇・〇〇			〇・二五	〇・八五	六六・一〇		
種豚										一二五・〇〇
仔豚										八四・〇〇
廢豚										二〇九・〇〇
計										百四十二圓九十錢
計										千五百貫

(備考) 本農家ハ確實有利ナル種豚ノ販路アルヲ以テ收益大ナリ

養豚例九 茨城縣——仔豚ヲ購入シ肉豚ヲ販賣ス(六頭)

調査期日 || 昭和三年十月

調査農家 || 茨城縣眞壁郡騰波江村若柳(騰波江驛附近) 赤荻衛一郎

家族 || 男一女一計二人ニシテ、悉ク農業労働ニ従事ス

農牧狀況 || 水田三反歩畑三反七畝桑園一反一畝計七反八畝歩ノ小經營ナリ、小家族ニシテ勞力乏シケレバ水田ハ一毛作トシ米ノ反收ハ五俵以上ニシテ六俵ナレバ上等ナリ、桑園ハ本年ヨリ創始ス——農業小ナレバ他ニ販賣收入ト自給肥料ヲ得ンガ爲ニ七年來養豚ヲ營ム

畜舍 || トタン葺一棟四坪ニシテ内二坪ハ敲キ床他ハ土床ナリ、七年前材料ノ大半ヲ自給建築シタルモノニシテ實費七十圓ヲ要シタリ

器具 || 冬期飼料ヲ煮沸スル爲ニ三斗入釜ヲ設備シ竈共三圓ヲ要シタリ、其ノ他ノ飼槽及雜具ハ手製或ハ農具ヲ兼用シ特ニ購入セルモノナシ

原料家畜費 || 毎年三頭宛二回計六頭ノ仔豚ヲ購入シテ肉豚ニ育成販賣ス——豚ハ地豚即雜種ガ強健ニシテ發育佳良ナレバ附近ノ飼養者ヨリ二貫目内外ノ幼豚ヲ選擇購入ス、價格ハ時ニ甚シキ高下アリテ最高十二圓ヨリ最低三圓ニ下落スルコトアルモ多クハ七八圓ナリ、故ニ豚價好況ナレバ育成豚ヨリ採仔シタルコトモアリ(年支出四五・〇〇)

飼料費 || 豆腐滓ヲ主飼料トシ特ニ購入スベキモノナシ——當農家ハ養豚創業後飼料自給ノ必要ヲ感ジ、耕地狹ク農業

餘暇多キヲ以テ豆腐製造業ヲ開始シタリ、豆腐一箱分原料ハ乾大豆約四升ニシテ之ガ搾滓ハ凡ソ人頭大ニシテ約五升賣價十二錢、目下ハ一日二斗七升ノ滓ヲ生ジ仔豚ニハ其ノ儘生食セシメ至ツテ簡便ナルモ、營業ナレバ需要アリテ不足スルコトアリ、其ノ際ハ醬油粕ヲ購入補足ス

褥草費 || 稻藁三百貫ノ外農業廢物木葉迄モ利用ス

消耗品費 || 燃料ニハ粃殼ヲ自給ス

飼畜勞力 || 農業及豆腐製造ノ餘暇ニ於テ飼養管理ヲ行ヒ特ニ時間ヲ費スコトハ稀ナリ

販賣收入 || 六頭ノ仔畜ハ六ヶ月ニテ約二十貫十ヶ月ニテ三十貫ニ成長スベシ、二十貫内外ガ最モ適宜ニシテ價格ハ高下一様ナラズ最高ハ二十五掛ニ上リシコトアレド最低八掛ニ下リシコトモアリ、十四五掛ガ最モ普通ナレバ一頭二十八圓乃至三十圓ナリ(年収入一七四・〇〇)

自家收入 || 豚肥約二千貫水肥七百貫ヲ生ズ——家畜肥料ハ極メテ尊重セラレ當農家ハ反當二百五十貫ヲ理想トス、肥效ハ頗ル持久的ニシテ三年後繼續スルヲ以テ金肥ノ如キハ水田ニ於テ過燐酸石灰ヲ反當一俵ノ八分ノ一二三錢丈ケ施用スルニ過ギズ、本年創始ノ桑園ノ如キハ豚肥ノ爲ニ成績比類ナク他ノ初年園ニ比シテ凡ソ二倍ノ收葉ヲ見タリ

收支計算表 ||

別	項	購	入	販	賣	自	給	自	足
畜産基礎	常飼基礎家畜	トタン葺四坪豚舍(棟(大正十一年七十圓新築))	一種(三圓)					材料ノ大部分ヲ自給ス	
畜産基礎	畜舎							大部分ヲ自給ス	
畜産基礎	器具								

常飼基礎成鶏 || 雜種二十羽ヲ常飼シ内雄鶏一羽アリ
 鶏舎 || 萱葺土床三坪ノ鶏舎ハ昭和三年三月新築セル極メテ實用的簡素ノモノニシテ、自家建築、費用ハ金網等約二圓ヲ要シタルノミナリ

器具 || 自製育雛器三箇(一箇實費八十錢計二・四〇) 蜜柑箱利用給飼器三箇(〇・二五) 古金盥利用給水器三箇(〇・一五) パケツ一箇(〇・六〇) 巢箱三箇(一箇實費十錢計〇・三〇) 卵入箱一箇(〇・三〇) 計三圓九十錢ヲ購入シ——塵取一箇、帚一本ヲ自給シ糞搔一箇ヲ農事ト兼用ス

建物器具修繕費 || 自家修繕ナレバ特ニ支出ナシ

飼料費 || 米糠八俵(四斗入一俵一圓二十錢計九・六〇) 麩五袋(五斗入一袋二圓三十錢計一一・五〇) 飼粕一俵(十貫入一俵六・五〇) 計二十七圓六十錢ヲ購入シ——糞二俵貝殼十貫葉菜百貫ヲ自給ス——當村ハ海岸ニ近キヲ以テ貝殼ハ餘暇ヲ以テ採集スルモノトス(年支出二七・六〇)

雛購入費 || 母鶏孵化ニシテ雛購入費ヲ要セズ——昭和三年ハ三十卵ヲ孵化シ五羽斃死雄雛五羽ヲ淘汰シテ現基礎成鶏二十羽ヲ得タリ

消耗品費 || 特ニナシ

衛生費 || 除虫菊粉二十錢ヲ要ス(年支出〇・二〇)

諸賦課 || 組合費ハ設立當時基本金トシテ積立テタルモノ三圓六十錢アル外特ニ年々ノ支出ナシ

販賣費 || 共同販賣ノ費用ハ組合ヨリ支出シ、鶏卵ノ販賣價額ヨリ差引計算スルヲ以テ特ニ支出ヲ要セズ
 飼鶏勞力 || 飼料ノ給與、掃除等一日平均一時間ヲ要ス

販賣收入 || 鶏卵二千二百九十七個ヲ生産シタルモ共同販賣セルハ二千五百五十七個ニシテ之ガ賣上代金ハ六十六圓六十八錢ナリ——尙食用卵七十個ヲ一個四錢ニテ個人販賣シテ二圓八十錢ヲ得、昭和三年ハ淘汰鶏雛五羽ヲ一羽三十錢ニテ販賣シ計一圓五十錢ヲ收入セリ(年收入七〇・九八)

自家收入 || 種卵四十個食用卵三十個ヲ自家消費シ、乾糞百六十貫ヲ生産シテ田畑ニ施用ス

收支計算表 ||

出	支	年	畜産基礎		別
			器	常飼基礎成鶏	
計	飼料費	米糠、麩、飼粕	六種(三圓九十錢購入)		
	雛購入費				
	衛生費	藥品			
	諸賦課				
	販賣費				
	飼鶏勞力				一日平均一時間
計				二七・八〇	
					自家修繕 糞、貝殼、葉菜ヲ自給ス 母鶏孵化自給ス
					雜種二十羽(自家生産) 萱葺土床三坪鶏舎一棟(昭和三年實費二圓自家建築) 其ノ他ヲ自給ス

販賣収入	食用 淘汰 計	鶏卵	
		二千二百二十七箇	六九・四八
益金	現金	四十三圓十八錢	一・五〇
及自	種用卵		七〇・九八
家收	食用卵		
入	自給肥料		
		百六十貫	

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養鶏例二 福島縣——(三十五羽)

調査期日 || 昭和四年十二月

調査農家 || 福島縣石城郡勿來町大字窪田(勿來驛ヨリ二十五町) 石井海作

家族 || 男一女一計二人ニシテ、全部農業労働ニ従事ス

農牧狀況 || 水田三反畑八畝歩計三反八畝歩ヲ自作シ當地地方ニ於ケル小經營農家ナリ——水田裏作ニハ麥一反歩ヲ栽リ他ハ休閑シ、畑ハ全部麥作ニシテ裏作又ハ間作ニ豆類三畝歩白菜三畝歩其ノ他里芋ヲ栽培ス

常飼基礎成鶏 || 白色レグホン種成鶏三十五羽ヲ常飼ス——極優良種ニシテ一年平均産卵數百八十個、二年更新トス

鶏舎 || トタン葺土壁四坪半、昭和三年八月新築シタルモノニシテ實費五十圓ヲ要シタリ——外ニ運動場十五坪ヲ設ク、金網圍ニシテ針金代三圓八十錢ヲ投ジテ自製シタルモノナリ

器具 || 自家製作有雞器四箇(一箇平均實費一圓二十五錢計五・〇〇) 給餌器二箇(一箇平均實費二十五錢計〇・五〇) 給水器四箇(一箇平均實費二十五錢計一・〇〇) バケツ二箇(一箇四十錢計〇・八〇) 消毒用噴霧器一箇(四・二〇) 帚一本(〇・三〇) 糞搔一本(〇・五〇) 計十二圓三十錢ヲ購入シ——巢箱三箇、卵入笊一個、塵取一箇ヲ自給セリ

建物器具修繕費 || 自家修繕スルヲ以テ特ニ支出ナシ

飼料費 || 苞米五俵(百四十斤入一俵九圓八十錢計四九・〇〇) 小麥六俵(六斗八升入一俵九圓十錢計五四・六〇) 魚粉一俵半(一俵四圓計六・〇〇) 麩三俵(一俵二圓三十五錢計七・〇五) 米糠七俵(一俵一圓三十錢計九・一〇) 貝殼二俵(計二・四〇) 計百二十八圓十五錢ヲ購入シ——葉菜類百十六貫ヲ自給ス(年支出二二八・一五)

雞購入費 || 初生雞七十羽ヲ養鶏組合ヨリ購入シ一羽十五錢當リ計十圓五十錢ヲ支出ス(年支出一〇・五〇)

消耗品費 || 育雞用木炭四俵ヲ要ス、五貫入一俵八十錢ニシテ計三圓二十錢ナリ(年支出三・二〇)

衛生費 || 消毒藥品トシテクレオソート類年約二圓ヲ要ス(年支出二・〇〇)

諸賦課 || 養鶏組合ノ創立當初基本金トシテ二口分二十圓ヲ支出シタル外年々組合費トシテ徴收セララルモノナシ

飼鶏勞力 || 給餌掃除等一日平均一時間半ヲ要ス

販賣收入 || 當地方ハ常磐炭田中、大日本、玉城、廣部ノ三炭礦ヲ控へ、鶏卵ノ需要多キヲ以テ卵價モ比較的高ク、農家ノ庭渡シ一個平均四錢ニ及ブトアリ、現在ハ棒手振ガ各農家ノ産卵ヲ蒐集シ仲介商人ノ手ヲ經テ鑛山、料理店等ニ販出シツツアルガ如キモ若シ共同販賣ヲ行フニ至ラバヨリ有利ナル條件ノ下ニ販賣シ得ル筈ナリ——本農家ハ鶏卵約六千三百二十

簡ヲ生産シテ全部棒手振ニ販賣シ、其ノ價額二百三十二圓八十錢ナリ——今期ハ母鶏ノ廢用スベキモノナク雄雞三十五羽ヲ販賣シテ三圓五十錢ヲ收得ス(年収入二三六・三〇)

自家收入——乾糞二百貫ヲ生産シ麥、蔬菜ニ施用ス——現在金肥十九圓五十錢ヲ購入シツ、アルモ養鶏開始前ハ約四十圓ヲ購入シタリ——自家用鶏卵自家用廢鶏ハ殆ンドナシ

收支計算表——

別項	購入	販賣	自給	自足	年支		畜産基礎	
					出	入	器	禽
常飼基礎成鶏	白色レグホン種三十五羽							
トタン葺四坪半鶏舎一棟(昭和三年八月五十三圓八十錢新築)								
七種(十二圓三十錢購入)								
建物器具修繕費								
飼料費	玉蜀黍、小麥、藪、米糠、魚粉、貝殼一二八・一五							
雛購入費	七十羽							
消耗品費	藥品							
衛生費								
諸賦課								
計								
廢食母鶏								
賣								
計								

入收	入計	入計	入計
淘汰鶏雛	三十五羽	三・五〇	
計		二三六・三〇	
益及自家收入		九十二圓四十五錢	
自給肥料			二百十貫

(備考) 本農家ノ成績ハ尋常ナリ

養鶏例三 香川縣——(五十羽)

調査期日——昭和三年九月

調査農家——香川縣大川郡石田村(長尾町ヨリ數町)廣瀬リサ

家族——女一幼二計三人ニシテ農業勞働ニ従事スルハ女一ナリ

農牧狀況——田畑自作二反歩小作一反歩計三反歩ノ自小作小經營ナリ——本人ハ北海道在住中夫ヲ亡ヒ爾來寡婦トシテ二兒ヲ擁シ歸來獨力農事ヲ營ミ勤勉努力男子ニ譲ラザルモ自己一人ノ勞力ヲ頼ムノミナレバ過勞ナル農事ハ現在程度ニ止メ最近養鶏ヲ副業トシタルニ婦女ノ懇切周到ナル管理ノ爲ニ意外ナル成績ヲ收メ、田畑ハ附近ニ堤防アリテ日光通風ヲ害シ劣等地ト稱セラル、モ鶏肥ノ爲ニ土地ハ改善セラレ産額品質共ニ増進シテ水田反收ハ六俵ニ上リ、裏作ハ太小麥間作ハ大豆ヲ植エテ補足肥料トシ農業成績モ頗ル見ベキモノアルニ至レリ

常飼基礎成鶏 白色レグホーン種五十羽ニシテ大略二ヶ年更新ヲ原則トス

鶏舎 兩屋根瓦葺五坪、萱葺五坪計十坪二棟ノ鶏舎アリ、孰レモ近年ノ新築ニシテ材料手間賃共百圓ト稱セラル、モ實際ニハ米麥物品ヲ以テ支拂ヒタルモノナレバ金錢ノ支出ハ全クナシ

器具 購入器具トシテ計上スベキ程ノモノナク殆ンド全部ヲ自給ス

飼料費 混合飼料(一九四・〇〇)ヲ購入シ——補助飼料トシテ麥少量及青菜ヲ自給ス(年支出二九四・〇〇)

雛購入費 初生雛百羽(一羽六錢計六・〇〇)ヲ購入ス——當地組合ハ孵卵器ヲ設置シテ組合員ノ委託孵化ヲ行ヒ年々五千羽内外ヲ生産ス、組合員ハ種卵ヲ提供セバ一羽六錢ニテ購入シ得ベク愛知縣ヨリ買入ル、場合ニハ一羽ニテ十七錢ヲ要ス

ベシ(年支出六・〇〇)

諸賦課 本村養鶏組合ハ組合費ヲ徵收セズ委託孵化ノ収益ヲ以テ組合財源トス

販賣費 産卵八月五回乃至十回ニ附近處理所ニ持參シ即時現金支拂ヲ受クレバ販賣上ノ失費ナシ

飼鶏勞力 朝夕計三時間半程度ナリ

販賣收入 食用卵百七十五貫(一萬二千箇、一貫目二圓八十錢計五〇二・二五) 種卵四十七貫(一二二・〇〇)ヲ收入ス(年

收入六二四・二五)

自家收入 食用卵二百三十箇糞八百五十貫ヲ主ナルモノトス——糞糞ハ全部水田ニ施用ス、從來金肥十圓乃至十五圓ヲ要シタルモ最近ノ實驗ニヨレバ全廢スルモ不可ナキ結果ヲ見ルヲ得タリ、耕地ノ條件ハ前記ノ如ク不良ナレドモ養鶏以來地味改良セラレ三等小麥ハ一、二等品ニ向上シ、米モ亦三等品ヨリ二等品ニ昇リ農事方面ニ著シク收益ヲ増加セリ

支計算表

入家及益 收自金	入收賣販	出 支 年				礎基產畜	別
		計	計	計	計		
現 食 自 金 用 給 卵 卵 肥 料	食 用 卵 計	飼 計 計	諸 衛 消 雛 飼 建 賦 生 耗 購 料 物 課 費 品 入 費 器 費 費 費 費 具 力 費 費 費 費 修 計 計 計 計 計 繕 計 計 計 計 計 費	常 飼 基 礎 成 鷄 器 鷄 舍 具	白 色 レ グ ホ ー ン 種 成 鷄 五 十 羽 瓦 葺 萱 葺 計 十 坪 鷄 舍 二 棟 (近 年 百 圓 新 築)	自 給 自 足	
三百二十四圓二十五錢	百七十五貫 四十七貫	三〇〇・〇〇	混合飼料 初生雛百羽	二九四・〇〇 六・〇〇	自家修繕 麥、青菜ヲ自給ス	二百三十四個 八百五十貫	
	五〇二・二五 一二二・〇〇 六二四・二五	每日三時間半自家勞力					

(備考) 本農家ハ種卵ノ販賣收入多ク該地方ニ於テモ成績優秀ト稱セラル

養鶏例四 岡山縣——(七十羽)

調査期日 || 昭和三年九月

調査農家 || 岡山縣吉備郡高松町大字高松(高松驛ヨリ數町)小川鐵治

家族 || 老二男一女一幼三計七人ニシテ、内農業勞働ニ従事スルモノ老二男一女一計四人ナリ

農牧狀況 || 水田一町一反二畝畑一畝計一町一反三畝ノ自作中經營ニシテ外ニ水田七畝ヲ小作セシメ山林二反歩ヲ有シ自家用薪ヲ採リ水田裏作ニハ大麥蘭草ヲ植ユ

常飼基礎成鶏 || 白色レグホン及其ノ雜種約七十羽ヲ常飼ス、大略二年更新ニシテ補充ハ購入雛及自給雛ニヨル

鶏舎 || トタン葺土壁及下屋利用ノ粗舍各四坪建ニシテ四棟アリ、木材ヲ自給シテ一棟五十圓當新築費二百圓ト外ニ金網八圓ヲ要シタリ

器具 || 飲水器四箇(一・〇〇) 給溫器一箇(六・〇〇) 粒餌器三箇(四・五〇) バケツ一箇(〇・五〇) 熊手一本(〇・三〇) 簀二本(〇・五〇) ショレン(一・二〇) 芽出用箱五箇(一・五〇) 卵箱三箇(〇・九〇) 伏籠二箇(一・四〇) 石油箱六箇(一・二〇)

飼料箱四箇(二・〇〇) 芽出用籠二箇(〇・六〇) 卵箱二箇(〇・五〇) 計二十二圓十錢ヲ主ナル購入器具トス

飼料費 || 粳九百七十六斤(百斤四圓六十錢計四五・〇〇) 米糠八石八斗(一石二圓五十錢計二二・〇〇) 麥糠十石(一石三圓五十錢計三五・〇〇) 鰯メ粕四十二貫(十貫五圓五十錢計二三・〇〇) 小米一石二斗(一石十二圓五十錢計一五・〇〇) 大豆粕二枚(一枚二圓五十錢計五・〇〇) 粳糝三十貫(十貫五圓一圓計三・〇〇) 貝殼五俵(一俵五十錢計二・五〇) ヲ購入シ——大麥

七石(一石十圓計七〇・〇〇) 小麥一石二斗(一石十三圓七十五錢計一六・五〇) 粳糝五十貫(十貫五圓一圓計五・〇〇) 青菜百五十貫(十貫五圓一圓計一五・〇〇) ヲ自給ス(年支出一五・五〇)

雛購入費 || 雛百羽(一羽十四錢計一四・〇〇) ヲ縣内孵卵業者ヨリ購入シ五十羽ヲ自給ス、此ノ内死雛四十羽雄雛及淘汰雌雛六十羽ニシテ約五十羽ノ若鶏ヲ得ルモノトス

消耗品費 || 育雛用石油五圓ヲ要シ糲穀ヲ自給ス(年支出五・〇〇)

衛生費 || 除蟲菊粉四箱(三・二〇) 線香(二・〇〇) 藥品(二・〇〇) ヲ購入ス(年支出七・二〇)

諸賦課 || 組合費年額五十錢ヲ要ス(年支出〇・五〇)

販賣費 || 副業組合ハ一月乃至六月ノ大量期ニハ神戸岡山ニ共同販賣シ、七月乃至十二月ハ地方商人ニ個人販賣シ、集卵ハ組合人夫ヲシテ行ハシムレバ直接支出スベキ販賣費ナシ

飼鶏勞力 || 一日約三時間農事ノ前後ヲ利用シテ行ヒ特ニ時間ヲ割クコトナシ

販賣收入 || 食用卵百十五貫二百匁(八千六十四箇、百匁二十八錢計三二二・六〇) 種卵三貫七百匁(二百五十九箇、百匁三十五錢計一三・〇〇) 廢母鶏十五羽内外(一七・〇〇) 雄雛及淘汰雌雛六十羽内外(三〇・〇〇) ヲ收入ス(年収入三八二・六〇)

自家收入 || 種卵二貫五百匁(百七十五箇六・〇〇) 自家食用並贈答用卵十五貫七百匁(四四・〇〇) 食用鶏五羽(五・〇〇) 鶏糞六百二十五貫(十貫匁八十錢計五〇・〇〇) ヲ收メ生鶏糞ハ堆肥ノ原料トス、水田肥料ハ之ニヨリテ從來反當十圓ノ金肥ヲ半減シテ尙且倍舊ノ收穫ヲ見ル

收支計算表 ||

